

誹諧通俗志

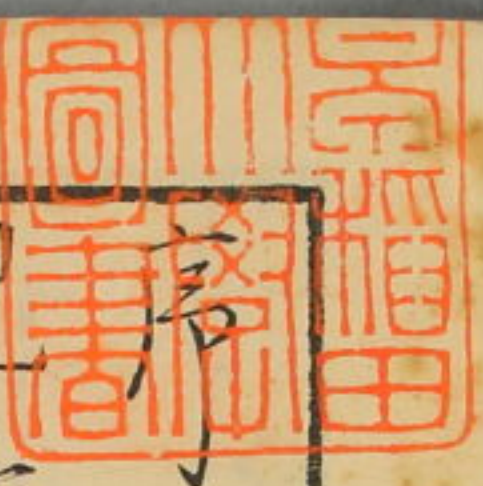
5

965

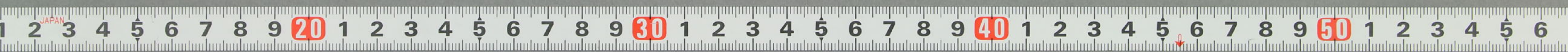




へ
判
965



兎島氏胤矩つ川の名ハ
 負九つわりの時とて離
 俗のはし縁歌つ河を以て
 とありついで今此能
 俗吉蠲のまらつてある所
 日つ河つよつを以てある
 之河つハ門傘つありてこれ
 以て昔を河やあるありて
 ともつ門傘かありてあり
 ともつかつよつはつありて
 ともつまつたれをすま
 ともつたれをすま



色よりみたる事ハ彩式今案
 決而一何とせとれのみ平
 ありす宗然は昨の作れ
 疑源抄の杜竹二百韻を
 法をいしとられをいれみ
 つましく一帖といふれ
 幸々縁せりしつりし下り
 能信く五句三句さらし
 面をくくもたし事ありし
 連続く面を強たし橋を
 能信くくハ七句去とてあ
 したハ能信乃曲也志くし
 ハ面をめくくハ三句ふくも

松乃七句去類ハを能
 信ハ五句去くゆき水辺
 山歌同字等乃六句去の
 三句く定めしつりし思
 西極ものハ七句去勢一七
 句去しハ思しつりし
 了事あれを志くしは
 面をかきてハ三句去く
 一かきしつりし幸々縁
 の唯一帖の序わん
 りを雷免れし序て
 右乃おひしつりし書

二句去之飛小飛井のあり面をるれも
飛井のありと云ひ三句去之をれも代
るれも終り面去べ一字小飛をあり又
句小飛をあり連款の法あり只一概小
去えて論ぜりうら

一二三四ハトハ字の形をふよりこの
数之去娘の四ハ二句三句五句七句と
句の字と並て分之句の字のなきハ
字款のよと云べ

式トハ式小去す之二のあり二の内ふて
折去之八のあり八の内ふて面去之五句
去のあり五句去ふて去字の格式ふけ
娘あり之化流之

字去トハ三句去之折面をう余興
ろつても二句去之五句去之五句去之

裁娘小おも流之トて式去

裁娘トハ打裁を娘小おも裁娘小あり
付てハ不若之二句去のあり付句娘之
古去小ハ混礼して出たりけ改て
付ると付ぬとの意ひと分若より
統て連款小三句去のあり能流ふて去
二句去之彼三句去小付ると付ぬとの
意ひを友小能流の二句去小去て流より
又云是款の二句去と能流ふて裁娘と
よの混之二句去のあり連能共二句去之
親系法入お入お皆二句去之能
流ふりりても付れば以て云べ

面トハ面をるれ面をるれ字去去之
七句去のあり之五句八句のあり面去
折トハ折去り折あり折あり折あり

折トハ折去り折あり折あり折あり

むまるあるある 命ホニ
なまあるニふニ不延 竹字ニ

△^{イキ}ける 有る 共ニ非述 生^{イキ}死^シニ述^ニ情^ニ

○^{イキ}對^ニ贊^ニ 神祇^ニ之^ニ生^ニ死^ニ越^ニ延^ニ

△^{イキ}放生 神祇^ニ之^ニ八月^ニ之水^ニ邊^ニ之^ニ生^ニ死^ニ

越^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ

△^{イキ}命ニ 述^ニ情^ニ之^ニ初^ニ物^ニ之^ニ生^ニ死^ニ

命ニ 玉^ニ之^ニと^ニ打^ニ去^ニ 故^ニ命^ニニ 二^ニ

△^{イキ}命^ニ人^ニ畜^ニ共^ニ打^ニ去^ニ 命^ニ玉^ニ之^ニと^ニ面^ニ

○^{イキ}意^ニの^ニ命^ニハ 非^ニ述^ニと^ニい^ニへ^ニも 人^ニ二^ニの^ニ内^ニ

い^ニの^ニ一^ニ 二^ニ之^ニ若^ニ面^ニ之^ニう^ニる^ニき^ニ 一^ニ百

古^ニ代^ニ古^ニ今^ニホ^ニい^ニの^ニ一^ニ之^ニ打^ニ去^ニ

古^ニ命^ニ古^ニ法^ニホ^ニい^ニの^ニ一^ニ之^ニ打^ニ去^ニ

△^{イキ}齊^ニ家^ニ 竹^ニの^ニ家^ニ共^ニ云^ニ 伊^ニ勢^ニの^ニ名^ニ取^ニ

賀^ニ茂^ニハ 神^ニ祇^ニと^ニ云^ニ之^ニ 故^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ 故^ニ延^ニ

神祇^ニ之^ニい^ニせ^ニと^ニか^ニと^ニ刻^ニと^ニ音^ニと^ニ

形^ニり^ニし^ニる^ニ打^ニ去^ニて^ニ去^ニ之^ニ 故^ニ延^ニ

竹^ニの^ニ家^ニホ^ニハ 又^ニ余^ニ真^ニ出^ニす^ニと^ニ一^ニ

○^{イキ}神^ニ王^ニい^ニい^ニせ^ニか^ニも^ニの^ニ延^ニ延^ニ之^ニ非^ニ名^ニ

神^ニ王^ニの^ニ忌^ニ日^ニ 内^ニの^ニ七^ニ言^ニ外^ニの^ニ七^ニ言^ニ

有^ニ之^ニ延^ニ延^ニ式^ニ 番^ニも^ニり^ニ略^ニ之^ニ

△^{イキ}伊^ニ勢^ニの^ニ神^ニ 内^ニ外^ニの^ニ文^ニと^ニ系^ニ家^ニホ^ニ打^ニ

い^ニせ^ニ急^ニび^ニい^ニせ^ニ物^ニ候^ニホ^ニの内^ニ又^ニ一^ニ之^ニ

祈^ニ 神^ニい^ニの^ニい^ニ急^ニ之^ニ 仁^ニい^ニの^ニ一^ニ非^ニ急^ニ

但^ニ泥^ニ泥^ニと^ニ云^ニ深^ニと^ニい^ニの^ニい^ニ急^ニ

山^ニ伏^ニの^ニ祈^ニ 日^ニ月^ニ守^ニホ^ニ非^ニ急^ニ又^ニ一^ニ之^ニ

△^{イキ}山^ニ石^ニ 神^ニ祇^ニ之^ニ 山^ニ石^ニ打^ニ去^ニと^ニ一^ニ之^ニ

天^ニ皇^ニ格^ニ神^ニと^ニ同^ニ之^ニ非^ニ水^ニ

△^{イキ}山^ニ石^ニ 二^ニ之^ニ非^ニ山^ニ 岩^ニ垣^ニ 山^ニ石^ニ格^ニ 嶺^ニ

山^ニ石^ニホ^ニ打^ニ去^ニて^ニ塔^ニと^ニ云^ニ之^ニ 石^ニ之^ニ面^ニ

志砂 色砂 砂ホニセウ 和名以波

根の入るると云ふと云はるるは

岩橋 非山 葛城の岩橋山 於之非水

峯 石不 越嶮屋ニセウ 岩恒 非居

岩木 植物也 岩和名以八保

○山田 常 五之 田ニ岩ニ付字ニセウ

石 二リ名を分てニセウ 皆打 音ハ面ニ

ま砂 志あり 志す砂の乳ニセウ

石 面 岩ニセウ 居ニセウ 石不

石上 石不 石不 共ニセウ

石 面 岩ニセウ 居ニセウ 石不

石上 石不 石不 共ニセウ

池 只ニ名不ニセウ 付字ニセウ

比田 泉の原とて名不

泉 一夏之水 名不 泉原も同

泉 和泉 泉川 其泉 亦皆打之

水 色之可か 宗物 乳ニセウ 越嶮屋

袋 袋の底 非居 夜ニ 袋士人 傳之

袋 四之 石不 虫 袋材の 袋ハ面ニ

音 亦も 石不の 袋ハ面 付字ニセウ

泉 未 居 泉 亦 亦 亦 亦 亦 亦

泉 未 居 泉 亦 亦 亦 亦 亦 亦

泉 未 居 泉 亦 亦 亦 亦 亦 亦

家の 凡 最 越 越 越 越 越 越

家とあるは、家へ居るに越屋、家へ面
 家とあるは、家へ居るに越屋、家へ面
 家の子居るに越屋、子に三句、家へ面
 庭、いかに二いり、一あんに居るに打
 田畑の庭に居るに越屋、和名伊保
 〇あんに号いあんにいかに打去、さ号
 院号、ホヤも打去、⑤ 付字、三句
 板、四、板戸、板目、ホも四の句、
 小せ、おへ、板、板、板、板、板、板、
 松、板、板、板、板、板、板、板、板、
 軍、只、一、打、軍、一、之、打、軍、一、正、花、之
 合戦、打、軍、法、ホ、打、去
 市、只、二、名、取、二、之、打、去、付、字、三、句
 市場、市、の、極、非、居、市、女、非、居

一文、字、八、之、又、訓、八、之、④ 訓、音、之、て、七、句
 〇、一、門、一、款、一、族、け、分、皆、非、入、
 入、字、去、之、訓、音、ク、リ、リ、て、二、句
 入、月、一、夕、日、之、句、夕、時、分、二、句
 夕、時、分、二、句、不、遅、〇、入、月、一、夜、分、之、
 夕、時、分、二、句、夕、時、分、二、句
 入、お、速、之、遅、之、皆、二、夕、時、分、之、
 〇、お、見、一、夕、時、分、二、句、夕、時、分、二、句、不、遅
 〇、お、月、一、之、月、之、句、又、之、
 雷、之、句、非、天、夜、之、雷、之、句、
 光、の、字、七、句、之、極、不、遅
 極、妻、之、句、之、句、之、句、雷、之、句、雷、不、遅
 極、妻、之、句、二、句、之、句、非、天、極、
 極、一、之、句、極、系、極、之、句、
 極、一、之、句、極、系、極、之、句、
 極、一、之、句、極、系、極、之、句、
 極、一、之、句、極、系、極、之、句、

炉 一冬も香炉 風煙ホ打

炉ひききりぬ之炉ふききりぬ

炉 海 高海成之居あ之庭ニ面

籠居 本籠の門ニ一人の籠ニ

打去コ 表後何ホのこりりニ面

かごニ不妊 音もかこの心の字まこ

獄牢 浪人ホハ皆又変勢しん

海 一海成打海の門ニ一之

書物の海成ホハ又外之

六 八之カ 六親 六尺ホ非人

録 公物ニ目錄一之 ▲録一年号ニ

波

春 季も字も丑句去付字三句

去の湊非水ニ三月号ニ

去風ニ去の風一之打去

去の目ニ 去キ目一永キ目一之

去キ目と永キ目ハ打去の目ハ面

それも永キ心の句ありハ打之又外

目ハ去一永一の目ニ打去て去

去の宮 去之のほろニ非神 非人

非君 去之 去之とすれば非去

去 言のこニ三句河 不疑お去ニ三句

去名の去四之各本の去ハ面ニ

去のこりりニ面 去のこりりニ面

去と去と竹とかりりてハ三句

去竹の去去ハ去之こきハ本の去夏

去柳 去相 去ホの名本の去ハ去

去一 去一 去一とむりも去

去去とむり本のこりりハ去

去去 去去 去去ハ去

去去 去去 去去ハ去

△系古汁 穀之植物之 非非

△花名之系 非 亦 皆式 延

△花 字ハ字去之 正花ハ四之

一折 一本花正花定てとるこ

音 ほうふても 正花四本の内之

△花の分白より同じなるの季と不付

花 漢林と 陽 一 白はの下あ

△花 揚七のとき 揚 花はつて不付

花 揚ける時ハ白と句を公る

△花 吉也を不付者登 花ハ不吉

月 曠 控 萩 亥 珠 也 亦 取 之

△花 意と結ぶ白ハ打信べし 香と結ひ

名 亦と結ぶ白も 又 唯之 月 花ハ一之

亦 是 之 白ハ是 此 也 亦 一 之 白ハ是 之

△花の香 袖の香人の香亦打去之

花の白 人の香亦ハ七句去カ 二

△花の白 花と句と多る 峯 越も非旅

△花の友 梅 楊 木の名花の友ハ面之

系 亦の落ハ不付 月 亦の落ハ不付

△花の友ハ非風 花の香 亦ハ

非風 花のろきハ風 俣之 非 降

△花の花の類 花のびの花の類 結 終

織 抽の花 皆 正 花 之 表 之 植 物

越 越 之 花 之 類 正 花 之 表 之 植 物

桃 桃 之 花 之 類 正 花 之 表 之 植 物

根 根 之 花 之 類 正 花 之 表 之 植 物

いつの比よりうきうきして當時の控之

△正花本植物よて表 亦 分

△花の勝 同 信 非 水 花 亦 水 亦 之

△花の香 同 亦 非 降 亦 之 風 俣

○花拵 花拵 若葉の花 夏も
花 郭公 花拵 氷室の花 夏も
花拵 二葉花拵 花拵 花拵
○花火 花の踊 花拵 花拵
冬にけいこく 花拵 花拵
他の方 花拵 花拵

○花拵 花拵 二方の花拵
○花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
○花拵 花拵 花拵
○花拵 花拵 花拵
○花拵 花拵 花拵
○花拵 花拵 花拵

花丁子 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
右之分 一隅と 花拵

花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵

花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵
花拵 花拵 花拵

皆名而之難く抄うてをへ

林 えて三之植物越姫 付字三句

萩 一吳名ニ萩萩の字も林之

植物之非居 萩ニ之越姫不付吳名

鹿嶋原 鹿嶋原古枝葉付字三句

芭蕉 一奏若原一秋之也夏之

扇布も二の内之和名發勢乎

苜蓿 夏之水色之草も夏之

苜蓿の夏之草の飯林之

苜蓿夏之草の紫藕根草之

苜蓿 苜蓿花 苜蓿系 苜蓿葉打ま

苜蓿 苜蓿根赤い面 付字三句

苜蓿と契い尺女之難く非植物非水

非意又句より意おもたべ

漢 二名而ニ水辺之しを抄い面

漢 漢底居而越姫 付字三句

漢 漢萩(ヲ)秋之水辺之草ニ面

漢 字去之 句より聖ニ二句

漢 一山歌之 畑打表之共ニ非植物

漢 畑燒表之植物越姫 付字三句

漢 とも四之なる思たり八之八之

漢 けりりれい(平)七句去 付字三句

漢 名山のたお之たり(平)越姫

漢 非居人尺 又句より

漢 ちの若坊尺表之 坊尺表之介傷之

漢 五三の坊居而之 けりりりてニ之

漢 只二名而ニ之 様面之 付字三句

漢 様面はくまのりたり(平)未七句去

漢 天のは様 夏の涼たり(平)未七句去

漢 様姫 夕名也 水色之 非林人

早 字去 七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

晴 字去 障物の晴い打去

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

七句去之 節り 八之

場 久て四之 二 八之

一非衣 忌とすれば衣類之

色紅糸未不付綿本綿よホ之

綿本慈之 碧山の綿移之

香薰臭之 面之人と植物替七句

お裁博の内慈強 砌ホ面之

庭の築山 本居不之非山

庭のそく 本居不之慈強 庭外之

燎 冬之津根之根分非居庭而

寮 居而氣雖非水庭而水二白

一説庭海の水と云又俄海と云

場 二音ニを四よりりてハ馬ニ

市軍は鞠あふそん皆非居

はのみてい法家切之ちの庭あり

こころと云う庭の場非居

西 二音ニ打去 付字三句

虹 龍之非天非生非傍初虹云

湖海 名而用之 鳩ニ不短

名ニ仕立とくハ鳩ニ打去

鳩 一龍之水名之 葉も龍之

かいづぐりニ打去 和名尔保

鶏 只一名一異名ニ各合木の内ニ打

庭ニ二句和分之別の名わけけ

ハ葉の名 叶はけ名 くらけ

和名 和名 け分 和分ニ各名

矮鶏 鴨鶏 若鶏 け分名ニ非夜

各合ま之 鶏とくろ名ニ共非夜

初名元日之 和名後と特ハ非鶏ニ秋之

鶏卵 鶏飯 和名と鶏ニ打去 異名ニ

面と云 (ト) 鶏飯を木の付字面

贄 一林紙之生紙 紙娘 和名迹倍

又句ニより事より 林紙 ありけ

黄 一子一之 魚と名と木ニ 魚と

老火焼料理ニ 及よ時ハ其季と持

あぐろ 子侍とのぐろニ 非生極

荷 一名を付て一ニ 小ふ一 面と

白眼 一 和名木のありニ 一 紙ニ 又云

派 一 小ガヤッ 一 小ガヤッ 一

髪結の床非夜 居不越姫

床^{トコ}を^レ床^{トコ}に^レ書^キ院^ノの^レ床^{トコ}一^ノ内^ニ

本^ノ居^ル而^{シテ}非^レ夜^ト也^ノの^レ床^{トコ}各^ノあり^ニ

床^{トコ}の^レ酒^ト盛^ル也^ノ新^レ床^トお^レ床^{トコ} 床^{トコ}の^レ別

床^{トコ}入^ルお^レい^ニ意^ニの^レ床^{トコ}一^ノ内^ニ只^レの^レ床^{トコ}お

灯^{トモ} 只^レ一^ノ法^トの^レ灯^{トモ}一^ノ釣^ルの^レ灯^{トモ}之^レ火^ト面

和^レ分^ル之^レ燒^キ火^トの^レ灯^{トモ}狐^ノ火^ト量^ル火^トホ^レ七^ノ句

篝^ノ炬^ノ火^ト終^ル燈^{トモ}燭^ト臺^ト挑^ル灯^{トモ}燈^{トモ}心^ト

經^ル梁^ト燭^ト燭^トホ^レむ^レけ^レ分^ル皆^ル和^レ分^ル之^レ

法^トの^レ灯^{トモ}ハ^レ傳^ル燈^{トモ}之^レ非^レ夜^ト也^ノす^レて^レ非^レ夜^ト

仏^ノお^レの^レ灯^{トモ}常^ル灯^{トモ}十二^ノ灯^{トモ}ホ^レ非^レ夜^ト

燈^{トモ}心^ト燭^ト燭^トも^レ句^トよ^レう^レて^レ非^レ夜^ト

照^{トモ}射^ル 甚^ク和^レ分^ル之^レ火^ト串^ル也^ノお

床^{トコ}二^ノ灯^{トモ}二^ノ面^ト火^ト七^ノ句 非^レ生^ト

虎^ト 一^ノ音^ト一^ノ寅^ト一^ノ付^ル字^トも^レお^レ去

子^ノ白^ク物^トとい^フと^レ能^ルハ^レ余^ト無^クニ^シ又^レ也^ト

鳥^ト 只^レ二^ノ妻^トの^レ鳥^ト一^ノ之^レお^レ會^ル獸^ト面^ト

小^ノ鳥^ト村^ト鳥^ト面^ト去^ル鳥^トの^レ鳥^トハ^レ三^ノ句

う^レき^レ絲^トの^レ鳥^ト水^ト鳥^ト之^レ 鳥^ト鳥^ト初^ル鳥^ト波^ト

ホ^レい^レ小^ノ鳥^ト之^レ皆^ル面^ト去^ル 其^レ外^ニ法^ト鳥^トの

吳^ノ若^クそ^レれ^トと^レ也^ト是^レら^ノ鳥^トハ^レ三^ノ句^ト

鳥^トの^レあ^レう^レと^レく^レ七^ノ句^ト 嚙^ルと^レ者^ト准^ル之^レ

た^レと^レハ^レ鳥^トの^レあ^レう^レと^レ鳥^トの^レあ^レう^レホ^レの^レ鳥^ト

あ^レう^レ者^ト嚙^ルと^レう^レれ^レバ^レ沙^ト法^トな^レし

鳥^ト胃^ト 鳥^ト毛^ト 鳥^トの^レ毛^ト 鳥^トの^レ毛^ト 鳥^トの^レ毛^ト 鳥^トの^レ毛^ト

酉^ト 一^ノ 鳥^ト二^ノ句^ト 鳥^ト七^ノ句^ト

鳥^ト柵^ト 柵^ト紙^ト之^レ鳥^ト居^ル二^ノ句^ト 鳥^ト七^ノ句^ト

鳥^ト屋^ト鳥^ト鳥^ト之^レ 響^ルカ^レ鳥^ト屋^トハ^レ新^レ

鳥^トの^レ柵^ト 又^レ鳥^ト鳥^ト 鳥^トの^レ水^ト鳥^トの

鳥^トの^レ鳥^ト 又^レ鳥^ト鳥^ト 鳥^トの^レ水^ト鳥^トの

此筆ニ宗砌師のふりて五白
去_ニ定_トと_ニ道_トも_ニ造_ト飲_ニ字_去と_ニ字_上
新式_ニ又_ニ之_ハ以_テ辨_ニハ_ニと_ハし_トく
字_去と_ハし_トバ_ニ不_可及_ニ沙_汰也_カ

巷_{キタ} 一_ニ及_ニ徳_ニ二_ニ句_ニ善_ク惡_ク未_ニ又_一一_ニ
町_{チヨウ} 一_ニ教_ニ程_ニ一_ニ名_ノ町_ニ二_ニ人_ノ村_ト也_カ

子_コ 一_ニ四_ニ音_ニ四_ニ力_ニ洲_ニ音_ニウ_リて_ニ而_カ
子_コ入_ニと_ニ二_ニ句_ニ子_ノ種_ニ非_ニ種_ニ子_ノ里_ニ非_ニ種_ニ

子_コ多_ニあ_ニ水_ニ多_ニ之_ニ子_ノ香_ニ付_ニ字_ニ之_ニ白_カ
厚_{コト}出_ニ家_ニ旁_ニ冷_ニホ_ニ結_ニ人_ニ林_ニ

花_{ハナ}梅_{ウメ}等_ト 一_ニ名_ノ長_ニ空_ニホ_ニ結_ニ人_ニ林_ニ
○子_コ香_ニ勝_ニ名_ノ而_ニ新_ニ人_ニ非_ニ生_ニ又_一之_ニ

子_コ子_コ振_ニ一_ニ書_ニ字_ニ之_ニ三_ニ字_ニ共_ニ不_ニ短_ニ
日本_ニ紀_ニ一_ニ万_ニ葉_ニ占_ニの_ニ紀_ニ生_ニホ_ニも_ニ色_ニ之_ニ不_カ

出_ニ久_ニて_ニお_ニり_又剛_ニ等_ニく_ニけ_ニ取_ニル_カ

茅_チ 一_ニ執_ニ之_ニ茅_ノ系_ニあ_ニら_ニホ_ニも_ニ執_ニ之_ニ
茅_チ 一_ニ執_ニ之_ニ茅_ノ系_ニあ_ニら_ニホ_ニも_ニ執_ニ之_ニ

粽_チ 一_ニ夏_ニ之_ニ包_ニり_カ 一_ニ之_ニ茅_ニ二_ニ句_ニ
茶_チ 一_ニ茶_ノ葉_ノの内_ニ一_ニ種_ニ也_ニ一_ニ茶_ノ座_ニ一_ニ

茶_チ 一_ニ茶_ノ葉_ノの内_ニ一_ニ種_ニ也_ニ一_ニ茶_ノ座_ニ一_ニ
茶_チ 一_ニ茶_ノ葉_ノの内_ニ一_ニ種_ニ也_ニ一_ニ茶_ノ座_ニ一_ニ

散_チ 一_ニ字_ニ去_ニん_カ 一_ニの_ニ茶_ノと_ニく_ニハ_ニ面_ニ
牡丹_チ 一_ニの_ニ茶_ノ梅_ノの_ニ花_ノ也_ニ茶_ノの_ニ花_ノ也_ニ一_ニ

茶_チ 一_ニ茶_ノ葉_ノの内_ニ一_ニ種_ニ也_ニ一_ニ茶_ノ座_ニ一_ニ
茶_チ 一_ニ茶_ノ葉_ノの内_ニ一_ニ種_ニ也_ニ一_ニ茶_ノ座_ニ一_ニ

ら_リ 一_ニ茶_ノの_ニ世_ニ一_ニ茶_ノの_ニ世_ニ一_ニ茶_ノの_ニ世_ニ一_ニ
い_イの_ニ茶_ノい_ニと_ニく_ニ又_ニ之_ニ音_ニハ_ニ面_ニ

長老 人倫之俗の長老の職名
 長老 又 老人 非人 ちりき 不疑
 児 一子 一面之揚り 又 珠 又 一
 らひきき 一ちひきき 一ち小 二句
 乳 一乳 乳 乳 乳 一乳 一乳 一乳
 小 七物の乳の面 乳母 一乳
 血 一乳 乳 一血の及 乳 血 乳 一乳
 加 人 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 中 凡 二句 ちりき ちりき 不疑
 帳 一帳 箱 一乳 一乳 一乳 一乳
 契 只 二乳 二乳 一乳 一乳 二句
 近 字 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 陳 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 縮 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳

利

律の志 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 乳 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 利 名利 利 是 利 口 利益
 利 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
 里 一乳 一乳 一乳 一乳 一乳
沼 二 名 一 二 句 村 字 二 句
 布 二 乳 一 布 一 乳 一 乳 一 乳
 本 平 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳
 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳
 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳 一 乳

除^{スリ} 一ぬりおの内ニ塗師一

塗師もぬり也と云非人

主^{スレ} 二之あつて之共人傷之て而

盗^{スス} 一ぬり人一ぬすまを二

ぬり立寄ハるゑる者路ハるゑ

寝^{スル} 四之ぬりぬり七句記^{スレ} 二句

生郭のぬりぬり子^{スレ} 勃勃久てお

信^{スレ} 久て四之ぬり神^{スレ} 惡之

ぬりと云詞二句之ぬり日^{スレ} あり

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

ぬり七句之ぬりぬりぬりぬり

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

額^{スレ} 突^{スレ} 又^{スレ} 教^{スレ} 之^{スレ} 幣^{スレ} 祇^{スレ} 之^{スレ}

抜^{スレ} 八之費^{スレ} 七句 費^{スレ} 四之

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

ぬ

強^{スレ} 一淨^{スレ} 一之^{スレ} 翠^{スレ} 崔^{スレ} 林^{スレ} 之^{スレ} 面

ぬりぬりぬりぬりぬりぬりぬり

る^{スレ} 留^{スレ} 二句之^{スレ} 二句之^{スレ}

る^{スレ} 二句之^{スレ} 非^{スレ} 三句之^{スレ}

乎

和^{スレ} 名^{スレ} 於^{スレ} 玖^{スレ} 万^{スレ} 家^{スレ} 又^{スレ} 行^{スレ} 之^{スレ} 物^{スレ} 也^{スレ} 也^{スレ} 也^{スレ}

余^{スレ} 書^{スレ} 口^{スレ} の^{スレ} 乎^{スレ} と^{スレ} 出^{スレ} 一^{スレ} 本^{スレ} 教^{スレ} 多^{スレ} 之^{スレ} 也^{スレ}

或^{スレ} 云^{スレ} 口^{スレ} 中^{スレ} 物^{スレ} 之^{スレ} 口^{スレ} の^{スレ} 乎^{スレ} と^{スレ} 定^{スレ} 之^{スレ}

之^{スレ} 乎^{スレ} と^{スレ} 與^{スレ} の^{スレ} 於^{スレ} 之^{スレ} 是^{スレ} 古^{スレ} 之^{スレ} 也^{スレ}

或^{スレ} 云^{スレ} 和^{スレ} 濟^{スレ} 必^{スレ} 詞^{スレ} の^{スレ} ぬ^{スレ} り^{スレ} 也^{スレ} 也^{スレ}

○乎^{スレ} 於^{スレ} 於^{スレ} 古^{スレ} 人^{スレ} の^{スレ} 也^{スレ} 混^{スレ} 也^{スレ} 多^{スレ} 一^{スレ}

者 字去之 絲ニあるニひびきニ

ける 字ニ二あり 嗚ル不短

者 信 字ニ二あり 信の字ニひびきニ

絲ニあるニ不短 風の字ニ二あり

小 字去之 二ニあり 二付夕短

小 字ニ二あり 二之 小田ウすす去之

小 忌衣 林祇之冬之衣 藍山藍袖月

小 野 二名 二一之 小の 興ニ非ニ

小 塩 二名 二一之 山 野之 之ニ非ニ

長 二名 二一之 山 野之 付字ニ二

を 二とらう 二とらう 二とらう 二とらう

とらう 二とらう 二とらう 二とらう

とらう 二とらう 二とらう 二とらう

又 二とらう 二とらう 二とらう 二とらう

女 一とらう 二とらう 二とらう 二とらう

いとよめむすめ 妻 妾 女 女 女 女

後 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

秋之風体之化の季一溪萩一
 萩の燒系下菴は冬之非風和名乎木
 萩は夏之枯は冬之冬之萩は秋之
 溪萩秋之水辺之非風サ戸面之
 尾花 秋之枯は秋之落は

尾花 松尾 小尾 三句

初尾は初穂之尾 不燠

尾 生熟して二小せ抄面之付字三句

尾上 只一名系一之上二句 尾三句

嶽 峯 三根 山のたき山ホセ句

雄 二句 け熟又冬とんころり又冬

男 二双へ冬之男夫 面之男の下略之

丈夫男松 雄鴨牡大ホ双へ冬之

男 まするとい面男松雄鴨ホハセ句

草 一と一草 終とこすの内一と

法 只一法ト下法ホ一と冬之玉の

法又冬 今之玉のとい法 面之

尾 雄牡法 草け五和名乎

響 冬之水冬之涼一法は夏之

高 旁麻厚冷ホ法は秋之

折 字去之 比時草ホ二句

木 草紙麻 木のよ小て折ハ

一 亮くて面之 是ハ比時草不燠

園 一檻又月 秋と句の困之

枚 折を折ホハ又檻の字ハ又樹

押 有るの字ハ只せ折ラ 去来ハ

幼 稚 一とささかなり 冬之又冬

治 玉家一電 一月雪 一火火一

納 面之 納 四句 和名乎佐年

通其
三十一
再録

桶 一名の桶一々 和名乎計

踊 一秋之又生於三狗録ホ一之

發 二之又産の之 一之和名乎之困

游 水ニ河ニ一之 ▲忘 二之

惜 四之可憐ニ一之 ▲誘 二之

及 二之及然又一 ▲犯 二之

終 久て而玄 ▲補 二之

和

和田系 和田ニ不怪 系ニ一之

我 字玄之 人傷之 吾双ハ玄之

我 君 人傷の外之 王宮ホ一之

吾立 仙名取之 尺取之 山取之 非人

我 虫 水之之 龍之 吾を 孫ハ一之

王 吾妹 子 人傷之 玄之

若 人傷の上 於て四之 於之 草木の

上 於て四之 於之 於之 於之 於之

人 傷 草木 於之 於之 於之 於之

若 草木 於之 於之 於之 於之

忘 字玄之 忘 於之 於之 於之

別 只ニ忘ニ一之 於之 於之 於之

忘 之 別ニ 於之 於之 於之 於之

後 二之 於之 於之 於之 於之

後 二之 於之 於之 於之 於之

後 二之 於之 於之 於之 於之

後 二之 於之 於之 於之 於之

通上 三十一 再録

分 字をん勺より別 二勺

渡 字をん 水辺の渡の面を

渡り川と名傷の渡り 亦非旅

矢 一之 山の矢縄の矢木の内又一

激 一は 激一之 極木の枝をまを

綿 一は 綿一之 又綿繩木の内一之

綿 一は 極木の綿帽子綿子木の

小也木の面とめん 二勺ゆふ不短

綿 綿くろ 古綿さう綿三綿

時綿木皆熟之綿子綿やじを之

かさこの綿をまを ぶけ綿を之

むい夏之取と吹と新綿夏綿林

早田 秋之極木の極木とすれ夏之

芝菜 一非極 日る草日る極木一之

新日る秋之極日る飾日るまを

簪 一之 簪の峯尺表之非生山

簪の尾名不之山形 付字も打

髻口 裨祇之非生 髻の口は髻之

髻 日るハ日る日る 皆打之

服 支棟 一例の服 一服法服香

服の服木皆打うてまを之付字二勺

服法 服の内 服を 服に木皆打之

服指 刀方刀木面之 服の服非人

涌 水 一湯 一心 一室付木一之

佳 字をん くるきくき木不短

端 一名の端 一級一之 徽七勺

梳 一名の梳 一之 日るく髪夏之

後洗 居不 越短 一之 僅二之

日るき 二勺 二勺 業二之

日るき 二勺 二勺 刻字をん

教 八之集る 三句 付字 三句

加

教字 一二百子付ても打越し不姫

○又字音 八之訓 八之音 八之訓

とらりて七句也。二又字も十

とハ訓音の異ありくハ云ん

面去。百子万ハ音 四之訓 四ハ

訓と音とらりて面去皆付字三句

台母 四ハ台母 面ハ 續 不姫

重 八ハ一 二句おしき不姫

○又字 二又ハおしく不姫

との教ハ 重字らりてハ付て不姫

お越し不姫。重字ハ祝言 三句

景 教景夕景夏景浦景ホハ

お去付字三句 景 教陰ハ三句

教 又て字去之 日月火人付教

ホの動く教ハ陽ハト云 日教 二

日の教 一月教 二月の教 一ハ

陰 又て字去之 山 岩 植 物 念 法

家ホのくくくハ陰ハ陰ハト云

陰 岩 根 岩 根 垣 根 ホ 二 句 植 物 の

根ハ不姫 又ハト云 本下陰 二句

写 二名不 二ハ水去之付字三句

川 字去之 川 音 の 反 非 降 ⑤

川 音 の 反 非 降 ⑥ 和 名 加 波

カスミ 去之 浮 物 之 云 結 末 三 句

カスミ 去之 袖 衣 非 衣 云 之 網 海 非 水

カスミ 去之 色 居 而 越 越 云 之 高 汲 何 之

カスミ 去之 洞 皆 去 之 幼 妻 元 日 之

カスミ 去之 若 不 吉 の 名 而 之 難 之 非 後 之

○ 露の雲 名取之 龍之 非徑の

標 二之 露 不 煙 又 白 子 子 履 成

風 字 去 之 風 炉 風 乾 亦 二 句

其 分 嵐 風 東 風 亦 之 異 名 三 句

凡 体 二 句 之 極 妙 之 妙 者 三 句

荻 扇 二 句 之 悅 不 疑 亦 風 三 句

之 風 亦 有 之 喜 思 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

初 嵐 也 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

樂 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

の 内 二 句 之 吟 抄 之 田 亦 亦 亦 亦 亦 亦

公 四 之 音 四 之 音 訓 亦 亦 亦 亦 亦 亦

○ 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

香 一 香 炉 香 合 之 内 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦

の 内 二 香 之 名 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

香 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

か かり 白 芳 臭 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

人 香 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

香 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

人 の う り 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

臭 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

芳 二 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

杜 若 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

萱 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

萱 が 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

川 萱 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

新 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

牧 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

蒲 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

が 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

花 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

花 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

株 木ニ 酒貨木の株一々せよ小枝

枯 木ニ一名の木ニソネ一々の木一打之

墨の枯面 風ニ句 付字ニ句

水の個々の夏目 融軟韻ホニ句

枯中 冬之植物 城壁々々 砂を砂

おま 枯まみん 裏枯林ニ

枯中 枯草ニ 冬枯木 寄居 寄麻

虫冷木 枯ハ林ニ 枯中 寄居 寄麻

枯木 親ニ 植物ニ 風 面云

とごまね 枯木の 冬冬ニ 打云

楓 林ニ 冬冬ニ 林ニ 秋楓夏ニ

紅葉 而ニ 鶴冠本 和名 加倍天

柏 親ニ 冬冬ニ 夏ニ 秋楓ハ林ニ

柏ハ 八冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

拍掌 沖祇ニ 榭 和名 加之波

樹 親ニ 樹の花 林ニ 月の樹のを

月の樹の 二冬ニ 月の樹の 冬冬ニ

皆林ニ 非樹 山傘 冬冬ニ 冬冬ニ

月一 以 月の樹の 冬冬ニ 非樹物ニ

哉 月一 以 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

の文ニ 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

而の月と 枯ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

て 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

冬と 許冬ニ 林ニ 連飲 遊遊 共同

樹 植物ニ 一 吟物 一 冬冬ニ 一 枝 一 打

深冬ニ 而ニ 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

樹 林ニ 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

半樹 切樹 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

かき 冬冬ニ 非樹 冬冬ニ 冬冬ニ

信 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ 冬冬ニ

通川

栴 秋之むら夏之泥飾ハス日

栴 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子 栴子

栴 九年母 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴 栴

△垣不垣振木四の内へ田畑の垣居不越垣
○垣居不意之居不越垣二句

かゝる 居不越垣 垣色ニ七句云

旁 履のかゝる非居垣ニ二句

かゝる 居不ニ一像物ニ一人ニ業ニ一

基人 船木のかゝるも垣色ニ二句

圍 かゝる面を垣色ニ二句之茶の居の

圍 居の居不のい者意之皆打去

指 かまニ二かまふニ二句皆打去

隠 八之義ニ七句 うちが居不越垣

隠居打 家ニ二句述懐之

材 一名不ニ一山歌之非氷 控ニ句

覓 水色之 總ニ二句 極ニ打之

門 四之音ニ四 洲音かりりて句云

かゝる 迎門 門戸 空扉 櫓

帝 かどニ七句 もんニ不越 門立之

もんニ三句 加ニ不越 門立之

祚 只ニ二名祚 一名不の祚一打之

音ニ面之 祚不祚之 面祚子ニ七句

唱祚ニ二句 霞ニ茶姫 付字ニ三句

祚ホ 一汎物ニ一之 祚不忌又云之

里 祚不忌之 位者のを 祚不親之

○ 祚不 歎 庭燎 阿知女 採物之 歎

韓 祚 汎 大 小 張 小 張 千 歳

子 歎 罽 汎 皆 之 之 之 祚 祚 之

又 求 子 在 在 梁 梁 秘 秘 是 之

あ 之 之 之 蓋 汎 汎 小 小 張 之 内 之

祚 祚 之 傍 之 之 之 祚 祚 其 越 越 之

名津名ありは新式此は傘云
 位者其日の津も名ありあはれしを
 世にては後と不利と貞博と必又可
 あり據り 伊勢の津ニ付てハ家ニ
 之へきまわれども 際之を抄
 位者津ハ名有表筒男ハ名津之云
 其日 名あり 其日 其日 不短
 其日 其日 二月 其日 其日 其日
 麻糸も云之 掛名モ皆あり
 上 八之 二 あり あり あり あり
 音ニ三句 付字ニ句 四下ニ不短
 上久ニ津ニ林ニ七句 又白ニより
 有ニ音ニ一たり 茶た紙木の内ニ
 りろろ一皆打去 蜀綿 蜀綿
 衣木のりひのかうニえ 面之

梨カラスキ 傘カラス 熟瓜カラウリ 乾鮭カラサケ 不短
 賽カサミ 津カサミ 祇カサミ 賽カサミ 津カサミ 又カサミ 打カサミ
 人の體ホ一よかき大體ホ一
 かんりる一 鏡ニ面ニ尺ニ二句
 鏡一非意 吳名一鏡立木の内ニ
 水月心石木の内ニ 次め尺意之吳名
 鏡 兼且之ふせ物あり 打去
 鏡 兼且之鏡ひきき 打去
 令 かひ一かき一こき一之打去
 銀銅鉄皆准之 付字ニ句
 令 銀銅鉄 吸之等一りれい皆是
 打短之 吸之等一りれい皆是
 同鏡 曲尺 鉄線ホ二句 鏡不短
 鏡 只一時一尺一尺一吳名一之打
 名之紙也紙尺也 入わい時の鏡之

淀海ハ非水 淀の川ハ水

横 四ハ 邪僻ヨコヒ よこひらる木セウ

横雲 横ハ 付字三ウ

○横川 名取ハ 山形ハ 非水

より 二ウ 去ハ 河又ウウウ云河ニウ

後ノ字ハ 寄依ノ字ニ不姫

よ又字 下知ノ河ニウ去ハ

のやハ 河只一息一 ▲ 収 四ハ

筭 四ハ 加カケルニ面 ▲ 讀 四ハ

余 二 只ニ 息ニ 一 ▲ 寄 八ハ

蕨 一ウ 一 養一ハ ▲ 依 八ハ

玉

玉 宝ノ玉四ハ 打ハ びノ玉四ハ 打ハ

宝ノ玉ハ びノ玉ハ 面ハ 小セ 打セウ

魂 灵神ハ 二ウ 付字ニウ

陽 拾ハ 宝ノ玉セウ 外ニ 二ウ 魂ハ 不姫

玉ノ字 貝ノ玉ハ 干ノ玉 皆宝ハ

水 柱七宝ノ名モ 宝ノ玉ノ内ハ

玉 柳 玉 打ウ 玉 打ス キ 外ハ 打ウ

玉 素 意ハ 一字ハ 去ハ 去ハ 去ハ

家 養 泪 藍 牛 白 外ハ 玉 打セウ

眼 玉 赤 玉 衣ノ玉 外ハ 小セ 打ウ

魂 四ハ 神 灵ノ字 双ハ 去ハ

たまハ 去ハ 去ハ 去ハ 去ハ 魂ノ玉

灵 祭 本 神 毎 神 亦ハ 玉ニ 二ウ

○ 灵 祭 灵 柳 亦 林ハ 去ハ 去ハ

玉ノ玉 一 述 懐ハ 意ニ 一ハ 命ニ 打

生 祭ノ命ニ 面 魂ハ 打 玉ニ 二ウ 玉 面

○ 命ノ玉ノ玉ハ 去ハ 去ハ 去ハ 去ハ 命ニ 不姫 魂ニ 二ウ 宝ノ玉ハ 内ハ

珠タマの内うちに投な珠たま打うち之の玉たまのと許ゆる

とよ約やく玉たまのと柳やなぎもも古ふる投なのの内うち

○投な珠たま之の珠たま字じの玉七しち句く外ほか三さん句く

旅タビ 四よ之の音ね四よ之の訓く音ねの乃面めん之の

非ヒ旅タビ之の音ね旅タビの字打うち之の旅タビ体たい之の

旅タビの爰又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

旅タビ之の爰え又また古ふるにに 旅タビ覺かくホの表ひょう八はち句く

○田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

田タとり之の新あらた之の非ひ植うゑ○田タ之の爰え之の

種よくもふせりもすまへ植物哉姪
府物よりうけし所の季を指へし

竹 五白玄之植物なりぬ竹ハ之白

る本ニ白 筵 志のすまニ白

△笋 夏之竹ニ子ニ白之若竹 夏之

竹の林 三月之 竹植 日五月十三日

竹の表 八月之 竹の皮ぬく 六月

旬の竹 八月之 鞠の竹切 六月

竹 極 惡竹ハ植物之竹ニ 五白

○ちひろるを陰 子孫る竹之ニ白

楳 一才夏之氏ニ 一畝之ここよのぶ

ニ楳も夏之介の梅 秋ハ楳林之

楳許ハ秋と強リて 夏ハ楳之

喰物の白ハ林之 力 飾心ハ元日之

花 一才夏之楳ハ林之 大花ハ又ニ

葍 一名ニ之きのこくさびりもあ

○ト治 初葍 松葍 氣葍 芥葍

葍葍 紅葍 柳葍 槐葍 蒜葍

忌葍 針葍 天物葍 いらりぬ

松 菌のふ林之植物ニ 越姫

藜 一非植 葍能 二月之又五

たぐニ 面やくニ 五白本ハ本樵ホニ 白

焚 二やくニ 面之 燃 七白

芥 非忌 たくニ 七白やくニ 五白物ニ 白

香 打 かがりるニ 白ニ 臭ニ 七白

○梅 花 荷 菊 菜 菘 菜 落 葉 菜 皆 季 物 也

七夕 一 暑 名 一 一 物 ホ 一 之 林 也

日 ち り り 結 ぶ 結 ぶ の う ち 也

黄昏 夕 附 夕 二 百 流 二 百 非 人 也

鑄 乾鑄をいふなり

錮 執之 揚銅也 和名太比

依 一名の儀一極儀ハ九也又云

橋 一名の橋一柳橋をいふ字ニ句

短冊 哥ニ露夕ニ面也

簿 夏ニ非夜 吾不越也

袂 一也ニ句ノ衣又也

臺 一名の臺一 其不也ハニ句

琴 一非也ノ音一ニたむ公の力不姫

たむ 四ノ本棉也 山セマ作

衣 衣也とたむ 琴紙也 枕ホクニ

榭 一吾不也 又名の榭一 菰蒲葛の

柵 柵の内一非居 市の柵非居

堂 一非尺名の堂一 又句ノより

尺 尺の附ハ塔寺枕ホセ七句

塔 一尺也ニ塔婆塔中ホの内一

大 四ノ才大思神祇也 大ニ非人

民 非人 民のかまぐ非居

躰 一也物ニ付ニ字ハ打去て也

非 字也人信ニ之れ松虫非也

柵 三句也 仕立ニハ侍ニ句

密 八ノ付字ニ句 簾ニ句 又

刺 刺の意氷非水 又 氷ニ打

一也 刺ニ一 結てハ打去

一也 刺ニ一 風家士又也

四ノ 四ノ 又 夕ニ句 二句

た ぐる 又 夕ニ句 二句

ま さい 不 付 存 へ 句 二 句 也

二 た ま ぐ 一 た ま ぐ 一 也 打 去

一 た へ 句 之 塔 經 木 不 姫

ル、下知のふ二句去

〔卷〕

袖 字まゝ(ハ)たつとらゝ二句

深 久て四之葉と深林之付字三句

袖 字まゝ(ハ)衣をそ不付

衣の不短 袂二句袖の者悉之

袖のまゝ 衣の時取の如く

志がる月水木後三句月意三

句を結ぶ神の月家我之氷時取

穴 八之久堅重井二句びるま不短

天の字二句とくと訓てハ七句去

半天 穹虚の字のそホ七句

虚 四之音四之訓音うりて面

そ目とら短とら短ホ悉之

儂 一尺義之非人 名儂言儂也

人儂の儂又二之久後小儂也儂ホ之

官 又一之非人 儂止儂語ホ之

俗 一非人俗説俗性の内二風俗一之

非人 非人 一宗剛親の字号又非人

松 一山野之松本も月お共非植

松人松士の内一之人儂之非山

葱の松又ある非山 付字三句

園 園生共植物越短非居

園 二音二之 付字三句

外 字まゝ外面二居ある(田)田

傍 八之とい覆傍外意之

流 字まゝとば二句傍三句

流 水色之植物越短之

そまぐ本一之風儂之

再反

十 ぶつりくハ折久てる音ニセウ
 三十 四十ホ年の字ニ不短之但
 ちの候名ニハ北ニ付クニ
 蕎麦 植七月 花八月 薊九月
 植おへ 新そばは九月ハ非植
 換 利月ニ破換ニ又とんぶる一
 ぞ 濁りくる 二白き
 猪 一赤ニ奴ニ面 ▲玄月ニく
 浅 一赤ニ一 ▲存ニく
 阻 二く山懸 ▲反ニく
 雷車 冬 ▲涉ニく
 庭 二て四 ▲背ニく
 俊 二て二 ▲撮ニく
 影 字を ▲丈ニく

初

去 一名の土一土仏お朱ホの内ニ又一
 たるふ折く 地ニ面ニ付字ニウ
 築 四ニ築は不短付字ニウ
 筑山 非山 筑地 共 居而或短
 植 一赤ニ 早咲萩植ホの内ニ
 植と許もあ家の説ハ赤ニ赤
 子咲ホ之植の池灰ホ執ニ内ニ
 植解新ニ赤ニ 竹を云ハ植抱
 又候の名ニ非植右ニの内ニ
 鄭 陽 赤ニ本ニきり 赤まホニ
 土 赤 赤ニ許もとる
 いづきの字も不短 赤つむ又
 蕎 一 蕎ろくろ蕎ね赤うの内ニ
 皆林 赤ニ夏枯 冬ニ右ニの内

氷柱 ツラ 氷柱 ツラ 朝のつゝ非水

蔓 ツル 蔓 ツル 弓法いふ

約 ツク 人のけり一けり一系の名

約 ツク 一水色之舟海士ホと不妊歎

非生の約又二く 約若名

樞 ツク 非山植 木柴薪妻凡ホニ句

燕 ツク 去る返 ツク も梁も去る返林

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

落 ツク 一落 ツク 一音 ツク 一系 ツク も子 ツク 一親 ツク

巻使弄ホ不姫 又は又宮の字

侍 只ニ意ニ一旅ニ一侍言ニ四の内ニ

○ほへはふハハ之西へしてニ七ウ

勅 只ニ意ニ一仏ニ一勅の身懸ニ

凡 二つまニ一打ニ一内意ニ二まニ一

聖 一獸ニ一鳥ニ一之皆面をニ

凡 七放凡取抄ホ意ニ凡本ニ二ウ

歌 歌中 頭痛 既頂ホ打りてあニ

骨 相骨 指骨 系骨ホりりておニ

面 久てハニ回つ川つ極つ町つ

藏つ板つあうてニあるニ七ウ

人の頬唇のツラ各おニ付字ニ二ウ

告 久て四ニ仏神の告一面を

司 一神目ホニ一司右八月ニ

坪の四一庭砌 面ニ居ホニ意ニ面

敷居の坪ニ又一之坪の内ニ意の字ニ

壺 一名の壺ニ一之打ニ壺口意ニ面

壺 四肘壺ニ壺ホ面ニ付字ニ二ウ

儀 一名の儀ニ一河の儀面付字ニ二ウ

杖 一名の杖ニ一之小せ物ニ面名初意

柄 一名の柄ニ一之欵系ホニ付字ニ二ウ

樵 一名の樵ニ一之樵目又ニ付字ニ二ウ

筒 一名の筒ニ一之筒立并筒筒字

おもは打りてまニ一付字ニ二ウ

他 四ニ接縫ニ去ニ面ニ付字ニ二ウ

作 久てハニ額作ニ意ニ付字ニ二ウ

常 四ニ常の灯ニ意ニ非夜ニ付字ニ二ウ

包 久て四ニ裏ニ一面を

瓶 面 只ニ意ニ二ニ 意ニ不姫

片 只ニ意ニ二ニ 意ニ不姫

疲 久て二んけね二又一五之

連 二之乃道ホん又つてほほそ

なごを泡くして面をそぎ

つん 七白をえり二おえ

ほりし日あえつんつじハ二句

ほけり多付をもろりて

ほり下るる二只一之倍へてま

上の白めてい不可留之中のほも

二字多とあれも面をそぎ

げくと云河二之

列 四之つぎ不疑

提 一名の粒一之

粒 一名の粒一之

土 一苞一之

撮 二紐二之

ほくく 淋七句

ホ 二ほくね二之

番 一せね二之

飛 二非更

兵 非人

九折 山折

綴 久て二之

悟 久て二之

忌 字を然二之

付 字を然二之



根 本 二子 二之折之岩根垣根

岩根ホ 面之根渡一風体之面

岩根垣根ホ 女下陰ホをう二之

心根矢の根根ホ 三之付字二之

音字走(フ)者(フ)字(フ)音(フ)二(フ)

虫の音(フ)七(フ)動(フ)物(フ)の(フ)三(フ)白(フ)

舐(フ) 四(フ) 口(フ)火(フ)生(フ)乳(フ)ホ(フ)久(フ)て(フ)

乳(フ) 二(フ) 西(フ)と(フ)乳(フ)ハ(フ)尺(フ)皮(フ)之(フ)乳(フ)系(フ)ハ(フ)七(フ)夕(フ)

練(フ) 四(フ) 練(フ)付(フ)書(フ)其(フ)夏(フ)之(フ)本(フ)練(フ)杖(フ)

祿(フ)宜(フ) 人(フ)信(フ)之(フ) 拈(フ) 二(フ)

索

名(フ) 只(フ) 二(フ) 恣(フ) 二(フ) 折(フ) 之(フ) 音(フ) 又(フ) 西(フ)

植(フ)物(フ)中(フ)其(フ)外(フ)の(フ)名(フ)ハ(フ)面(フ)之(フ)付(フ)字(フ)ニ(フ)有(フ)

う(フ)き(フ)名(フ)立(フ)名(フ)り(フ)ハ(フ)名(フ)ホ(フ)恣(フ)之(フ)り(フ)名(フ)

名(フ)と(フ)う(フ)る(フ)ホ(フ)ハ(フ)非(フ)恣(フ)ニ(フ)名(フ)也(フ)人(フ)信(フ)之(フ)

夏(フ)女(フ)の(フ)名(フ)恣(フ)之(フ)信(フ)の(フ)名(フ)尺(フ)皮(フ)之(フ)共(フ)

人(フ)信(フ)之(フ) 名(フ)字(フ)實(フ)名(フ)信(フ)實(フ)ホ(フ)非(フ)人(フ)

鉾(フ)波(フ) 只(フ) 一(フ) 恣(フ) 一(フ) 景(フ) 一(フ) 年(フ) 二(フ) 折(フ)

名(フ) 練(フ) 二(フ) 白(フ) 龍(フ)雲(フ)の(フ)名(フ)練(フ) 名(フ)

媒(フ) 恣(フ) 非(フ)人(フ) 中(フ) 二(フ) 立(フ) 二(フ) 白(フ)

仲(フ)人(フ)ハ(フ)人(フ)信(フ)之(フ) 又(フ) 恣(フ) 中(フ) 之(フ) 面(フ)

中(フ) 字(フ) 恣(フ) 中(フ) 内(フ) 裏(フ) 求(フ) 得(フ) 二(フ) 白(フ)

中(フ) 恣(フ) 中(フ) さ(フ) る(フ) と(フ) う(フ) さ(フ) ぬ(フ) 中(フ) 人(フ) 恣(フ) 之(フ) 也(フ)

中(フ) ホ(フ) 恣(フ) 中(フ) ハ(フ) 折(フ) 之(フ) 中(フ) 練(フ) 名(フ) 練(フ) 之(フ)

泪(フ) 五(フ) 白(フ) 恣(フ) 之(フ) 目(フ) 二(フ) 位(フ) 二(フ) 白(フ)

眺(フ) 二(フ) 見(フ) 不(フ) 強(フ) 生(フ) 乳(フ) の(フ) 啼(フ) 不(フ) 強(フ)

泪(フ) の(フ) 恣(フ) ま(フ) 之(フ) 淚(フ) の(フ) 恣(フ) 杖(フ) 非(フ) 強(フ)

淚(フ) の(フ) 恣(フ) 恣(フ) 非(フ) 強(フ) 淚(フ) の(フ) 恣(フ) 恣(フ) 非(フ) 水(フ)

源(フ) 川(フ) 恣(フ) の(フ) 恣(フ) 非(フ) 水(フ) 名(フ) 恣(フ) の(フ) 恣(フ) 非(フ) 恣(フ)

純(フ) の(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ)

恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ)

位(フ) 只(フ) 一(フ) 恣(フ) 一(フ) 子(フ) の(フ) 恣(フ) 一(フ) 位(フ) 子(フ) 恣(フ) 一(フ)

皆(フ) 折(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) の(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ)

恣(フ) 字(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ) 恣(フ)

鳥獸十獸七句之りりい三句也

ありきも又誰之唱を著せ給て二百

唱 字去之 唱啼 二百位 不疑

唱 非 非 非 非 非 非 非 非 非 非

唱子 秋之鳥獸と不付 江板流の

麻葛を唱てくホホおま

の廣の唱子の新んむは張へん

款 二之枝む茂ホ張へ植物は疑

ころきるつむひらあホ張へ非植

眺 二なるむ一命又一之折

又ニ二目 不疑 月滿 八疑

形又 不疑 命の縁 又 不疑

夏 字も季も五句玄夜 三月 月 〇

苗 一苗代一之田ニ百菊枝ホの苗一

〇田と不疑 早苗ニ田と菊ハ三句

△苗 早苗 夏之れも植も夏之が植物

苗代ハ夏之植物ニ越給

△菜 季之て二菜種一之菜 菜

菜留 菜飯 菜汁 菜種 干菜 菜之

〇るのむ 菜を 菜を 菜を 菜を

〇菜と荷 小なるつまなるるホ林之

〇菜と水 水なる冬之。枝菜菜菜ホ三句

菜と播 まるるれども流のなつみ新

〇新なる 新なる 新なる 新なる

七草 芥 芥 五形 蕪 蕪 仏の丸

新菜 何れ代へ。七の字 カハ之

控子 一草夏一夏之。その竹も月

四字共ニ 不疑 瞿麦 上コナツと云

梨 花ハオ云 亥ハ秋之 梨子と云

白より 季と云へ 付字ニ三句

梨地 梨つが 共 新之非極又五

櫛 新之 茂ハ夏之安ル秋之

波 字去之 浪の字双、去之 水去之

○ 浪の波若浪ホ非水、浪の在(水去之)

○ 浪枕 浪之教之(水去之)

浪花 只一寺江は人ホの内、又一之

をにもも(り)りも(ち)も人も非水

はと江と結ハ水去之浪花不疑

○ 難波はの及ハ非水(一)奇(二)面

流 四之 水去之(り)るも(る)すも内之

○ 浪本水去之非極(た)迷の句ハ非水

流 教 扇鞠立(花)ホの流(一)矢(二)災

是ホの浪(一)是(二)浪(三)の浪(四)ホ皆非水面去

習 二之世の俗(二)之 皆(一)折(二)去

流(一)り(二)く(三)一(四)折(五)之(六)風(七)俗(八)一(九)面(十)之

訓 久て八之 約(一)り(二)ふ(三)二(四)句

訓 只一(一)去(二)一(三)之(四)訓(五)二(六)句

習 礼 藝(一)一(二)句(三)一(四)之(五)習(六)訓(七)二(八)句

平均 地(一)一(二)算(三)一(四)之

半 二之半(一)三(二)句(三)中(四)二(五)句(六)中(七)不(八)疑

夜(一)不(二)疑(三)○半(四)天(五)定(六)七(七)句(八)中(九)二(十)句

長 八之 永(一)双(二)也(三)か(四)さ(五)不(六)疑(七)対(八)字(九)三(十)句

長 二(一)句(二)長(三)キ(四)夜(五)秋(六)之(七)水(八)日(九)去(十)之

逆 字(一)去(二)之(三)双(四)も(五)月(六)川(七)面(八)極(九)不(十)付

日(一)次(二)二(三)句(四)並(五)居(六)一(七)次(八)い(九)面(十)之

命 述(一)懐(二)之(三)長(四)永(五)二(六)句(七)不(八)疑

命 二(一)句(二)述(三)懐(四)の(五)命(六)二(七)句(八)不(九)疑

麻 只(一)一(二)去(三)一(四)極(五)一(六)得(七)一(八)之(九)折(十)之

たる(一)び(二)く(三)い(四)面(五)去(六)共(七)ほ(八)り(九)る(十)凡(十一)折(十二)去

愈 二(一)寸(二)さ(三)く(四)七(五)句(六)愈(七)非(八)極

情ニ意ニ心ニ二句云

振久て四一 振杓をさす夏一

繩一名の繩一 一 竹字三句

罽繩面一 田畑ニ不疑 付字三句

湯一名の湯一 湯祭夏一 意一

性久て四一 いきるむすらふあし

ちるホニ不疑。性ハ菓ニ只一

藤久て二一 藤葉の紐又云

云字云一 ちる道ニちるニ一

ふのぬあはにせ 湯南無ホニ不疑

おほけるれいとけるき けしるさ

つまなきいづなきホ不疑。おぢきるた

受米なきかひるきい けしるさふ二句一

何ニ句云一 幾不付 単り二一

みづし 七句云一 三字りか一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一 字云一

ありしはまればやも同お七白去

ありしはありしに二白ありや付白姫

ありしに 面去之 濁り二ハ二之

ありしに同おへ ありと洗よの

てふんせいてま屋んを屋ん ㊦

○ふるまじしとるらん 既体字

おれハ成の字こるハあじ

みこそ山山影 ▲投ニ之

蹴ニ名水水之 ▲脚ニ之

流ニ名水一水辺之 ▲唯ニ之

おし藝ニ志一之 ▲掌ニ之

追飾おえ敷分ニ ▲直四之

智采 狂去不疑 ▲勿七白去

なある一志一之 ▲双字去之

泥 一子の乱連ニ 狂字去之

良

榮 一ふちむらまあきぎの地一之

林之 芝榮ふ草木のゆ一之

燐燐 白より表分ハハハ ㊦

持一垣七白之詞の皆又之

浪人 述懐之 宰の字ありぞ

洗 二白去之 濁り二ハ之 面去

らしもらぬも同おりりて二白之

洗 濁り二ハ上之 叙のてふて屋べ

並さる付い字てすべ

洗 ありしにルに 洗らんぬ洗

とめさらん 木皆屋ニ二白去

又一字ちのき不疑

られ 二白去之 らしに二白枝の去之

らし 七白去之 濁り二ハ折去

高智 人信之 ▲ 瘡癩 之

年

梅 一云之 红梅 白梅の四ニ云之
梅 聖八朝梅の四一梅之 早咲一云之
皆抄云 其梅 夏之面之 和名 宇女

梅枝 楓ノ末之 麦の梅 枝 他 季 梅 面
梅 天 梅の 面 夏之 梅 干 梅 深 熟之

梅 壺 熟之 非 粒 け 分 面之 付 字 三 句
梅の 異 名 好 文 本 未 完 記 書 の 見 白 卷

香 之 心 存 心 之 子 未 考 者 風 俗 考
け 介 梅の 体 異 名 考 け 内 一 他 季 梅 面

茨 一 熟 之 本 之 花 之 夏 之 実 秋 之
い づ づ け ぎ 又 五 付 字 三 句 一 説 草

麦 粒 物 二 異 名 一 合 物 一 之
麦 熟 麦 之 木 折 久 之 云 之

麦 前 之 冬 之 麦 熟 麦 之 共 植 物 越 姫
○ 麦 枝 麦 穂 麦 莢 麦 麦 二 子 中

年 越 冬 之 葉 之 草 け 分 麦 之 植 物 之
麦 飯 麦 切 麦 日 之 熟 之 切 麦 新 麦

麦 之 冷 麦 ぬ 麦 枝 け 分 非 植
洋 一 熟 之 び ぐ ぐ の 若 植 物 之 若 而 之

若 叶 之 三 植 物 之 若 而 越 姫 和 名 毛 久 良
葉 の 草 熟 之 若 葉 未 之 毛 久 良 之

枯 之 冬 之 際 之 又 五 ば 葉 之 天 也
村 二 名 而 二 若 而 越 姫 位 村 之

村 の 字 の 字 云 之 郡 之 最 之 名 而 二 句
枚 村 松 の 村 立 木 の 言 植 物 の 若 七 句

郡 四 之 む 之 若 叶 之 山 也
○ む づ ぐ 之 人 一 け 熟 一 之 村 二 句

六 八 之 力 六 の 也 雪 之 二

延 二夜分々名の延一法一之

は帆福紅糸未の延非夜

昔其之福紅糸未のむら植物之

姿とらむむら之。尊打毬七句

室 久て四之 むらの子こせハ非室

室君恵之人信之由室尺及名所之

室の戸 尺及之 非居 寺 七句

糺室非居 室の八傳非水 山

夢 夢 夢 夢 共 神 祇 之 衆 之

尺及之 非居 非神 此 衆 准 之

尊 人 信 之 非 志 尊 入 尊 九

七 尊 亦 志 之 尊 祇 又 志 之

息 女 志 之 女 面 之 外 之 女 之 於 三 句

〇 幼 稚 之 息 女 之 白 非 志 子 息 之 面

幼 稚 之 白 之 移 之 小 娘 之 娘 之 志 之

生 一 幼 物 一 河 之 水 就 三 之 亦 有

い き る 亦 有 二 句 亦 有 三 句 亦 有 不 延

若 二 述 懐 之 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

あ る き 不 延 亦 有 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

四 之 五 二 句 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

鞆 馬 一 卷 一 策 一 之 尊 入 尊 九

候 亦 有 二 句 七 句 生 於 越 延

せ ん 登 〇 候 亦 有 二 句 不 延 非 生

馬 二 句 二 之 一 句 亦 有 亦 有

亦 後 亦 有 車 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

本 亦 有 下 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有

子 人 信 之 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

既 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有

既 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有

既 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有 亦 有

鞍クラ 鞍ニホテ 鞍アサヒ 鞍ヒリガヒ 鞍クワ 鞍ワクカセ

扇アサヒ 扇アサヒ 扇ヒリガヒ 扇クワ 扇ワクカセ

扇アサヒ 扇アサヒ 扇ヒリガヒ 扇クワ 扇ワクカセ

右の分皆非生 一約共七句

又付字の約ハ約ニ七句ニ三句ニ

午ハ一七句約ニ三句ニ七句ニ三句ニ

虫ニ云名ニ二名の虫ニ共ニ共ニ共ニ

虫合虫撰虫籠虫送り木杖の云名ニ

松虫於虫銜虫クワ 虫カガ 虫ツク

蠶キリス 蠶イト 蠶ホロキ 促織ハタリ 蟋蟀イナコ

蠶カニキリ 蠶カニキリ 林の云名の虫ハ云名の虫ハ

○虫の字 龍化の季ハ云名の虫ハ三句ニ

この虫 我ク 我ク 虫 蚯ミズ 蚯ミズ 木イモムシ 木イモムシ 木イモムシ

蝸ヒカラン 蛸クワ 蜻蛉ホウレン 芋蝎イモムシ けイモムシ 杖イモムシ 杖イモムシ

希波の林の虫ハ一面ニ不若金龜執之

虫拂ムシハラヒ 虫干ムシカラシ 蠟スクモムシ 毛虫コガ子ムシ 火蛾ヒキムシ 木イモムシ 夏イモムシ

胸ムナ 一胸ムナ 胸ムナ 胸ムナ 胸ムナ 胸ムナ

心ニ二句去又句より不短

○胸の月 胸の夢 胸の烟

噎ヒキ 淚ナミダ 烟ケムリ 香カニキリ 木イモムシ 久イモムシ 久イモムシ

眠ヒメ 近ヒメ 二睦ヒメ 一睦ヒメ 言ヒメ 念ヒメ 非夜ヒメ 皆ヒメ 皆ヒメ

結ムス 八ヒメ 之ヒメ 二ヒメ 句ヒメ 結ムス 之ヒメ 二ヒメ 句ヒメ

向ムカフ むヒメ 二ヒメ 句ヒメ 向ムカフ むヒメ 二ヒメ 句ヒメ

むヒメ 二ヒメ 句ヒメ 向ムカフ むヒメ 二ヒメ 句ヒメ

むヒメ 二ヒメ 句ヒメ 向ムカフ むヒメ 二ヒメ 句ヒメ

途ミチ 途ミチ 途ミチ 途ミチ 途ミチ 途ミチ

罰バツ 罰バツ 罰バツ 罰バツ 罰バツ 罰バツ

埋ウレ 埋ウレ 埋ウレ 埋ウレ 埋ウレ 埋ウレ

難ナン 難ナン 難ナン 難ナン 難ナン 難ナン

絡 籜之和名元之奈 籜 一むらゝ
むらゝ久て二之 報 二之

字

歌 二音二之折之供 和名此之
以割之 和名連歌 詠諧亦古折之
お濁難波 漢末の及の内二之面之
凡雅言の末木の及の内二之面之
詩 夏句 短尺 色紙 未面之

小 小字田字 再字鼻字 未面之

謡 謡 小七句 世小謡 音の風二之

上 上より 津系といふ 世小謡 未折之

調 調 詩 小字 上より 未の也二之

世小謡 名の風 亦 皆折之

世小謡 名の風 亦 皆折之

○ 調 二 謡 八面之 小字 上より 未ハセ句

一 吳名 一 音 調 非生 一 皆 未之

夏の音 一 之 皆 折之 和名 宇久比次

○ 和名 雪 枝 子 名 居 未 折 之 未之

時 音 然 之 夏 之 音 之 音 之 入 夏 之

音 神 和 名 之 音 之 音 之 音 之 未 折 之

け 之 音 之 非 生 面 之 音 之 未 折 之

句 名 二 音 漢 名 然 之 音 之 未 折 之

未 折 之 未 折 之 未 折 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

音 一 秋 之 床 之 秋 之 非 夜 果 之 未 折 之

萍 難く水色に散出い表之むい夏之

槎 水色之本二句非極

瓜 一夏之名の仇一之和名宇利

守瓜 又夏之虫之和名宇利波用

西瓜 秋之又折之付字三句

虚 久て四くく七句七句不疑

海 二名西二湖之付字三句

ふせ物 二面之双洞木の海之非水

中 字之 中裏双虫 中二句

上 一へい房おなり三句去

裏 居たれ敷本若板紙ホりりて一葉

西之 裏枯植物 鐵頭杖より裏虫之

四 字之 中裏双虫 中二句

上 一へい房おなり三句去

かき わぐるのがら二句下不疑

四のら 不疑 存えウレロム共足二句

一 して立あの内一之を七句

一 してあぬま二句 流本一之三句

行物 一葉一之洞 又あり

夏結て非夜 二あり人非不疑

一 名の占一占士 一うやさん

くらあひの内 一皆あ之占士人傷之

八のうす中を契あ之

一 布敷一浪一之 付字三句

四 思 埋火冬之 秋分の付字三句

近 誠 偽 二句 又白 又白

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

一 夏之 置 捨 八林之 庭 あり

白 磨 確 け内ニ之 春ニ面之

小セ抄のうす面之 付字ニ句

源 雅 亦ニ之ニ一之音ニハウキニ

あぐらニ之ニ一之七句 後ニ二句

悔 一毎リニ不短 恨ニ二句

恨 亦ニ之ニ二之 意のからニ意の恨

七句去一方のれハ二句去

憂 字去之 悲ニ けくきニ 後世ニ

慨 けくニ句去くくしてニ不短

憂 尚何ハ之の方ハ大概用ルニ

きき身述懐之うき袖憂人云云

然 述懐と云傷 意ホの内グてニ之

うしむ 只一之ニ一之うしむき一之お

休 只一之ニ一月日ニ一之うしむ面之

うしやま一之うしむ一之浦山ニ不短

後 字去之 受双ハ之

後 八之写ニ七句 後ニ後香云云

うらふ 久て四之 後ニ写ニ 三句

系 毒のうらふ林之 憂の字ニ

うら一 一うら一 去之のうら一 打

暖ニ 二句暖之 志づり不短

折 字去之 搦双 書詞のうら不短

うち け詞ニ句去てふん之 打ニ不短

うち 後ニ之ハるニより打ニ 三句

卒 爾ニ 初不短 後といふ之

うそ けあをどニ之 迂作ニ不短

うら けあををニ之 句ニ二句ニ

浦ニ 不短 けあををニ之

浦 字去之 水道ニ 写 四之

美 只一之ニ一之 賣 四之

通 二八 再板

照野 氏一 係一
▲ 四之

うさぎ 二之 愛二
▲ 疑 四之

朝 弓矢 二面
▲ 失 八之

特 渡 数多
▲ 何 二之

物 四之 ①
▲ 字 二之

塔 一之
▲ 洞 二之

指

井 二名 亦 二水 辺 付 字 三句

井 戸 居 不 久 ○ 雲 井 不 短

堰 埭 水 色 之 井 壅 二面 之 笑 二句

和 名 井 世 本 ○ 井 八 和 名 為

守 宮 生 影 水 色 之 井 二句 守 二面

おのりの 中 之 旨 も 同 子

狢 一 豚 一之 おの 亦 も 二の 内 之

狢 又 又 之 亥 二面 之 付 字 面

玄 猪 冬 之 狢 亥 之 折 之

村 場 始 久 之 公 子 根 元 云 之 始

あり 八 之 末 末 之 終 乃 有 終 乃 之

み ぎ 年 八 之 末 末 之 終 乃 有 終 乃 之

中 休 打 夏 之 中 可 中 肉 木 折

院 一 院 号 二之 寺 ①

田 舎 鄙 二面 之 却 不 短 和 名 井 奈 加

居 字 玄 之 亦 二正 二句 二句

平 井 三句 亦 二居 士 不 短

為 之 引 河 為 之 亦 有 為 之 折 亦 之

韻 亦 有 引 之 折 之 比 也 乃 而 二面 之

使 小 之 二句 亦 三句 亦 有 折 之

里 山 石 水 川 信 人 神 木 八 不 指

乃

長 采 二の 之 亦 二の 内 之 亦 之

くらゝ折 暖 二方 宋 不遠

は 尺波の法ニ又音ニ入る

は今の法ハ訓音の足あるニ

尺波の法ハ今法の法といふ

能方丈 人傳之ニテワキツレ共ニ非人

能化 非人 堪能 木皆折去

折 之 居而 底不付

ふせお 折号 亦面去 付字ニ包

折の字ニ包 非後 氷折 氷ハ非水

○折のあやめ 夏之植物之水を

折 字去之 系不遠又白より三句

牛とを細放すの地植物不遠

○折 蟻ハ夏之夏之冬之枯之

折 字去之 折ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

○折 蟻ハ夏之冬之枯之

己オシ 一かき一かの一かぢる非人

癩オシ 一之非人 和名於布之

生長オシタチ 立二夕かひさきぢる

夏のするニ三夕いさるひするニ二夕

家のゆる一之葉せおる面之生せホニ百

生ウ 二ままなるいさるニひする不縁

長オシ 一之四の田也又あ之取ニ百

秋奠オキニツリ 二月上丁日之八月又同之

法必秋奠式シヤクテシキ 文宣王ブンセンワウ 顔子ガンシ 二座之

大宰府ハ岡子オウシ 騫セン 共ニ三座之

大学寮ハ二座九哲キウテツ 共ニ十一座之

右延表式二十五十一委出より

御 おん四之ぢる ぎよニ之ぢる

か 五の去 三の去 七の去

かこご かんけるからうていほこ白

大オシ 四之音四之訓音のる面去

大内園非神オホウラ 空オホウラ 七夕大ニ三夕

狼オシ 只一之 和名於保加美

鬼オシ 一音一かセ拘一之ぢる非人生

鬼オシ 余真ニ又五之 和名於尔

母オモ 一之母代母守オモリ ホ之

母オモヤ 又一五もやも訓之又五之

○ 祿オモリ の縁スミクキ 飲オモレ 莖オモレ の漬子 皆字あ之

付オモリ 只一五一月むホ一之差ニ不縁

面オモテ 新オモテ 陰オモテ 系オモテ 湯オモテ 取オモテ 皆二夕之

面オモテ 八之つゝとめん 皆七夕去

おもおもて八の内双へ用

面オモテ 顔の上ハ只ニ急ニ之ぢる内

おも一急おもて一急只と急と一

通上
再

白^{ツラ}類^ニ見^レ渡^ル娘^ガり^テ云^セ云^ク

面^{オモテ}能^ク赤^シ意^ノ内^ニ之^ハ白^クの^カり^テ面^ヲ去^ル

外^ノの^カも^ツつ^ツ二^ハ白^ク白^ク類^ニ二^ハ句^ニ

海^ノの^カも^ツ田^ツつ^ツ七^ハ句^ニ余^ハ准^ズ之^ニ

表^{オモテ}八^ハ之^ハ身^ニ衣^ニ紙^ニ杖^ニ山^ニ木^ニ心^ニホ^ス

之^レて^ハ一^ハ表^トと^ス一^ハ面^トの^カり^テ

七^ハ句^ニ去^ル月^ノか^シも^ツつ^ツウ^ン不^レ疑^フ

表^ノの^カ字^ハ陰^ハひ^ル表^ハあ^リて^ハの^カ時^ニ用^フ

面^ノの^カ字^ハ何^レあ^リて^ハと^ス不^レ疑^フ足^レ渡^ルす^時也^ク

懐^ノ紙^ノの^カ字^ハ表^ノも^ツ表^ノの^カ上^ニあ^リて^ハ面^ノの^カ字^ハ

と^ス去^ルも^ツる^ハ只^ハん^後と^ス云^フ云^フ又^ク

月^ノノ^カ字^ハ有^ルて^ハ面^ノの^カ字^ハ何^レい^ハけ^ん

あ^リん[。]表^ハ八^ハ句^ニと^ス面^ノの^カ字^ハと^ス不^レ疑^フ

一^ハ面^トと^ス一^ハ表^トの^カ字^ハ不^レ可^クと^ス也^ク

面^ノ白^ク一^ハ之^ハ何^レ怜^シも^ツ云^フ

脱^{オホ}乳^{カゲ} 面^ノの^カ字^ハと^ス去^ル之^ハ。脱^ル非^レ月^ト

。小^ヲ孫^ノ月^ノと^ス弦^ハい^ハま^ス之^ハ。大^{オホ}古^ノ記^ノ新^ニ云^フ

仲^{オキ} 二^ハ名^ト不^レ二^ハ人^ト 付^キ字^三句^ニ

欄^{オバシ} 岳^ノ下^ニ 越^ル路^ヲ 橋^ヲ以^テ欄^干ハ^非レ^ズ 坂^ト

興^{オキ} 四^ハ之^ハ山^ノ野^ノ 名^ハ不^レ木^ト之^ハ 和^名於^ク久^ク

心^ヲ洗^ハふ^ノ興^ヲ が^ク振^ル木^ハ面^ニ之^ハ 付^キ字^三句^ニ

晚^{オク}稻^テ 秋^ノ之^ハ植^ル物^ノ也^ク 祇^ト打^テ和^名於^ク久^ク天^ト

匠^{オシ}綿^ヲ 杖^ノ之^ハ植^ル物^ノ之^ハ 綿^ヲ 打^テ云^フ也^ク

匠^{オシ} 八^ハ之^ハ 付^キ字^三句^ニ 一^ハカ^キ系^ヲ於^ク第^一之^ハ

匠^{オシ} 一^ハ永^ク日^一之^ハ 打^テ云^フ日^ハ永^ク一^ハ也^ク

今^{イマ}一^ハ之^ハ 妻^ノの^カ日^ハも^ツ永^ク心^ハあ^リて^ハ打^テ

お^シる^ハ 云^フて^ハ四^ハ之^ハ 及^キ字^後字^ノ之^ハ

お^シ 仁^ニ沐^ル月^ノ日^ハ木^ノ久^クて^ハ二^ハ之^ハ 礼^ヲ 面^ト

ぬ^ルは^ク二^ハ面^ト 打^テ又^ク一^ハ也^ク

通上
再

栗一秋之換栗一熟之材一

粟毛栗之木一之折く付字三台
茶一音一之茶玉一茶盤木一之

けら折く 口茶之云詞折久てある
茶子去之 茶日茶玉茶証亦夏之

茶握杖之茶喰之茶師の面
証師 非人 証者若人信之折く

喰 是折く生乾二之面 亦也折二之面
何ふても喰相 亦付いそ者と持て

口 人の口之唇 面之介の口之志
非極生水

吸喰飲木白より不對。茶口切之
口吸口紅粉 口洗口舌 壺口ホ之

頰 一せ乾一之ぐんじ又五
水鷄 水色之夏之換之和名久比奈

鯨 冬之鯨の折く換之又和名久知

協 一菓も報く音一さう吹一
協舞 非生人 折去 付字面

犯 氣一 志一 せ乾一 矩の上
勇犯 夫犯 男犯 女犯 西犯 亦志之

超位 非人 偽宿も同 人傷
あはれといへも 高代の身を替

競 二之 競る 非非 江家次方云
御競る いる 随 舞 舞 舞 舞 舞

舞 方 奏 樂 舞 舞 舞 上下略之
かま茂の競るハ非紙之甘之

漱 一 漱 取 一 之 漱 ぬ ぐ 又 和 名 久 波
下 双 之 之 字 去 之 腐 八 四 之

窟 二 之 ぐ が じ 二 之 付 字 三 句
括 二 之 之 一 之 中 之 又 又 又

通上 毎板

寓 只一旅一鳥 寄居本木のやう

出りち一宛皆打去 ちやく(西)

山 字去之。山。月と字のうり

○山位 居而哉 姪非迷。山陰二之

○山は木 非植 又夕よる。山海 許非旅

○山科 字 非山。山之非居夕よる

○山風 山下凡 七句。山里 柴の戸不封

山笑 山焼 喜之 山の多 山の錦

山 梳 杖之 山眠 冬之 けふ 植物 哉 姪

山 姫 非 神 人 親 之 山 蛇 非 人

山 鳥 山 時 鳥 けふ 皆 山 龍 之

山 伏 尺 菽 之 人 信 之 臥 而 之 非 夜

山 ろ ろ 後 物 之 教 分 之 曉 之 雲 之

山 街 非 人 山 名 親 之 けふ 非 山

山下 山 本 亦 凡 二 句 之 山 際 不 疑

山の平 備 共 非 降 水

山の端 嶽 峯 言 根 尾 上 を 山 本

七 句 去 之 嶽 山 八 折 之 形 端 之

仙人 山 二 句 非 山 人 山 人 各 各 之

山 吹 去 之 山 吹 不 疑 山 吹 衣 又 五

菽 一 之 植 物 哉 姪 竹 二 句 去

菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝

菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝 菽 枝

柳 一 喜 柳 一 喜 名 一 之 皆 去 之

夏 三 秋 一 冬 一 之 け 内 之 四 之 打 之

柳 雪 落 去 之 柳 枝 葉 柳 共 去 之

茂 八 夏 之 菽 八 秋 之 枯 八 冬 之

柳 細 去 之 喜 之 付 字 三 句

凡 尺 草 河 之 草 川 之 草 是 名 之

魚 梁 夏 之 也 打 上 之 也 打 去 之

下りやむ 岩やむ林

矢 一年の矢一之福 不疑 付字三々

矢 箭 矢立 磁ホ 打久て五之

満 厚 後 箭 磁 弓 翻ホ 面之

△矢ニ弦月二勺之年の矢ニ弓二勺之

○濠 満 百 神 祇 之 矢 打 弓 二 勺 百 神 也

港 一之 港 梅 港 之 ぐ ぐ 木 の 内 一之

焼 二之 たく 面 炮 燃 ホ 七 勺

畑 山 芝 野 木 焼 半 云 之 多 焼 之 難 之

園 久て 四之 晴 七勺 木 の 下 園 夏 之

休 足ニ 目 心 一 名 一 字 日 ホ 一 之

や じ ぶ 一 休 七 勺 や す 一 花 又 五

瘦 病 一 患 一 け 乾 一 植 物 一 之

病 や す 一 一 や じ 一 患 一 け 乾 一 一

植 物 一 之 皆 打 七 勺 和 名 夜 万 比

寡 一 人 傍 之 恋 之 や 色 万 為 又 五

○寡 和 名 夜 死 女 〇 輾 和 名 夜 死 乎

窠 世 一 旅 一 や つ す 一 之

寄 人 一 一 け 乾 一 一 雨 露 一 一 之

漸 二 や 一 や 一 や り 一 一 之 皆 打 七 勺

や 七 勺 七 勺 七 勺 一 打 七 勺

や 七 勺 七 勺 七 勺 一 打 七 勺

や 打 合 婚 一 之 疑 の や 二 勺 七 勺

疑 の や 七 勺 七 勺 七 勺 七 勺 七 勺

や 七 勺 七 勺 七 勺 七 勺 七 勺

後 一 立 後 ホ 一 之 疑 七 勺 七 勺

胎 一 名 の 胎 一 之 止 字 七 勺 七 勺

や 七 勺 一 や さ 一 之 振 字 七 勺 七 勺

大 和 一 倭 一 又 破 四 之

和 一 や り 七 勺 一 之 八 之

万

松 五勺去へ非極の松ハ三勺付字ニ勺
 ○松嶋名取ノ水邊ノ山麓ニ松翁執之
 松翁去名取ノ松虫執之け分非極ニ勺
 ○末の松山ハ名取ノ山ニ本極執之松五勺
 松茸松家林ノ極執之哉姫松ニ勺
 ○松ウサハ松五勺極執之燒ハ非極
 松飾門松立松木歳且ノ極執之哉姫
 元東本極執之と近道ニ勺の物ト
 成事ナリ松の内松執子もて流之
 松のむ十久りのむハ松翁緑緑立
 皆去之ノ久ぬ松執之松の落不
 松の緑ハ執之皆極執之ハ落不緑
 赤焼と松ハ非極。松子執之非極
 ○松の本松戸垣門ホ非極又勺よる

△松風ニ松風結さる勺又二勺抄ノ
 松風の時毎冬ノ非降松風の及非降
 ○松ニ夢喜ひひきホ結ハ風神ノ
 松 林ノ茂も林ノ葉ノ木ノ字ニ勺
 実と結本取之勺ハ執之實ハ林ノ
 楕 一材ニ一志本不楕楕賣林ノ
 楕の楕非山楕ハ勺 付字ニ勺
 志本楕 屋戸ホ良材の勺ノ非極
 ○マ新とマ新と云ハ各分ノ新の上階リ
 志 八ノ減ニ勺。志似ニ勺似ニ勺
 ○志眠 執分ノ眠七勺抄ニ勺
 志 執ノ水邊ノ前ハ夏ノ
 ○志砂 砂乾抄 又石岩ニ勺
 株 植抄哉姫 草ニ勺百約七勺
 蔚 一抄の名付て一ノ蔚 又ハ

編抄
四
再校

ませ 居而裁媛 垣色七句

色 一居而之垣而之力 後句又一

○色う清 水色山影名不之 色而垣七句

町 二名の町 二 折之居而裁媛

名の所ハ音 呼へても二の四之分字三句

二名 二居而之戸門ホ七句小セ物又二

枕 五句去之和分之枕詞余枕非夜

○枕の山春枕 浪枕 松木旅之

枕者長枕 新枕 二枕古枕人枕之

縹枕之枕非夜 夜分之枕 松之非夜

鞠 一ふまり 一 存まり居而之

升 一外搔升 形ホも折うて五之

糸 一夏之名の糸 一 五而の季と指之

吳糸 一 号糸 一 以上四共折之

神子 神糸ハ而之 号吳の糸不

舞 一 一 一 一 一曲舞ホ又一

舞臺ホ而之 舞ホハ能人付字三句

目まハ振舞本字のま 二句也字二句

眉 只一 一 一 一 眉眉目 一 面之

目眼 二 句 去 蚕の繭 一 面之 力

○山 電の四 一 一 柳の四 一 一 目眼不短

眉と依ル 虫ハ 一 一 一 一 二八の眉ホ

皆之の眉之 眉希 眉目 一 一 一 一

眉の雲雪 速懐之 一 一 一 一 一 一 一 一

眉 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

眼 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

睡 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

け 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

膝 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

利用 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

通下
五
再取

減 二之 去 七 七 倍 二 句 事 言 不 姪

表 四 之 表 納 也 の 表 八 句 之 付 字 三 句

丸 四 之 換 居 三 句 付 字 三 句

○ 髪 の 丸 蒙 丸 神 丸 八 句 八 句 八 句

交 二 句 八 句 二 句 八 句 二 句 八 句 八 句

泊 字 七 之 表 の 泊 八 句 之 付 字 七 句

又 字 七 之 又 孫 七 句 表 八 句

居 字 七 之 又 孫 七 句 遠 八 句

あひ あり 八 句 八 句 八 句 八 句

ま 夕 居 居 八 句 不 姪 体 八 句

ま 二 句 七 句 八 句 八 句

系 八 之 神 三 句 八 句 八 句

系 八 之 付 字 三 句 八 句 八 句

先 八 之 七 句 八 句 八 句

勝 二 之 七 句 八 句 八 句

迷 四 之 七 句 八 句 八 句

増 四 之 付 字 三 句 八 句 八 句

ま 二 之 七 句 八 句 八 句

守 一 之 七 句 八 句 八 句

丈夫 人 七 句 八 句 八 句

孫 子 七 句 八 句 八 句

牧 二 之 七 句 八 句 八 句

賢 七 句 八 句 八 句

学 七 句 八 句 八 句

巴 字 七 句 八 句 八 句

計

八 二 之 今 八 句 不 姪 八 句 八 句

あ 八 之 七 句 八 句 八 句

○ 表 の の 七 句 八 句 八 句

け さ 二 之 今 八 句 不 姪 八 句 八 句

萩の涼い明くこゝありぬ云河月言
○涼キ登非極○涼西非水

更^ワ萩分^ル之 幼夜が五文と云之

萩一月二一房^ニ一之皆萩分^ル之

年林木の文の非夜久て八之面去

吹^フ 字去^ク 嘯^ウ吹^ク吹^ク吹^ク 二百 風の字

二句去 笛吹お風の字不疑

雪^{ユキ}吹^ク 冬之降お風の字雪^{ユキ}七句

屯のあきいふせおわいど風体之

風炉^{フウロ} 一風名一之共風の字ニ句

風呂^{風呂} 又ある居風呂ぬ風呂の

○風呂屋者多く湯女^{ユメメ}折^ル之

文^フ 一名の文一様ニ一学^{マカ}の文^フニ

学^{マカ}の文^フに書^カの字を以て句と云

音^ネ唱^ウへて面^{オモ}去 休^ユ子^シ紙^シホ^ホ面^{オモ}之

墨^{スミ}字^ジ 砚^{ゲン} 文字^{モノ} 名^ナの^ノ 江^エホ^ホニ^ニ句

字^ジの^ノ 江^エ水^{ミヅ} 莖^{カキ}の^ノ 江^エホ^ホニ^ニ句

文^フお^オ文^フ枕^{マク}ホ^ホ一^{ヒト}玉^{タマ}素^ソ一^{ヒト}共^ニ之^ノ皆^ニ折^ル之

○学^{マカ}の^ノ 文^フと^ト旅^ツの^ノ 文^フの^ノ 非^ヒ之^ノ 表^ヒ八^{ハチ}句^ク 不^フ苦^ク

文^フ玉^{タマ}素^ソ 当^{トウ}家^カの^ノ 紙^シ之^ノ 之^ノ 文^フ句^ク 若^ニハ

古^コ子^シ付^ツ 付^ツ合^カを^ヲ以^テ 五^イ句^ク 之^ノ 後^{ノチ} け

ら^ラ 当^{トウ}時^{トキ}の^ノ 付^ツ紙^シも^モ句^クの^ノ 深^{フカ}も^モ若^ニ若^ニ之^ノ

心^{ココロ}付^ツわ^ワして^シ一^{ヒト}句^クと^ト云^フる^{コト}之^ノ 亦^モ句^クと^ト云^フん

小^コの^ノ 紙^シび^ヒ之^ノ 紙^シ之^ノ 終^ハる^{コト} 何^ニも^モ 近^{チカ}代^{ダイ}

之^ノ 本^{ホン} 其^ノ 身^ミ 身^ミ 立^タ 文^フ 折^レ 文^フ 本^{ホン} 同^{ドウ} 系^{ケイ}

△文^フ月^{ツキ} 非^ヒ文^フ 又^{マタ}句^クより^{ヨリ}文^フニ^ニ句^ク

星^{ホシ}夕^{ユフ}不^フ蠹^ド木^キの^ノ 説^セ不^フ可^ク用^ユ之^ノ 固^コ之^ノ

字^ジ 一^{ヒト}句^ク子^シ 燒^{ヤキ}字^ジの^ノ 内^{ウチ} 一^{ヒト}水^{ミヅ} 莖^{カキ} 一^{ヒト}

一切^{イチケツ}の^ノ 文^フの^ノ 二^ニ句^ク 燻^{スン}之^ノ 紙^シも^モ 同^{ドウ} 矣^{ナリ}

△字^ジニ^ニ 文^フ 文字^{モノ} 名^ナの^ノ 江^エ墨^{スミ} 砚^{ゲン} 一^{ヒト}句^ク

○草の記名の記の折水茎の記のり
○草試子始元見○草親の草志之
袋 一冬之衣類之衣類之衣類非夜

衣袋 矢倉袋又云○古キ袋衣

襦 一 居衣之類之非衣夜 衣袋

蒲袋 冬之衣類之衣類之類

袋 一 名の袋 一 袋衣類袋類も二の内

膝 腹ふらふら衣類之。白袋衣之

笛 一 名の笛 一 簫尺八の類之

喉 吭 不短 和名布江

莖 二 ちく一 小セ袖 一 人

世 芦 竹 木と莖といへ居衣類

簾 二 人 居衣も二の内之 本 不短

山 本 七 月 徳聖 八月 三 人

富士 山 折之 川 非山。やの雪 工

淵 一 名 雨 一 洞 一 葉 一 之 付 字 三 句

船 五 句 去 之 牛 百 句 車 加 木 裁 短

取の音 三句付字三句比丘及木衣之

○舟 折 舟 後 海 舟 渡 舟 川 舟 旅 之

川 舟 後 舟 継 取 留 三 句 川 舟

は 舟 舟 獵 船 小 舟 舟 取 皆 非 旅

小 舟 二 二 句 一 人 折 之 舟 舟 旅 之

○一 系 舟 非 旅 一 系 舟 舟 旅 之 舟 之

舟 旅 冬 之 水 衣 之 衣 類 裁 短 七 句

餅 一 類 之 江 餅 又 有 餅 餅 油 餅 之

象 衣 分 之 啼 也 類 之 和 名 不 久 呂 不

生 蓬 生 蓬 芽 生 蓬 芽 生 蓬 芽 之

居衣 裁短 草の生る 面之 又 雲 生

芝 生 小 非 旅 面 之 又 名 字 在 名 木 之

付字をらへ三句去 名の中へ不疑

菰 一喜之草之氏一保繩ホ一

染色一入皆打之付字三句和名布か

菰壺執之 菰衣と氣傷之菰浪非水

節 竹葉本系材未の内久て二之

フルキ 經少即又五 喜草の音面へ付字三句

古 八といふへ三句若 不疑又句二より

フルキ 野ニ七句古に面へ 付字三句

古に 右古に一皇居一旅一居モ内へ

音喝へても内へ 皇居上居上非居

古に 非迷 然とも表八句ニせぬ

旅と居との表ニ不苦 里ニ三句

皇居の古にハ名取之同右下の家取ニ打

只の款皇居の家ニ七句旅の款ニ二句

旅の古に 右不疑旅の款ニ打ハ二句

居古に 居不疑 何の款おも二句

○右と旅との古にハ家ニ不疑 三

居の古にハ何しの家款おも不疑 越海面

○月の款旅の款ハ何しの古におも不疑

歴 年月ニ二へる又二之皆打 一

及世山坂をへるハ三句去布つる不疑

冬 字も考おも五句去之。冬の月 二

○冬枯の好山芦屋木 植物ニ越疑

外 兼かへ人ニ二句一鉄ニ之打之

○原本のちすハ面へ 子 兼外ニ不疑

○福の起る木外ニ句此枝よりて不疑

○伏見ニ三句。山伏ニ面へ。傍外ニ之

二 八ハカ 二人非人ニ 二居之

夫婦 之入人傷ハ外ニめとこま

振 字去へあり他より法あり心之

通下 再版

○心系 強き多し 又 罔之

△心の松 不変と云 心の杖と云 共 非植

○心の猿 意の百 共 非生

△心の友人 傷之月 非夜 非人

○心の雲 迷懐之 非夜 非迷

△心の水 尺 意之 非水 非火

○意の字 四之 折之 非 猫麻の意 又

△意の句 二句 九句 三句 三句 三句

○意の平句 一白 一白 不可 捨之

△意の季 新之 意之 非植 枝 枝 枝

○意の山 名 示の 肘 非 意 可 依 白

△意の字 去之 意 意 二句 和名古惠

○意の意 七句 虫 秋 白 二句

△意の風 意之 非植 本 枝 二句

○意の風 三句 枝 本 本の 枝 木 面

△意の森 意之 非風 又 意

○意の字 去之 本の下 意 非夜

△意の系 一 植 衣 猿 天 狗 木 の 内

○意の虫 意之 意 意 意 意 意 意 意

△意の衣 意之 本の 猿 意之

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

△意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

○意の天 狗 木 共 意之 植 枝 越 姫

たのふ云名のた、打之名木の葉、面之

○木のこの仲名、之類、之非極、系、二百

木、山、打之木、玉、二百、魂、打

梢、只、一、打、一名の本、一、之、極、打、之

本、末、二百、枝、不、短、和、名、古、次、惠

○梢の秋、九月の、異、名、之、極、打、越、短

菓、秋、之、木、夏、之、飾、分、之、菓、名、又、五

水、葱、十、五、之、木、夏、之、柳、ハ、類、之

葛、一、類、之、極、打、之、木、夏、之、夏、ハ、秋、之

○葛、延、極、打、之、非、居、後、と、す、ハ、衆、之

葛、類、之、極、打、一、季、一、非、極、一、之、皆、打

○葛、の、房、極、木、極、打、之、后、之、葛、類、非、極

○葛、の、枝、衣、亦、述、懐、之、衣、類、之、非、極

蔣、一、水、草、之、(一) 薦、一、藜、席、之

五、八、之、(カ) 五、菓、ハ、李、杏、桃、桃、栗、之

五、湖、ハ、洞、庭、君、臣、ま、草、巴、丘、雲、夏

五、舎、ハ、照、陽、舎、飯、泉、舎、元、香、舎

鬱、華、舎、説、華、芳、舎、以上、類、又、非、居

○秋、の、戸、ハ、秋、之、禁、秘、紗、云、不、限、秋

色、々、ノ、秋、花、被、裁、之、云、非、居

九、八、之、(カ) 九、重、非、居、名、一、面、之

つ、さ、る、二、句、お、し、さ、不、短、玄、短、茶、月

陶、屋、居、而、之、卷、打、(一) 小、不、短

衣、五、句、玄、之、衣、類、之、き、ぬ、三、百、付、字、三、百

○雪、之、履、さ、不、短、七、夕、秋、さ、り、衣、亦、非、衣

衣、の、玉、又、敷、之、履、衣、衣、傷、之、衣、之、夏、之

衣、打、秋、之、衣、の、極、之、名、示、る、ハ、五、句、玄

○葛、衣、玉、衣、玉、衣、亦、述、懐、之、非、尺

衣、之、許、ハ、非、尺、又、句、よ、り、之、け、さ、ハ、仏、衣、之

公、説、之、古、一、降、物、一、臣、一、素、林、一、之

通、下、百、一、反

小 字去くと二分さ不付 (9) (10)

○小鳥籠へ 後う物う秋之時去ん
子 二人倫之者又二之 子持水子

○赤子寧子ホニの心 親子と後述懐之
○孤子息孫 妻子若子見ホ面之

○嬰児ハ折去 神子祝子家の子ホニ有
け敷の子七白植物の子ニ有巾子合子

○布子孤子ホの付字不難。小字不難
生敷の子去て二之 子玉子ひのホ面之

○植物の子一之 菊又一之 何の子ハニ有
子と胎之 産と非産子持具之

○非人 居之 若人 家之
肥 人ニけ敷一本一地ニ之皆折

腰 一腰子腰掛ホニ之せ物ニ之
腰折ホ又之。腰え柳腰之

限リニ 琵琶 三弦 糸竹ホ面之

特牛 牛ニ折く 和名古屋比

○ 駒 四月廿八日小月廿七日ニ

秋の川分の駒は駒臺と云す

駒 八月附 牧監 貢上云 中略

○ 伝 伝十五枚六十足 廿月廿足 廿三日

甲斐 支牧 廿足 廿日 同 穂坂 廿足 十七日

武蔵 三枚 三十足 同 立木 廿足 廿五日

上野 九枚 五十足 廿日 以上六ヶ日

いふ武蔵 秩父 牧 同 小 牧 廿日 貢之云

○ 引分ハ 陸 赤 上 郷 在 波 瀬 之

右ハ 延 式 式 江 次 弟 引 合 合 裁 之

○ 公 年 相 元 年 申 行 子 小 立 地 の 五 十 足

と 足 之 入 又 年 申 行 子 八 馬 馬 の 遠 方

して 二 百 五 十 箇 一 人

通下
十五
再反

け ▲是 ▲爰 皆字去へける字ニ有

け取居下へくしむ物の附ハ非居

火燧^{コタツ} 火^ニ七^ニ方^ニ炉^ニお

▲こらる^ニニ^ニ

茗^ニ お茶^ニ 双^ニい^ニ面

▲慄^ニニ^ニ

乞食 迷^ニ懐^ニ人^ニ傷^ニ

▲毀^ニニ^ニ

暫^{ゴゼ}女 人^ニ傷^ニ之^ニ非^ニ志^ニ

▲好^ニニ^ニ

殺^{ゴス} 一^ニ生^ニ氣^ニ一^ニ氣^ニ

▲濂^ニニ^ニ

後^{コナス} 稻^ニ木^ニ一^ニ才^ニ一^ニ

▲轉^ニニ^ニ

吳^{コト} 二^ニこと^ニあり^ニ二^ニ

▲附^ニニ^ニ

瘵^{コラ} 一^ニ植^ニち^ニる^ニ

▲こぼる^ニニ^ニ

輿^{コシ} 一^ニ沐^ニ樂^ニ

▲每^ニ八^ニ

谷^{コタラ} 一^ニは^ニ者^ニ一^ニ

▲如^ニ八^ニ

焦^{コカス} 火^ニ一^ニ急^ニ一^ニ

▲乞^ニ四^ニ

溢^{コホル} 二^ニ翻^ニ一^ニ

▲細^ニ四^ニ

懲^{コレル} 二^ニこ^ニす^ニ一^ニ

▲別^ニ四^ニ

凝^{コト} 一^ニく^ニる^ニ一^ニ

▲込^ニ字^ニ去^ニ

於^コ 一^ニ又^ニく^ニて^ニ一^ニ

▲扱^ニう^ニて^ニ四^ニ

劇^{コラク} 二^ニ滂^ニ一^ニ

▲扱^ニう^ニて^ニ八^ニ

事^{コト} 字^ニ去^ニ言^ニ不^ニ短

衣

江 二^ニ名^ニ如^ニ二^ニ之^ニ付^ニ字^ニ言^ニ江^ニ水^ニ色^ニ之^ニ

枝 二^ニ名^ニの^ニ原^ニ本^ニ二^ニ字^ニ本^ニ片^ニり^ニて^ニ不^ニ苦

川^ニ町^ニの^ニ名^ニ之^ニ面^ニ之^ニ付^ニ字^ニ言^ニ和^ニ名^ニ衣^ニ太

衣^ニ著^ニ 一^ニ蒲^ニ萄^ニ一^ニ之^ニ皆^ニ秋^ニ之^ニ

衣^ニ一^ニ條^ニ新^ニ之^ニ又^ニ衣^ニ 和^ニ名^ニ衣^ニ比^ニ加^ニ豆^ニ良

衣^ニ紋^ニ 衣^ニ形^ニ短^ニ 衣^ニを^ニ人^ニ作^ニる^ニ衣^ニ

扱^ニ 新^ニ之^ニ衣^ニ秋^ニ之^ニ 和^ニ名^ニ衣^ニ

扱^ニ 一^ニ條^ニ纏^ニえ^ニひ^ニ袋^ニの内^ニ之^ニ和^ニ名^ニ衣^ニ比^ニ

夷^{エヒス} 一^ニ人^ニ傳^ニ之^ニ 祚^ニの^ニ意^ニ比^ニ比^ニ不^ニ短

南^ニ老^ニ介^ニ玉^ニの^ニ名^ニ打^ニえ^ニて^ニ一^ニ名^ニ衣^ニ之^ニ非^ニ人

通下
十六
再反

縁 志のえん一えり一えりぬ一

宿縁内縁ホ打縁日縁起ホ面

縁 紐えん付縁也えん之不ホ志

縁 例 竹縁ホ居ホ縁 不短

服 於鞞ホ打く矢ニ面弓七句

蚕箔 又ホ長之 和名 衣比良

柄 一糖 又ホ 釋多非人

撰 久て八之 均八之

天

天 四くあめと訓て面之く訓て七句

天 三句付字三句天狗何ホ不成

天 五 天子ホ人偏の外天目目不短

羽 在 然怒我然ホ百炎大心面之

然 然 然 然 元日之あさあした不短

厚 然 今 然 ホ 三句 厚 然 八之

寺 二名ホの寺ニ皆打く尺音之音 面之

音 の百号ニ二院号 房号一之打く

古 号 二名の古院号 房号一之打く寺ハ面之

古 号 院号 房号ホ名ホ越短之又

人の名 利附不短。子男の古ハ四句

古 古号ホ塔 室の戸七句又尺音の坊

寺 ホ七句之 古の形庭門ホ非居

古 障不短 古小性之付字三句

蝶 一てふく一音之音結ハ杖之

於 蝶 鳳車も二の内折取ホハホ之

妾 一音一人傷之云之ハ妻女

其 外 妻 成 分 面 之 三 句 二 句

八 之 大 三 句 縁 七 句 之

急 付 生 於 植 物 之 又 三 句 之 手

皆 七 句 之 指 指 不 付 杖 渡 二 句

袖不寝 付字三句よと志める意

のし洗水非水とてしに折し七句
てよと云つし細く折して五句

云言 河洗水二句 又折し五
て折合と姫 七句 二句去

下の句のて折り八句一之皮ては
てふとん折合と姫まどとていせ不寝

而いて折合と姫
調布^{テリク}の作^シ七句非衣
▲亭主人傳之

折^{テリ}二句車^ニ面
▲款 非人
折^{タイ}まてて四句 ▲照りて四句

阿

秋 字も季も五句去 付字一句

○秋の字 秋之居字の非衣
秋風 二秋の風一之秋より衣非衣

秋の田植物^ニ秋姫 秋の象^ニ本^ニの字^ニ二句

天 あめ あま 四句 音^ニ四句 訓^ニ
音との乃^ニは^ニ音^ニ そとと訓^ニて^ニ七句

定^ニ二句 虚言^ニホ^ニ不寝 付字三句
○あめあまそとと 天王 天井 天目 不寝

天の思^ニ亦^ニ① 天の思^ニ戸 共^ニ林^ニ祇^ニ
天の川 名^ニ取^ニ水^ニ色^ニ之^ニ新^ニ之^ニ非^ニ夜^ニ

天^{アマ}メ^ニ七句 天^{テン}ニ^ニ三句 天^{アラ}ニ^ニ二句
定^{アラ}ニ^ニ不^ニ寝^ニ 七^ニ夕^ニ不^ニ寝^ニ 泥^ア河^カに^ニ折^ニ

但^ニ定^ニと^ニ持^ニし^ニと^ニ天^{アマ}メ^ニ面^ニ定^ニ二句
泥^ア河^カ 天^{アマ}象^ニ之^ニ折^ニ分^ニ之^ニ亦^ニ結^ニて^ニも^ニ非^ニ水^ニ

秋^ニ七^ニ夕^ニ更^ニ 天^{アマ}メ^ニ三^ニ句 定^ニ二句
明^ニ字^ニ去^ニん 秋^ニの^ニ明^ニ之^ニ付^ニ不^ニ寝^ニ

兼^ニの^ニ明^ニ夜^ニ分^ニん 然^{アラ}レ^ニタ^ニ 取^{アラ}ス^ニ 二句
明^ニ果^ニて^ニ 明^ニ更^ニて^ニ 明^ニ歌^ニう^ニ 亦^ニ非^ニ夜^ニ

編下
再版

赤 四之朱丹 紅海 紅紫 二白

赤ふ 紅紫 紅紫 付字 二白 三白 白 白

青 四之緑 二白 青と踏まふ

青ふ 緑 付字 二白 和名 阿乎

○青丹吉 青 三白 三白

淺 字 玄 淺 石 山 野

○浅茅 茅 熟之 植物 居 不 越 短

浅茅と許ハ非 石 茅 の 熟 打 子

麻 植物 一布 一麻の 実 一麻 加 子

前ハ玄 前ハ夏之 麻 非 植物 秋之

麻の 玄 流 ハ 非 紙 之 植物 之 夏之

麻 比 爲 根 麻 夏之 実 熟 之 付 字 三白

芦 熟之 水 之 植物 之 淡 萩 二白

植物 季 之 久 二 非 植物 之 二

芦 植物 之 冬 之 水 之 植物 之 非 水

厚虫 冷 赤 結 之 秋 之 芦 之 冬 結 秋 之

茂 之 夏 之 茅 角 紙 之 付 字 三白

芦 之 冬 結 芦 火 芦 熟 熟 之 非 植物 水

芦 鴨 之 冬 水 之 非 植物

若 蒲 一 冬 之 冬 又 一 之 水 之 夏 之

か 之 冬 之 茅 之 秋 之 水 之 水 之

植物 之 夏 之 湯 刀 木 夏 之 非 植物 水

菱 一 冬 之 夏 之 一 熟 之 非 植物

菱 糸 之 冬 之 菱 夏 之 非 植物 之

○ 法 之 法 菱 冬 之 冬 日 之 菱

け 之 菱 冬 之 夏 之 和 名 阿 布 比

藍 一 冬 之 一 之 冬 之 秋 之 秋 之 夏 之

二 冬 之 秋 之 和 名 阿 井

栗 前 之 夏 之 秋 之 秋 之 和 名 阿 八

○ 栗 水 之 水 之 水 之 水 之 非 水

棟の心 一やん夏一夏之れ名河布智

花信風 北西風の吹くは連漣其夏
船 一夏之船も夏之代の季一之和名安由

押船元日之小船若船及船之云々
宿船落船秋之干船焼船秋之

綱 一名の綱一水辺之名綱一非水
共之れ越越之代夜洞木一非生

編 三百付字三百字の綱よせ越面
綱代 一水辺之冬之れ越越之綱面

代 面之綱代の家居不越越非夜
綱代守人傳之りハ非人。打ハ林之

屏風車ホの心今一之之執之非生水
海士 人傳之水辺之里の海士廿名之

○あま小舟ハ枕行るハ水辺之非人
尼 一人傳之尺度之音一付字三百

主 二ぬ一ニ共人傳之て之
す者一の付字ハあり不越

志者一ニ白も不越 又ハ
總角 一糸ニ白 人の了卷又一

是ハ糸不越。佩ハハハハハハ
周伽孫ハ秋之ハ水カ之尺度之

垢 一世の垢一水衣ホの垢二の心
治 字之ハ 右治の治の治ハ面之

是 二之秋一者ニハ 付字三百
之れの足面 急の是ニ七付字ハ

踏 是袋 水口ホニ白安ハ不付
川 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是

是 是 是 是 是 是 是 是 是 是
かふきハ之ハ人之是之余奥ハハハ

穴 許 秋 木 塚 虫 的 木 之 之 四

通 卅 再 反

百 八へあひひ八へあひ三句をえ
あひありひあひひまひま季ニ句を
あゝと云河島二へあひあひあゝ
非 七句をえ五ニ句をえ不返

もの体より非の上の時はずけりといふ

云留 云交 云益 云志 云志 云志 云志

周豪 惆然 ありける 懐 ありひ一

合 字をえお二句 ▲相字をえ

畦 二へ布又一へ ▲鉤字をえ

商 二へ人又一へ ▲當字をえ

會 叙 一へありひ一 ▲案二へ

操 一へ詞のあやつる一 ▲新二へ

澄 二へ又あやまら一 ▲与二へ

懐 一へありひ一 ▲甚二へ

しれ 四へ懐七句 ▲適二へ

不 愔 二へ愔二句 ▲洗二へ

集 四へすく二句 ▲危二へ

芥 一へ葉二句 ▲嗽二へ

教 多 呂二句一へ ▲侮二へ

編 二へあゝ又五 ▲訛二へ

疏 一へけり又一へ ▲文二へ

欠 一へ白又五 ▲欺二へ

嘔 口ニ句一へ ▲恠四へ

有 似 久て二へ ▲凶四へ

あ び 一へあひを一 ▲死四へ

耳 河 久て三へ ▲厚四へ

取 河 久て四へ ▲改四へ

飽 久て四へ ▲殺八へ

崇 久て二へ ▲仰久て二へ

佐

通 再 反

石 二音 二之折 吳名 二之折

石の音ハハ之 石の音ハハ之 石の音ハハ之

法白 片白 九歌 菊波 三寸 小石

吳名之。あがり 焼酎 オモロの肉

碎 破 上戸 下戸 盃 付 一 附 香

とさる 指 おろし 白作 小て 音

爰 石 二之折 石の音ハハ之 石の音ハハ之

焚 石 麻地 石 夏之 陽 石 新 石 秋之

け 石 名 石 不 可 持 季之 石の音ハハ之 非 人

盃 一 音 一 鷗 指 一之 石 面之

盃 三 新 光 木 石 石 面 之 月 之 持 天 象 秋之

覚 心 之 八之 内 秋 之 石 之 覚 石 之 折

月 二 爰 二 眠 二 石 之 一 之 折 之

碎 二 石 之 一 之 折 二 石 之 一 之 折 二 石 之 一 之 折

石の音ハハ之 石の音ハハ之 石の音ハハ之

寒 冬 之 冬 二 音 一 秋 一 之 折

石 一 冬 之 化 之 音 一 之 折 又 石 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 二 音 二 共 之 折 之 折 之 折 之 折

三 之 之 折 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

冬 之 石 之 音 二 之 折 之 折 之 折 之 折

梅ヶ之洞字吉柳 洞ヶ之木之非極

冬洞ヶ之非生 大芥洞ヶ之秋之非極

大芥と芥と知めてまを云説不之

柿 熟之 取もさくも夏之汁紙之

○林葉洞ヶ之洞未分ヶ之汁紙之

梅 二去之夏秋冬の内にて之折之

付字三句 ○正花 梅七句去之

梅 花ハ弟之不付花梅も不付

花 梅付事ハ白の上より着る之

△梅戸家梅ホハ居而越姫 梅田ハ梅の

多キと云説いふ ○梅重梅らふハ

梅銅梅鏡梅貝ホハ非極去之の内之

去之字かこう字 夏見字 仇名字

黒字系くさ垣ら虎の尾くさくさ

はし梅と梅変れ者賢象木の内にて折

△系梅去之 系系ト系梅夏之梅系系

林之 梅候枯梅之梅始小也地熟之

△梅系庭梅大梅ホハ折之去之の内之

去之梅折之梅麻夏之面之

△梅 植物ニ非極ニ之 志のまを七句

竹ニ三句 木ニ系ニ二句 付字三句

△梅の居居而之 梅ふさく居而越姫之

去之非極 ○梅花ハ梅也之非極

△早苗 夏之植物之非水 (十)

早乙女 子如身 未人傷之非意

△梅 四之木ふるも片よりて不苦

内正むハ一之夢うと不付 用ハ白より

△梅 木ニ一系一人ニ世ニ一之折之

△梅 一澄の折一之核 五味子ハ不苦

△梅 熟之非水 去之梅ハ夏之

猿 一より一 一葉鳥一 猿猴一 之打

猿の猿より一 之打 之付字面

葉鳥秋之 猿也 非人 申 面

申 一 庚申 一 但かの(さうと)はす

○申す猿亦双之 非人生 申 猿 打

象 一 象眼 一 象牙も二の内

ささへるん 非 変之 非 祇之 蛇 打

看 非生 句より 忽然 二句

血 一名の血 一 辨の血 三句

鞘 刀 一 急 二 出物 二句

箕 只一占 一 長飯 箕 家 一 おも 打 去

干 干竿 二 舟の棹 一 秤釣の竿

向竿 舟の内 今 一 互之 和名 佐乎

賽 浅 非 祇之 句より 尺波の時 非 祇

交 采 花 輝 共 非 祇之 止 打 去

里 字 去 居 而 之 里 三 里 亦 不 經

里 非 亦 多 之 取 之 非 祇 之 非 居

○里の延 名 不 之 水 也 之 非 居 人

在 居 不 之 在 亦 一 家 子 五 五 一

崎 二 名 亦 二 水 辺 之 付 字 三 句

沢 二 名 亦 二 水 辺 之 付 字 三 句

坂 二 名 亦 二 山 之 付 字 三 句

小 也 打 而 之 年 の 坂 小 也 打 之 非 述 山

○老の坂 述 遠 之 非 山 名 亦 の 時 一 山 之 非 述

在 居 不 中 亦 誤 物 後 物 其 外

在 無 在 死 在 淨 亦 久 之 一 家 面 去

在 臥 人 備 之 替 女 二 盲 亦 打

檢 校 句 苗 の 在 臥 職 の 内 之 打 之

句 苗 の 内 付 言 之 八 岐 の 檢 校 亦 不 經

○在 臥 の 檢 校 句 苗 八 岐 之 尺 波 之 非 人

通下 二七 再校

句苗以下の飛段の官名非尺

僧の上と飛段とつりては換校と

沽 一水 一心 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

一 一水 一かきひ不疑

二さのり又

▲清久て二

さるばる之去不

▲喚久て二

指の筆字云

▲強久て四

さるも二之て

▲扱久て四

月代月代不

▲探久て四

侍非入武士人

▲刺久て四

依のりさう非

▲裂久て四

境二之右不

▲誘久て四

遊二之二

▲安久三

さうつ二把一

▲海石四

さる一障二

▲扱四

紋一紋肌又

▲定四

妨一之

▲吐八

不祥 云一

▲去字云

校変 非居

▲更字云

以 並ふて二

▲之二百云



京起洛 九章け百平 面云

禁中 百表 大宮木の敷七句

大内宮をばけ敷 大宮木の敷七句

君二之 二之 公連七句

君代大君我君非人 其人と

さして君と云又 娘君若君木合備

志の君人備 音唱へて七句

客一人備 香一之 客夜又

合一之 合屏合紗木 打付字三句

か〇面之 力泥又月お 力金泥打

浪子 市合云 かりて八面

伽陀 非意 蛇白又 心ハ云

さぬく、恋し、秋分、只の別、二句

衣の別、七句、衣、二句、非衣

絹、一絹糸、絹強ホ、一、結、麻、衣

赤、一、面、一、絹、折、衣、三、付、字、三、句

忘、一、掛、衣、一、秋、之、非、夜、衣、乾、疑、之

衣、板、三、句、疑、衣、付、及、疑、ひ、衣、林、之

○、う、の、板、と、い、う、一、板、う、の、と、い、せ、ぬ、之

○、望、之、筈、の、板、ハ、絹、之、今、一、五、へ、一

石、一、傘、云、乙、扁、虫、う、ハ、衣、板、ハ、あ、ら、ま

衣、た、く、の、下、略、と、云、は、説、不、定、用、之

順、和、名、岐、沼、伊、太、と、名、上、ハ、和、漢、の

か、ろ、板、之、自、尺、ハ、す、ま、ぬ、り、多、ク、一

蠶、名、又、ま、秋、の、五、衣、へ、一、当、時、板、三、句

淮、一、的、の、沈、定、一、芦、の、沈、去、之、又、一

弓、三、句、の、乃、非、生、弓、三、句、面、之

詩、非、生、又、句、よ、る、三、句、七、句

狐、一、登、干、一、表、分、之、狐、之、入、五

維、一、紙、子、一、唱、音、結、の、内、之、皆、云

凡、と、名、者、は、す、多、者、す、く、の、名、ホ、去、之

物、之、の、名、指、之、の、維、之、お、多、音、結、ハ、去、之

指、之、の、維、子、一、説、冬、維、燒、親、之、和、名、本、之

蚕、一、吳、名、一、秋、之、蚕、風、去、冬、之、又、一

一、虫、さ、せ、て、虫、す、げ、の、鷄、ホ、吳、名、之

毛、方、秋、之、儀、物、之、降、物、之、香、の、衣、物、之

襟、裳、衛、一、説、て、秋、之、衣、能、結、ハ、去、之

毛、方、の、公、色、居、不、越、疑、色、折、之、垣、七、句

毛、方、の、か、こ、六、非、在、胸、の、旁、之、林、之

旁、の、海、非、水、毛、方、八、連、秋、毎、不、若

桐、一、秋、之、發、も、落、も、秋、之、む、八、夏、之

材、一、之、相、垂、親、之、又、五、付、字、ハ、三、句

菊 二秋之異名も他の季の二の内之
中菊は秋之菊載菊織菊兼花は面

○菊月九月の異名植物越路之打之
菊の園秋之水辺植物之きせ綿言海之

菊植る根をいふま之根はあふ
○菊の花短 秋之非植 菊花香之

△菊 秋之 菊の實十月五日取
可ハあふ連詠共 秋之

菅家父草云 芙蓉之過を陽世
俗謂之殘菊云 連詠縁作

△百和子代尺菊よりひるここの菊
早凡菊 雲尺菊 跡り菊 山詠菊

才菊 花の才乙女花 木異名之
近年も菊の異名ふて季と扱ふ

芙蓉 芙蓉 泉 泉傷之 非水 芙蓉

本 字をきこきトト 非極の対ハ

二の玄 ① 菊 竹 裁短

梅 丈 人傷之本とさるても非極

本 二 芍薬 芍薬 凡本 二 凡本 二 凡本

改 祖 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二

岸 二 名 二 二 水 二 二 二 二 二 二 二 二

○ 波 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

流 一 條 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

孝 院 二 二 非 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

行 人 行 者 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

ゆ 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二 尺 二 二

通下

弦が非^キ恠^キ 拙^キ文^キ拙^キ文^キ抵^キ淮^キ之^キ

祇^キ室^キ舍^キ山^キ降^キ夏^キ之^キ林^キ祇^キ之^キ非^キ山^キ

乞^キ巧^キ奠^キ星^キ夕^キ之^キ江^キ家^キ次^キ升^キ之^キ表^キ出^キ

疎^キ園^キ又^キ櫟^キの^キ樹^キも^キ移^キる^キ也^キ

元^キ文^キ忌^キ月^キニ^キ不^キ疑^キ 日^キ又^キ月^キる^キの^キ

月^キ次^キの^キ月^キニ^キ不^キ去^キ 衣^キニ^キ不^キ

此^キの^キ二^キ音^キ一^キと^キ不^キ成^キ 二^キの^キ日^キ不^キ疑^キ

水^キ 二^キ音^キニ^キ皆^キ打^キ去^キ 付^キ字^キニ^キ不^キ

○小^キ登^キ宗^キ林^キ之^キ○小^キ祭^キハ^キ祭^キ成^キ之^キ也^キ

法^キ 四^キ之^キ付^キ字^キニ^キ不^キ法^キ尺^キ寸^キ分^キ共^キ水^キ也^キ

○法^キの^キ山^キ形^キ之^キ非^キ水^キ 志^キあ^キハ^キ二^キ不^キ

競^キ 二^キ音^キと^キ不^キ一^キ 競^キの^キ競^キ得^キ 内^キ

痲^キ 一^キ生^キ乾^キ之^キ 璫^キ玉^キニ^キ名^キ又^キ家^キニ^キ一^キ

字^キ形^キり^キて^キも^キ四^キ共^キ打^キ之^キ 和^キ名^キ波^キ須^キ

肝^キ 一^キ生^キ乾^キ一^キ 竹^キ葉^キの^キ波^キ 又^キ五^キ也^キ

際^キ 字^キ之^キ 汗^キニ^キ不^キ 和^キ名^キ波^キ

き ありき 去^キりき 去^キりき 去^キりき 去^キりき 去^キりき 去^キりき

二^キの^キ去^キ 後^キき^キ 迫^キき^キ ホ^キハ^キ不^キ疑^キ

関^キ 字^キ之^キ 身^キ利^キ 二^キ不^キ 利^キ 二^キ不^キ

巖^キ 二^キ音^キと^キ不^キ一^キ 刻^キ 二^キ不^キ 刻^キ 二^キ不^キ

娘^キ 只^キニ^キ恠^キ一^キ 吟^キ 二^キ不^キ 吟^キ 二^キ不^キ

張^キ 車^キニ^キ不^キ一^キ 中^キ 二^キ不^キ 中^キ 二^キ不^キ

兆^キ 氣^キニ^キ芽^キ一^キ 黑^キ心^キ 二^キ不^キ 黑^キ心^キ 二^キ不^キ

氣^キ 八^キ之^キ 七^キ 倭^キ 四^キ不^キ 倭^キ 四^キ不^キ

忌^キ 八^キ之^キ 報^キ 究^キ 四^キ不^キ 究^キ 四^キ不^キ

兄^キ 才^キ 非^キ人^キ 消^キ 字^キ之^キ 消^キ 字^キ之^キ

弟^キ 字^キ之^キ 意^キ 切^キ 字^キ之^キ 切^キ 字^キ之^キ

波^キ 久^キて^キ 二^キ不^キ 來^キ 字^キ之^キ 來^キ 字^キ之^キ

甲

弓 一名の弓 一弦^キ月^キ一弓^キ勢^キ面^キ

通下

燈 ニ 志 ニ 一 ヨ 一 シ 一
▲ ヲ ビ ニ 一
▲ 石 ニ 一
▲ 法 ニ 一
▲ 故 ハ 一
 抄山 非山
▲ 故 ハ 一

米

目 人の目 目 四 目 一 睨 目 一 眉 目 一 凡 目 一 倭 目 一 二 目 一
瞬 目 目 一 内 目 一 背 目 一 睡 目 一 瞋 目 一 瞠 目 一
睫 目 目 一 七 目 一 夕 目 一 眼 目 一 盲 目 一 目 目 一 目 目 一 目
○ よ 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一
○ 教 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一
○ 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一
○ 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一 目 目 一

糸 面 ハ 一 妻 ニ 一 紙 面 一 二 白 一 三 白 一 四
 女 市 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
と 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
婦 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
名 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
麻 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
和 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
食 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
召 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
め 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
め 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
め 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一
め 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一 女 女 一

通下
 三十五
 再抄

りり 二白去之 面り 二面也

りる ちや 又日お 移りてもま 二白

めつる めてくのり 二之 二之

渚 ころりて 二之 二之

のくる 時 去ん 二之 二之

美

宮 神の宮 二日名 二之 皆おん

社 祠ホ 二面 二之 皆おん

宮居の宮 二日名 二之 一之 折去

後 後 二之 二之 居 後 未の古 二之 不 經

禁中 百 後 二之 折 二之 京 後 九 年 二之 七 白

宮 殿 去 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

宮 殿 名 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

難 波 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之 二之

二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

去 日 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

名 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

何 故 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

神 祇 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

宮 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

神 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

那 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

神 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

名 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

宮 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

禁 中 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

宮 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

七 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

後 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

宮 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之 二 之

月の形跡の如も旅名不只の形跡の如も
京洛一面之空の如も二面古はハ不疑
月之面跡字之音云之てハ形跡不疑
形跡 水名之形跡之形跡也

形 九方玄之ハゴハクハ三三三也

帝皇子勅三吉也三徳神ホ二也

形幸山幸 共ニ山モ形ニモ二也

形板 夏之水辺之形紙也

あふふこなるの形おも曰ま

形跡非形迹ニ云々ハ形跡ハ形跡也

形洞ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡山条秋ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

不や形もけ付ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形子ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡 二寸尺造形跡ハ形跡ハ形跡也

己の日の後去ハ水名之形紙也

南 二音ニハ南条去ハ南条不疑

形 一居不疑形之是形ハ高時形也

形 形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡ハ形跡也

凌 二名亦二之水邊之の字不疑

去秋年の凌ハ非ハ内一之面也

源 一水邊之氏 一非水又水の根也

源と云何 又一非水 亦二元二白

亦字之 源 漲 汀 波 亦

ころこころき ぬきささるホ

あぬるひま之 若あ元日之 亦葉冬之

○あちち又 階ハ去之 又葉夏之

あ瓦 一階 一之水邊之 ころ水邊之

○あちち 階ハ去之 亦葉夏之

あ茎 一之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

名の記ハ折ハ字の記ハ折ハ字ハ折ハ

又ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ

葉 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

ころこころき ぬきささるホ

あぬるひま之 若あ元日之 亦葉冬之

○あちち又 階ハ去之 又葉夏之

あ瓦 一階 一之水邊之 ころ水邊之

○あちち 階ハ去之 亦葉夏之

あ茎 一之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

名の記ハ折ハ字の記ハ折ハ字ハ折ハ

又ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ

葉 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

ころこころき ぬきささるホ

あぬるひま之 若あ元日之 亦葉冬之

○あちち又 階ハ去之 又葉夏之

あ瓦 一階 一之水邊之 ころ水邊之

○あちち 階ハ去之 亦葉夏之

あ茎 一之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

名の記ハ折ハ字の記ハ折ハ字ハ折ハ

又ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ

葉 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

ころこころき ぬきささるホ

あぬるひま之 若あ元日之 亦葉冬之

○あちち又 階ハ去之 又葉夏之

あ瓦 一階 一之水邊之 ころ水邊之

○あちち 階ハ去之 亦葉夏之

あ茎 一之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

名の記ハ折ハ字の記ハ折ハ字ハ折ハ

又ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ字ハ折ハ

葉 一 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

ころこころき ぬきささるホ

あぬるひま之 若あ元日之 亦葉冬之

見 字之 試 眺 顧 確 記 之 亦 亦 亦 亦

人の月 二白 但 二 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

尺 訓 ぬ 山 日 浦 旅 之 尺 之 亦 亦 亦 亦

三十八 再校

帝 巾 三 白 門 七 右 一 之

海松 夏之 芥も 夏之 根 二 之

眉目 志之 又 墨 四 之

陽蘇 林 紙之 垣 面 後 四 之

船 新之 水 色之 乱 入て 四 之

方 二 之 深 二 之 皆 字 志 之

之

海 二 名 亦 二 之 山 数 水 边 之 付 字 三 之

名 亦 二 之 山 又 非 水 川 海 非 山

海 海 之 原 名 亦 之 非 山 水 海 海 三 之

海 海 之 山 数 之 水 边 之 海 海 三 之

海 海 之 乃 和 寄 之 又 海 海 三 之

海 海 之 乃 和 寄 之 又 海 海 三 之

海 海 之 乃 和 寄 之 又 海 海 三 之

海 海 之 乃 和 寄 之 又 海 海 三 之

海 二 水 一 不 之 塩 二 燒 一 保 之

四 共 二 折 去 之 水 也 之 和 名 之 保

之 一 不 之 二 之 也 干 写 之 面 之

之 干 之 去 之 干 之 又 之 之 之 之 之

月 之 也 之 之 之 之 之 之 之 之 之

入 之 字 一 不 之 之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

塩 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

木 之 塩 之 字 之 之 之 之 之 之 之 之

塩 寗 塩 二 之 也 之 名 亦 之 之 之 之 之

名 亦 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

塩 者 塩 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

之 小 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

之 志 不 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

之 塩 登 者 亦 之 之 之 之 之 之 之 之 之

之 塩 也 之 之 之 之 之 之 之 之 之 之

細竹 報之筵すホ七白竹ニ三句

草木越姫付字方ホの葉茶ハ秋之

苜蓿蒲刀湯共夏之苜蓿皮靴之

け内ニ品一之花ホホふ夏之又て五

苜蓿 一花の穿お戎とらうの内ニ又ニ

夏之 迺毎の目名と季不て用之

芝 只一芝生一芝根一之付字三句

芝焼去之茂ハ夏之付秋之根ハ冬之

柴 一名木の葉一摺垣唐木の内ニ一

本藪ハ木樵キコリ夫ホニ句付字三句

名本の葉ハ植物越姫之但持折尾

焚又唐摺戸垣ホハ非植ハ本ハ句ホ

火体ハ成之ハ木の戸ハ木の唐ホハ非述

根レ井 一秋之 実も葉もけ本も秋之

材ニ又一之付字三句 和名之比

志こも植物之報之尺教之むいあれと

花といハハ葉のりニ用ハ本もり

櫛レキミ つむ切櫛同切葉ホ植物之

尺教之報之 櫛キ 燒ハ非植尺教之

茂レゲル 只一植物越姫又石の植物

一之共夏之 滋レケキ 四之報之非植

枝レラリ 非植 歩竹の及滋ニ句

限 一志ある之新限ハ秋之付字三句

汁 飲物一植物一草木一海物ニ之

舌 人ニ一生乳一介物ニ詞の舌先ニ

志レスル ま言詞云ホニ句おハありて

死 一生乳一いきるうまると音茶

皺レカ 身ニ一紙ホニ志こびハ和名之和

入 志レム びニ志不ニ之 志レム 不レム 志レム びニ句

伝連 沖紙くかさりの罪且く

ト 久て二の付字ニ百ト後秋く

代 八のかりるニ百よニ不短付字ニ百

交 以余ニ云字をてふ人の一きニ短

下 下 八の 志ニくるニあるニさげニ

皆 二の去 上ニ不短 下短非人

下 下 字をくさげざるの類ニ百

下 下 花喜ん植物ニ越短 下短意く

下 下の節 志ニ非夜ニ衣ニ下短ニ打

○ 下短 衣分ニ意ニ衣短ニ

○ 下短 只ニ志ニ二の名所の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

○ 下短 只ニ志ニ二の志の信支不短

ひありの月 五月二日ハカヒテツカヒ
四日ハカヒテツカヒ 九日ハカヒテツカヒ
六日ハカヒテツカヒ 騎射カヒ

ひありの字は流く多し 又 圖之

人の月 正月七日ハ 東方朔占云云

正月一日占鶏 二日占狗 三日占猪

四日占羊 五日占牛 六日占馬 七日占人 八日占穀

人 字を乞ふ 古人の名皆人傳へ

天皇女の名を乞ふ 人傳へ

帝王親王 姓字未ハ人傳の介之

僧も大師必師并号 又一宗の

并祖の謚号も 人傳の介之

人 良他素門未ハ良他非人

人香 人目要ぶあど人未乞ふ

独 只一志 一月 二本 一ハ折ん

独ハ人傳へ ちりちりもろもろ未ハ非人

月本ホの独ハ非人ハ一文字ニ百

独 一人折去あろろ 二人も准之

独歩 独吟ホハ面之 独活 不姫

姫 一名を乞ふて一ハ人傳へ

山姫ホの月ニ植物の名ニ一ハ皆折ん

山姫立田非ホハ非非人 付字ニ百

聖 非人尺 言中智ハ尺乞ふ

髪 一生れ一ハ ひげこ又云

肘 一ハひぢつ不ホ一ハ 和名比知

額 一生れ一ハ 山原ホ一 和名比太比

髪 一ハ髪一 髪多一 述懐人

花 非人 是ニ花ニ百

手 一未一ハ折ん 和名比豆之

蛭 一夏ハ蛭子名折ん 蛭ハ小蛭也折

桐 秋之蝶と弦ひくも林へ

蝶 招懐木は日晩昔未不姫

雲 雀一ひだろ節妻ひくも皆まを

ひたろ鷹 糸り木は夏之は也又二

○ひたろ毛 ひたろ山ホ抄とん

離 織りひる一かきりひる一名一

ひる糸ひる遊立ひる飾ひるまを

ほのひる糸秋之織ひる靴之和名比奈

一 八く音ハ之カ刈音りりて七白

独 草 偏 等ホニ白去付字三白

一 夏 非尺統ハ尺夏之一夏ハ尺夏之

○一 松 非名 辛傍ウきウバ

一 村 居不ニ一植抄ニ一 抄去

名の一類 一息取ホ又五 面去

一 糸 夏も衣も糸も糸も皆林へ

桐柝柳楸木は日まを

○一 糸の牙後之糸一糸の糸ハ非旅

一 夏之非夜 一 抄一夜ニ白去

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

彼岸 去んばのひぐさ秋へ又教へ

時正おんつの岸ハ新くおん

光 久てハん電七句へ天象の目も

白よりて二句を 月次の日不姫

光の陰とハ光陰へ教登 月日

ホの連陵の洞 二句姫く日と伴

月と伴離てハ不姫表も登り月

火 八へ新は本烟一切の火体 二句

不氣ハ八の内へ 螢狐の火ハ七句

ことハ火 照射 ホ あうの火ハ面

く火ハ七句へ但 染土のく火

夜分へ面去かどるれいん

○若火をくハ火ハくくをりれ

非夜 くと火をりれいん すべて

くと火ハハ新と結ても非夜

竹焼燭 燈炬火 筒と伴もあう

の火 面へ又句より たく火 二句

火燒屋 林紙へ非夜 居

○灯のむも花火も正夜へ火非夜

火桶 炬火 共冬へ教分へを夜

の表とぞあうあう 紙焼火 月

氷室 夏へ 雪も消るも 梅も夏へ

雪 七句 氷の影 面ひと明ておん

○頁氷ハ四月が九月とるれと六月と

て正とハ氷室守 人傷へ夏へ

氷の横ハ元是。氷色ハ冬へ水色へ

冷 一ひやハ一すさるハ二皆杖へ

涼分ハ入寒ホ 二句へ ㊦

冷飯 冷酒 冷汗 紙びえ未熟へ

冷麦ハ秋へ冷けハ夏へ二の内へ

干ニひるニ之折ニ多クニ二百

干汝ハ教ニ汝干ハ去ニ付字ニ百

屏風凡ニ百非居 砚屏肉屏又百

底 居不之刺不付 溪底又百 (ハ)

藤 植物ニ 和名比古波衣

ひつら田 秋ニ植物ニ 穠ニ折ニ

楸 秋ニ皮も秋ニ 一葉ニ同ニ

枇杷 夏ニ花ハ冬ニひんの木又百

松 新ニ 實ニは木ハ冬ニ

松 びんろニ松葉ニ材ニ松垣ニ折

松皮松杖木も折ニて百ニ

松物師非人面ニ松前川ハ面ニ

松ニ 居不の松垣ハ折ニ漆松板 汎

あひひるを作り木ハ面ニ 只一ニ

蒜 せんふく 菲 胡葱 皆百ニ

荊葱 夏ニ葱白 葱冬ニ

菱 一夏ニ水辺ニ 菱縁去ニ折ニ

菱垣 紋の菱も折ニ 付字ニ百

引板 秋ニ植物ニ 越姫 引板ニ百

唱子 芙蓉 添木ハ折ニ 墓目不 燭

引 字ニ 桑 彈挽木 双虫ニ 脚ニ

即ニ 彈ニ 牛 牽 又 白挽木ハ 牙ニ 百ニ 去

偏 二ニ 一ニ 百 單ニ 三ニ 百

○ 單 折 夏ニ 一ニ 百 和名比止 困

廣 八ニ ひろしハ 二ニ 七ニ 付字ニ 百

ひろし 一の字ニ 不 短 びろし 又 百

ひろし 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申

酉 戌 亥 けい 一 宛 而 去 付 不 短

○ 甲 乙 丙 丁 戊 巳 庚 辛 壬 癸 未 見

一 宛 之 字 折 去 付 不 短 又 方 角 的

通 再 再

乾 良 巽 坤 けい久てニ乾五て

又見ぬふてハ亥ニ成りてニ余波ニ

領巾衣乾袖不舒 ▲屯隠 非居

際久てハニ居ニ百 ▲亥一亥星ニ一

整一整付又五 ▲友ニひび一ニ

縹一縹乾一ニ ▲拾ニニ

樵一名の樵一ニ ▲密ニニ

扨ニひ移り一ニ ▲室四ニ

倅一ひうこと一ニ ▲扣四ニ

低ニひき一又五 ▲用四ニ

号ニひくき一ニ ▲侵四ニ

毛

本 字云ん 元下双ハ之許ハ元ニ海ス

原 居 侵 束 二方 陰 陽 元 白 方 二方

崩 一云ん 蒼 黃 一 藥 一云

紅 赤 朱 丹 紫 之 赤 二方

楓 赤 紫 木 の 葉 落 葉 赤 木 而 之

又 二 方 白 木 松 竹 赤 の 葉 落 二 方

之 二 方 白 木 不 姪 木 赤 葉 凋 落 二 方

花 葉 赤 葉 之 正 花 之 植 物 之 白 葉 赤 葉

非 植 物 打 去 赤 葉 の 傍 非 植 水 面

赤 葉 ち ち 赤 葉 之 葉 赤 葉 之 ち ち 赤 葉

ち ち 赤 葉 之 ち 赤 葉 之 赤 葉 赤 葉

て 赤 葉 赤 葉 之 赤 葉 又 赤 葉 赤 葉

赤 葉 赤 葉 之 赤 葉 二 葉 の 赤 葉 赤 葉

赤 葉 赤 葉 之 赤 葉 換 階 燒 赤 葉

川 の 赤 葉 赤 葉 の 赤 葉 赤 葉 赤 葉

と ぐ 二 非 植 又 白 赤 赤 葉 赤 葉

と ぐ 二 非 植 又 白 赤 赤 葉 赤 葉

と ぐ 二 非 植 又 白 赤 赤 葉 赤 葉

と ぐ 二 非 植 又 白 赤 赤 葉 赤 葉

麦只二名不ニ植物人付字三句

餘の段人付の守又成木不短

桃 其之桃の多もま之植物人付字三句

さ桃の夏之 夏ハ秋之他の季又一

○ニ代りまことごと夏夏冬又一

藤一 秋之冬之春之夏之秋之冬之

もくづ焼より不火木の田ニ非植水

○も小位虫一 秋之水辺之冬之春之秋之

○と一介草枕 河の河非水植 又一

贈 一 秋之草茎と冬之木秋之木名麦

守 とり 二人傷人田守 実者ホ

とる 又二非人田とる 実とるホ

○まのり 一まのり 一とる 面付字三句

股 一 せが 一段 一之 段 実とる

武士 人傷人物士不短音小て士式

武者武者ホ打 武者武者不短

門 非人 門之河あ 共尺数人

面 くて八之をも 片とる 〇

しセ 乃るセホニセハキ 狭ニ句

百 四之音 四之 訓音りん 面去

○百 去 去 中 〇 手 於 七 〇 三

百子 去 去 〇 〇 〇 〇 〇 〇

三字 共 字 去 連 式 去 去 去

〇 百子 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

○色の乳 先夕未し面の月と指し
 文字 羊紙又 羊水荳 硯 墨
 ホニ句玄筆の流水準の流ホハ面之
 智の流ハ折之。門月受水辺之不流
 又字館りの句又字ハ三々之書てより
 七文字ハ時空ニヨリ 打紙と紙之
 流 四之 前一面之 付字三句
 ○法ろくハ夢之。法ハ發多之
 物 字之 概 襟 奇 ホニ句
 ○襟ニ思ニ句 物と思ハ皆式ニ姫
 ○概ニ夢ニ句。物ハトの流ホニ句
 ○物ハ非人。物ハ怪物也之
 焼 二之ニ一燒ニ七句 火ニニ句
 酒 只ニ一雨ニ一月ニ一之ニ一之ニ一之
 求 四之 求子面 祢 示 冬之 教 之

求子 東抄 けあ曲梁塵秘抄 不載之
 とろき 只一之ニ一之 花葉一之
 とろき 只一之ニ一之 花葉一之
 もろし 七句之 前ニハ二之

もろきも月あ かなしも月あ
 基 唱 もてる 擧 然 ホハ只一之
 海雲 去之 海雲之 若 二之
 虎落 垣 二句 非 居 同 二之
 穴 八之 穴子 二之 貫 二之
 庚 四之 取 二句 以 二之
 揉 二之 とも 二之 尤 二之
 脱 人 三句 脱 二句 中 二之
 とろき 只一之 敬 二之
 もろき 一之 用 四之
 同代 非人 者 四之

もく二之
持字云

三ヨホス
四
四

世

一節季ホ又之河の節三句
節小神節振舞節 けり云之
節供 節磐 節舎 けり難之
大節季 節分 節季い けり云之
河の節二之河比折ホ二句
後一又せん十一之 後強又云

令派面之 名目吉洞ホ折

水二名取二水辺之船面之付字三句

小せ持面之船 不短又句より二句

園二名取二之人同去秋の園ハ面之

○非居猿山水井礫二句付字三句

○名取の園ハ山取水辺之名取酒ホ

園の板庇ハ名取の園之 園者人傳之

○園の香取之鶴之香三句

○園札園ホハ不短 藉の字のより

壅 只一高一水一之 高く心せ

各取之 織商ホの業 取取ホ

せつくせがむせりせりせりけり一高之

狭 三之取セキ 七句狭取取りセホ二句

迫 二之狭二百年命ホの迫 狭不短

迫門 一名取一之門 門つ折

門 七句 戸 水 二句 迫 三句

○水戸鏡 水戸ホの内 一三句 去

仙 非山 人 尺 山の字 二句 仙洞折

○仙洞 去短 禁中 去ホ 同

列卒 人傳之 せと繩 せと杖 共 冬之

せる 人傷く 志之 せこも いうら

脊セナカ 一生乾一セ之背背た折折味脊三句

掬一定掬一共共夏夏之之ぬけも夏夏

翳セキ折折之翳翳折折之折折字面字面

鶺鴒セキ一一異名異名の内内之之杖杖之之るるきき

一一のの面面之之庭庭くくああうういいのの庭庭面面

芥セリ一一根根白白芥芥一一去去之之水水系系之之付付字字三三句句

照一猪猪柄柄ホホ一一内内猪猪ホホ折折交交面面

折折交交折折之之紙紙共共折折紙紙之之意意 ① ②

せせまませせ七七句句去去角角ハハ折折之之せせるるもも回回あ

せせしし一一二二句句去去せせりりせせててせんせんホホ回回あ

又又一一二二句句去去ととるる一一せせれれああもも二二句句

折折折折林林之之尺尺並並之之 ① 折折折折人人傷傷之之

咳セキハハ圓圓壅壅ホホ不不疑疑 ① 折折折折人人傷傷之之

賣セ茶茶 賣セ茶茶 折折 ① 勢勢折折非非人人

賣セとと云云何何四四之之 ① 賣セ一一百百一一之之

約セりりてて二二之之 ① 令セ二二之之

尉セウ一一名名付付てて一一之之 ① 居セ二二之之

住ス字字去去之之栖スイイ二二句句 ① 院ス不不睡睡

住ス居居二二居居不不越越睡睡之之 ① 住ス不不非非居居

○たたくくすすままひひ一一句句すすままひひ一一之之外外之之

住ス吉吉之之津津水水辺辺之之津津垣垣もも水水辺辺之之名名前前之之

宮ス里里松松社社ホホ非非水水住住二二句句去去之之三三句句

住ス吉吉之之市市非非夜夜九九月月十十二二日日宮宮のの市市氏氏

住スのの市市氏氏云云之之住住吉吉とと許許ハハ非非水水

住ス一一居居不不越越睡睡之之 ① 住ス不不非非居居二二句句

次ス广广水水辺辺之之宮宮もも回回ああ寺寺上上地地里里ホホ

非ス水水次次广广のの内内後後ままととななららぬぬ之之 ① 一一寸寸のの二二ホホ一一ぬぬききすす之之 ① 一一寸寸のの二二ホホ一一ぬぬききすす之之 ① 一一寸寸のの二二ホホ一一ぬぬききすす之之 ①

炭一管縄ホ一之 炭二管二之

翠炭釣炭の内一管縄て玉丸
木の内一之皆居而之朽之炭取の内

炭目ハ朽之。其炭夏之

巢 鳥籠一虫籠一之 小セ物ハ面之

虫のす籠之 協のす籠之 樽のす籠之

法名のす甚之 水名ハ夏之 大名ハ籠之

す立古すも甚之 習習甚之 鳩ハ籠之

雀 一籠之 雀子 孕雀甚之 云々 雀ハ

非云 雀系雀一夏之 甚之 雀ハ

雀之内一ハ時々ニ有之 不路之ニ有

○雀籠一甚之 字雀紋の雀ホハ朽之

籠 一杖之 釣ハ杖之 洗す甚之 夏之

籠 夏之 鳥の名呼も夏之 非生ニ

筋 四之 脈ニ面云 和名次知

脈 乃一系の血脈ニ一付之ニ一之

姿 只一姿ニ一 山浦本月ホ一

句 消奇ホ一之 形ニ有。姿又夏之

裾 一衣之 裳一之 配分ニ有

○裾 裾ニ面ニ末ニ有 系ハ有

す之 蛇ハ有 山ハ有 杖ニ有

硯 一子墨文 双紙 又字ホニ有

硯の油 硯ハ 其ニ非水ニ

墨 一墨壺ホ一 墨衣ホ一 炭ニ有

代 一ハ之 面ニ有の 擲墨ハ付字ニ有

○墨 墨衣墨の被ホ 述懐之 非尺ニ

炭 一冬之 炭焼 炭ハ火の内ニ一

炭取 炭清の内ニ一 山灰ハ 火体ニ有

炭焼 冬之 非山人 炭ハ 山灰之

山灰 有り 非山人 炭ハ 人傳之 其冬之

山灰^カは冬^{フユ}に炭^ス清^ス新^ニに飾^カ炭^スま^カ之^ニ

炭^ス竈^カ山^カ乾^ク之^ニ冬^{フユ}に。付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

煤^ス一^{ヒト}火^ヒ体^{タイ}之^ニ河^カ一^{ヒト}庚^{ケイ}一^{ヒト}之^ニ煤^ス掃^ス之^ニ

鈴^ス呂^ロ三^{サン}神^{シン}紙^シ一^{ヒト}生^{セイ}乾^{ケン}三^{サン}之^ニ鈴^ス每^{マイ}孫^{ソン}之^ニ

鈴^スこ^コさ^サけ^ケま^マ之^ニ生^{セイ}乾^{ケン}三^{サン}之^ニ鈴^ス每^{マイ}孫^{ソン}之^ニ

鈴^ス麻^マ鈴^ス麻^マ海^{カイ}共^{キョウ}非^ヒ山^{サン} 関^{カン}ハ^ハ山^{サン}乾^{ケン}

鈴^ス虫^{チュウ}秋^{シュウ}之^ニ ① 鈴^ス葉^{エフ}ま^マ之^ニ ② 付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

末^ス字^ジま^マ之^ニ 向^{コウ}後^ゴ 鈴^ス燈^{テウ} 指^シホ^ホ三^{サン}句^ク

末^スの^ノ松^{マツ}山^{サン} 名^ナ不^フく^ク植^{シユ}物^{モノ}之^ニ山^{サン}乾^{ケン}之^ニ非^ヒ水^{スイ}

末^ス摘^{テツ}花^カ 蔓^{マン}草^{ソウ}之^ニ卵^{ラン}の^ノむ^ム之^ニ

枚^ヒ一枚^{ヒト}村^{ムラ}一^{ヒト}材^{サイ}一^{ヒト}之^ニ上^{ウヘ}一^{ヒト}之^ニ

枚^ヒ村^{ムラ}植^{シユ}物^{モノ}之^ニ非^ヒ居^イ。枚^ヒ苗^{ネウ}新^{シン}之^ニ

枚^ヒの^ノ名^ナ門^{カド}戸^{カド}屋^ヤ木^キ居^イ之^ニ非^ヒ植^{シユ}

心^{ココロ}の^ノ枚^ヒ非^ヒ植^{シユ}面^{メン}之^ニ枚^ヒ葉^{エフ}ま^マ之^ニ付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

ま^マ之^ニ 志^シの^ノま^マ之^ニ 七^{シチ}句^ク 植^{シユ}物^{モノ}越^コ越^コ娘^{ニョウ}

竹^{タケ}三^{サン}句^ク す^スの^ノ子^コ夏^{ナツ}之^ニ

薄^{ウス}一^{ヒト}尾^ビ花^{ハナ}一^{ヒト}枝^エ代^{ダイ}の^ノ季^キ又^{マタ}を^ヲと^トろ^ロ

不^フ也^ヤ作^{サク}ホ^ホ打^ウ之^ニ夏^{ナツ}に^ニ枝^エ枯^カ矣^ヤ夏^{ナツ}之^ニ

す^スろ^ロ焼^{ヤク}神^{カミ}刈^キけ^ケ切^キせ^セの^ノ薄^{ウス}い^イま^マ之^ニ

薄^{ウス}枯^カ 亦^{モト}枝^エ虫^{ムシ}ホ^ホ乾^{ケン}て^ニ枝^エ枯^カ矣^ヤ枝^エ之^ニ

菅^{スガ}一^{ヒト}植^{シユ}物^{モノ}之^ニ新^{シン}之^ニ非^ヒ水^{スイ} 新^{シン}い^イ夏^{ナツ}之^ニ

薦^{コモ}造^{ツク}笠^{カサ} 木^キ一^{ヒト}之^ニ非^ヒ植^{シユ} 付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

菅^{スガ}根^ネ香^{カウ}籠^{カゴ}之^ニ。夏^{ナツ}の^ノ籠^{カゴ}い^イ蓋^{フタ}之^ニ

例^{レイ} 二^ニ名^ナ不^フ 二^ニ水^{スイ}辺^ヘ之^ニ薄^{ウス}三^{サン}句^ク 付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

白^{シロ}例^{レイ} 二^ニ名^ナ不^フ 二^ニ水^{スイ}辺^ヘ之^ニ薄^{ウス}三^{サン}句^ク 付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

砂^{スナ} 二^ニ砂^{スナ}子^コ一^{ヒト} 言^{イハ}砂^{スナ}い^イと^ト言^{イハ}砂^{スナ}也^ヤ也^ヤ

ホ^ホお^オく^ク 山^{ヤマ}石^{イシ}例^{レイ} 木^キ三^{サン}句^ク ①

言^{イハ}砂^{スナ} 石^{イシ}不^フの^ノ対^{タイ}い^イ言^{イハ}砂^{スナ} 付^ツ字^ジ三^{サン}句^ク

涼^{スズシ}一^{ヒト}夏^{ナツ}之^ニ枝^エ一^{ヒト}之^ニ 納^{ナド}涼^{スズシ}之^ニ 也^ヤ

ひ^ヒ一^{ヒト}冷^{ヒヤ}木^キ三^{サン}句^ク 二^ニ句^ク 空^{カラ}暖^{ナド}身^ミ不^フ入^イ不^フ暖^{ナド}

涼しき及尺蓋の石涼しハ非尺

。新涼し始て涼しハ秋林

冷し二秋之ひえるひやう木打

涼き方小入木ニ有。倉枯燈落

雲時多。翠鴨(カモ)炭木結て秋

浣(ス)天ニ水一心一息一付字三句

好(ス)二教書一教書又也

すまひ久て之の物もすまひ又也

懸(ス)七月。夏風の荒(ス)又也

取(ス)一す貝又也。梅袖のす

内(ス)又也。△破(ス)内(ス)

吸(ス)思(ス)吸付たて口吸ふ也

瀧(ス)一髪梳(ス)一田と耦(ス)

遠(ス)久て八之遠垣垣(ス)面遠(ス)

少(ス)八之小(ス)不短(ス)すくるき(ス)

法(ス)久て四(ス)すま(ス)二句増(ス)不短

すま(ス)久て二(ス)未拵(ス)物終(ス)

。杖繩ホ(ス)すま(ス)久て二(ス)若(ス)

捨(ス)字去(ス)廢(ス)ニ二句業門(ス)

述懐(ス)の捨(ス)面去(ス)

お撲(ス)部領使(ス)七月(ス)内取(ス)

召合(ス)廿八日(ス)抜(ス)廿九日(ス)和名須未比

。お様(ス)伴(ス)ハ三秋(ス)一旦(ス)月(ス)

すん(ス)七句去(ス)弟(ス)ハ折(ス)

すま(ス)りも月(ス)お但(ス)上(ス)付(ス)す(ス)

する(ス)二句去(ス)せて(ス)て(ス)ホ(ス)ふ(ス)

ず(ス)濁(ス)り(ス)る(ス)二句去(ス)ふ(ス)の(ス)ぬ(ス)

あ(ス)い(ス)る(ス)よう(ス)不(ス)対(ス)す(ス)る(ス)

助(ス)二(ス)人(ス)の(ス)名(ス)い(ス)る(ス)

健(ス)一(ス)生(ス)れ(ス)

再(ス)版(ス)

千治車

夫ぬ味齋の中

身女の名

口洗より恋

心中ばく

牙狗と然思

流及ねひ

甚女中房の御

揚屋の石作

傾城町の名

睦言

私物沈 園のほり

又寝

孤乳髪 女香の使

床入

その階 ありあり

新枕

牙白キ 仇くくべ

笑息

眉の煙 目元の垣

壺口

垣君尺 迫まより

坂船

虫の乍 月の傍り

立名

門立チ しまめく ありあり

粥杖

兼遠 とも好と ほせねひ

振神

ぬき者 ちんぼいのる

綿本

綿糸 常陸常 泊瀬行る

下細

湯衣 りと裏 悔度常

特選

水鏡 法白髪 子持くさひ

乳上

姿尺 十寸鏡 思さま

指振

おね けきお ありさく

若僧

近きり 忘れり

女敵

古落 若返家 子とからひ

釣者

密夫 風流士 父な一子

舞子

湯女 くとハ 志まき索

赤髪

飛子 乳紅粉 赤比佐尼

入聲

九額 小々性 寺小性

女房

後書 送下き ありひ者

奥書

撫元 せるい色 ます

奥書

嫁 嫁 寡 帳

右の方の志く大徳と戒とく

色中仇忘猜忌偽

信頼空香君命曲

姿犯勅けく志くあはれ

いども句作といて志く儼くはひ

附リ非志の分

髪黒髪鏡髻鏡紅粉

指結指帯伽耶莖

日月星位と祈ル位款

衣袴襟枕字の文猿の文月曼

波世菱身不嫁宿祝之

三弦奥振内儀中居水婢

下女贅女ほ家舞舞の女

多女名前の女天乙女早乙女

右の志の句あはれ

○時令



大皞帝 勾芒 神

蒼天 東君 青陽

正月 大簇 立春 雨水 中

孟春 初陽 臘月 端月

む月 いひ月 太初月 初夜月

元日 元乾 元二 元旦 正旦

新旦 改旦 新去 年改 年始

叔氣 徳新 新年 新年 改年

聖節 履踏 三乾 三始 三元

ふ代のを 君がま 四代のを 花のを

くわのを 宿のを 四方のを 八門を

けこのま 日の始 よひの年 くの年

若き年 年の花 福寿草 元日草

年立神 あり玉の年 凝氷のぬ初

初夜 初夜 幼曼 幼鶴 幼曆
 曆用 氷の標 暖赤熱 玉極魚
 包之舟 舟并 無水 井花水
 三物連致 日淋落 年玉 年男
 年油 元方 門の絆柵 庵竈
 幸籠 幸本 菜盒子 大ぶく
 屨籠 白飯 度涼友 ちさづり
 門柵 立柵 い流つむ じの上
 後菜 後溜 掛綱 志者 齒圓
 新煮 芋尻 ちかしの鏡 かんてん
 ちかしの鏡 ちかしの鏡 かんてん
 蓬菜 蓬菜 梅子 梅子 山系 山系
 飾とすれ 飾とすれ 飾とすれ 飾とすれ
 うら白 費丸 極長 親子系
 大飾 松竹 炭 縄 ぼろ飾

穂儀 みる肴 教の子 浦吉 蹴れ文
 押籠 俵子 去のぶく 田作り
 完豆 用牛 羊 夕暮
 柳の物 柿菱 葩 鱈 鱈
 穿仏 若志比次 大黒翁 以万果
 子奇万果 万歳樂 各遊 去約
 多びす早 振門 水鏡 水あひせ
 室川 後川 玉打 毬打 ぶくく
 やくごご ちかきく ちかき板 ちかき板
 えまろ ちかき ちかき ちかき
 二子系 ちかき 湯殿始 去出始
 書初 ちかき 試毫 試毫 胤油
 舞初 強初 吹初 以上歳旦
 節振舞 節小池 家三完 初芝布
 松鞆 若録 店卸 帳出 帳出

花宗 幼者 夢初 買初 松の内
おめの内 喜るが 以上歳止二次

▲削掛の神子 之終 二日 天狗宴 サモリ
赤玉祭 二日 初寅 くま 初上 番卸 初上

初外 佳吉 外林 上外 子の日 上子
小松川 同上 後王 四日 鏡宮 キ日

生身供 五百廿十四日 六日年越 七卓 十
若菜 十 ちぐ搦 とぎ搦 破る搦

白馬 七日 人日 七日 桑橋川神子 七日
箕面 七日 かね 九日 十日 乙比次 今

線石 十日 内連款 十日 武々 鏡宮 十日
帳後 十日 常陸常神子 十日

任吉 十日 師々 神子 十四日十五日
土竜打 十日 総引 十日 左義長 十五日

爆竹 十五日 吉虫上 日 小豆粥 後 十五日

三カニ 十日 粥本 同上 ちの枝 日 ちの枝 日
粥占 十五日 忍 十五日 三保系 十五日 上元 十五日

池款 男女 十六日 かごの編 同上
やぶ入 十六日 六條 同上 厄神系 八日

吉田清後 十五日 水忌 十九日 津土宗
骨正月 十日 初天神 廿日 初不劫 廿日

▲神氷 日 神雪 日 凝る 日 海取 日
飯室 日 ち 日 ち 日 今年 日 下 日

梅 日 ち 日 ち 日 松の花 日 芥子 日 ち 日
木の芽 日 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日

藤菜 日 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日
挿入田 日 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日

山笑 泥り山 乾磨 日 ち 日 ち 日
尾尾 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日

名 日 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日
飯 日 ち 日 ち 日 ち 日 ち 日

三 三三 佐保娘 永日 運日

東凡 霞力 勝月 才 地 陽

遊糸 長采 麗ぬくい 糸ぬるじ

暖 維 水鳥精 多精 百子智

響 響 響 響 響 響 響 響

鱈 鱈 鱈 鱈 鱈 鱈 鱈 鱈

す 蛤 干 鱈 目指 白魚 海苔 廉尾

海苔 乾 糸和布 柳 桂 菅 川

寒 寒 の 死 の 匂 の 芥 菅 川

梅 枝 喜 柳 喜 柳 喜 柳

山 菱 正 鳥 芋 くら 新 菜 搦

山 掛 の 皮 本 地 の 炉 ち ろ ち ろ ち ろ

二月 夾 鐘 律 響 響 春 分

仲 春 陽 中 如 月 令 月

きうぎ 梅 之 月 小 菜 生 月 神 在 月

神 奠 上 丁 日 二 月 堂 の 行 一 日 方

水 石 糸 初 年 摩 耶 糸 括 列 切 泰 糸 二 日

二 日 交 新 法 七 日 方 芝 能 日 糸 文 法 日

水 糸 二 月 日 遺 友 行 九 日 方 訓 渡 會 日

涅 盤 會 十 五 日 祇 尊 人 像 二 月 の 別

さ ろ け 佛 佛 の 所 常 宗 會 十 九 日 真 後

炬 火 十 音 條 巻 卷 日 日 積 塔 十 六 日

比 良 八 海 紙 卷 八 海 八 日 貝 壽 十 九 日

社 日 中 二 近 日 法 華 經 日 上 彼 山 汗 中 日 七

時 正 日 上 彌 之 佛 日 上 聖 天 會 日 二 日 天 皇 忌

後 日 祭 日 上 小 神 日 忌 日 上 乃 乃 忌 日 祭

苗 代 日 菜 奠 水 口 祭 種 井

種後 櫻 種ふせり 藍麻と前
 蕨 せまの 蒲公 松菜 枸杞
 五加木 虎杖 さいごま 菲 蒜
 胡葱 び蒜 葱 葱 葱
 菜大根の花 かつ草 草のうら菜
 田畑 山と焼 ④ やすぐろの落 ⑤
 萩の焼系 芦の角 ⑥ 草 草
 葱 葱 葱 小いこの花 新查の花
 卯梅 八重梅 袖梅 糸梅 此梅
 一重梅 袖花 ⑦ 花と侍 接梅
 接木 燕 ⑧ 同巢 ぐいよ香
 かな香 ぐいよ香 改暦 ⑨ 川 雲
 川鴨 松尾香 乃 雀 雀子 雀子
 香の菜 同古菜 乃 廉 廉の角 落
 初雲 虫出 地 地 地 虫の穴 出

蝶 ⑩ 蛇 蜂 同巢 蛙 ⑪ 田 ぬ
 蟻 寄居虫 馬刀 ところ 雛の子 ぬ
 蒸 餅 風 筆 出 留り
 三月 姑洗 様 清明 穀雨 中
 季 春 竹 秋 窩 月 桜 月
 やよい 梅 月 花 月 月 月
 経 供 養 天 王 宅 食 吉 考 の 粥
 上 巳 元 巳 重 三 上 除 桃 の 酒
 桃 節 仗 柳 々 菱 の 餅 草 の 餅
 蓬 餅 母 子 餅 巳 の 日 の 後 鶏 合
 雛 糸 ひる 甚 ひる 飾 雛 子 立 雛
 曲 水 流 盆 巴 字 盃 ぬ 籠 と 花
 汐 干 住 吉 加 多 蛤 川 土 左 石 山 祭
 粟 津 糸 一 糸 糸 音 糸 尾 糸
 高 旗 花 會 十 日 や ち ち 花 日 日

吉野しん式 十 礼ね備 十 若守忌 十四
 壬生念佛 十四 壬生祭 比 比良祭 十五
 梅若系 十五 さう大念佛 十 勤学会 十五
 人丸祭 十八 後若系 十八 子本 比
 稻若内生 中 南祭 中 山身城 十九
 山新供 十日 仁和 言 娘の女活 同日
 ▲ 鞆 フ 小弓川 ち ちと踏
 順の器 山 花盛 ハ 花盛
 友の分 ま 友の分 分 梅 廿
 庭梅の分 八 庭梅の分 系 系柳
 海棠 系 系 系 系 系 系 系
 杏子の分 林 檜の分 梅 桃の分 実 友
 梨の分 本 小梅の分 る 南 分
 楊梅の分 本 本瓜の花 分
 本蓮花 辛 夷 也 志 志 沉丁花

大梅 庭梅 鄧澤 ツ 合法 レ
 友 フ 通孝の分 小 菜 分 小 分 球
 款冬 連翹 藤坊の分 ち ち 分 菜
 東菜 仙臺款 ま 菜 ホ 菜 分
 九輪草 七色花 金風花 丁子菜
 忍び草 けまん 金砂花 母子菜
 百葉 梅菜 菫 薊 眉作の花
 五形 薺 分 菜 分 菜 分 菜 分
 葛花竹 若花 菜 分 菜 分 菜 分
 梅 分 梅 分 梅 分 梅 分
 柳籠 柳の 分 小 分 小 分 小 分
 蚕 分 新菜梅 蝶 分 蝶 分 蝶 分
 鶯の果 郭公の果 鶯の果 分 鶯 分
 音の果 鴨子 分 音 分 音 分 音 分
 山吹衣 裏山吹 梅衣 分 梅 分 梅 分

通下
 六十六
 再版

八十八夜 忘世宗 炉火燈を塞

▲三月 喜の別 喜の深

喜の深 喜の別 喜の深

喜の深 喜の別 喜の深

喜の深 喜の別 喜の深

夏

炎帝 帝 祝融 神

昊天 朱明 蒸砂

四月 仲呂 立夏 小満 中

子夏 漢 余月 乾月

卯月 うのむ月を卯月とこと卯月

更衣 白重 卯の衣 浴 珍費

青の巻 下帯 籠の湯祭 一

住吉卯祭 大社祭 稲荷祭 上卯

八坂祭 上卯 山科祭 上巳 多加久祭 上巳

堅田祭 上巳 平也祭 上卯 森本祭 上卯

松尾祭 上卯 高麻祭 上卯 高宗祭 上卯

梅安祭 上卯 大付祭 上卯 山崎日の使 二日

水登の能 二日 廣瀬新田祭 四日

権仁 八日 浴仁 新花會 佛生會

仏の青湯 日 五香水 夏入 花摘 日

鷹の堀入 八日 山祭祭 八日 地蔵祭 九日

練付祭 十日 土塔祭 十五日 子遊子 十六日

日光祭 十七日 和歌祭 十七日 久世祭 中巳

菅文祭 中卯 山王祭 中卯 同吉祭 日

國祭 中卯 葵祭 中卯 飛日 葵まつり 日

中山祭 中卯 漢儀祭 中卯 吉田祭 中卯

▲津祭 林の 林の 大矢 投

飯町 葵祭の夜 葵祭 本の下馬

新樹 日くく祭 若楓 梅の宴

加のむ① 枳椇のむ 厚朴の花
 桐のむ 柿のむ 梅のむ②
 山菅のむ 櫻桐のむ 白丁花
 茨のむ 山石梨 岩菖 白丁花
 粟のむ 菽核 天蓼 毒のむ
 牡丹③ 芍薬 杜若④ 芥子
 葵⑤ 唐葵 芍薬 瓜人草
 玉簪 芍薬 踊草 きしこのむ
 紫菜 風車 踊草 きしこのむ
 鴨足草 之藤のむ 苳のむ 茶のむ
 苳のむ 玉簪のむ 玉簪のむ
 玉簪 芭蕉 笋 すの子 苳のむ
 苳のむ 糸 綿すく 麦すく 苳
 麦のむ 麦刈⑥ 山 ぎくすくす
 苳原 荏 郭公⑦ 赤んこ 苳

蚕のむ⑧ 枝のむ 蛇の子かこめ子
 鯉のむ 幼鯉 生⑨ 麻のむ 苳
 木布⑩ 又⑪ 又⑫ 苳 苳
 汗 汗 汗 涼⑬ 苳 苳
 短菽 編笠 日傘 新茶 古茶
 麦粉 新麦 切麦 冷汁 苳
 苳 水鏡 水鏡 干鏡 干鏡
 苳 蟹鏡 洗ひ鏡 鏡⑭
 鮎⑮ 法⑯ 負梁⑰ 子⑱ 虫
 蚊⑲ 蚊⑲ 蚊⑲ 蠅 蠅虎 蛭
 蚯蚓 蜘蛛 蝸牛 蟹 虫
 蜂 蜂 蜂 通⑳ 鴨 虫
 蜂 蜂 蜂 蜂 蜂 蜂
 夏 夏 夏 夏 夏 夏
 夏 夏 夏 夏 夏 夏

青山掛川 葱 菌 苳 苳
苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳
苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳 苳

五月 蕤賓律 芒種 夏至
仲夏 茂林 臯月 鶉月

さ月 さな月 楊月 月足ぬ月
松本祭 空足掛 日競る(分)

後夜祭 冥祭 生玉流流る(分)
端午 端五 重五 花又虎 蒲人

粽(子) 飾り 胃 割冬の胃 幟飾
あやめ川 日昔 日ぐく 日豊

日札 志守ふ浴衣 月刀 月酒
永キ根 苳さく 棟ろく 棟の佩

茶玉 續命 雙 又月の玉 又月鏡
茶目 茶原川 競強 百草を競強

苳川 ひかりの日 競強 水
苳地 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳

今家祭 本社祭 住吉御田
伊田祭 山田 ちむらぎ 席巻

紙巻神楽 洗 苳夏生 夏至
帷子 苳苳苳 苳苳苳 今年行

苳竹 苗 早苗 田植 早し女
田欣 棟の苳 梅橙の苳 林の苳

苳板の苳 栗の苳 合歡の苳 天あ穿
山 梔子の苳 苳苳苳の苳 又月

苳天の苳 苳苳苳 苳苳苳 金銀花
苳子 苳苳 苳竹 百合 玉

苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳
苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳

苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳
苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳

苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳
苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳 苳苳苳

萱子のむ 決縁を 初音系 葦れむ
 くらり草 石菖 志菖刈 くらり
 菖蒲 アヤメ 花菖ぶ 藻ふり川
 藻の花 萍のむ 菱の花 川骨
 栗根稗 苧麻と苧 豌豆空豆と
 青梅 桜梅 梅と清る 梅と干す
 梅ひき 小梅の交 杏子 李 枇杷
 楊梅 生胡桃 栗の実 早松茸
 あら川 越瓜 浅瓜 胡瓜 瓜
 茄子 新茄子 小鉢 蟹子 水る
 蛆 池の衣ぬぐ 蟬 お蝶 水鶏
 あらるの果 浮系 鴨の子 くるの子
 ぬれけり 黒鴨 法多光とがよ 日ッ登
 菅の香と入 麻の児 穂持 獣持
 照射 火串 五月園つる 思ええ

白く入 梅の夏 五月雨

六月 林蔭 小暑 大暑 中

季夏 瓜朝 旦月 遯月

こな月 瓜月 鳴津月 半夏月

氷餅と行ふ 氷室 蕎麦系 一日

富士詣 一日か 下垢齋 六月云 四日

紙菖舎 七日か 日山 川原 七月か

菖蒲系 十日 竹生菖系 江戸山王系

熱田系 十日 津菖系 十日 芦の御薬 同上

赤定喰 十日 七系 十六日 鴨多系 十六日

志後系 十七日 瓦片涼 十九日 鉢子竹切 六月

赤子洗指 十九日 上野波系 九月

座敷系 廿二日 大坂 赤子日詣 廿四日 椿立系 九月

天波系 廿九日 住吉系 九月 同火替 日

赤湯系 九月 六月 形代 松持

通水 再版

川社 リヤ 越の枝 あま この枝 夕枝
 枝川 ミツギ 夕ひ草 スガ 芽の端
 麻のえ流 夏 休 不 ▲ 鴉鴨涼
 涼涼 一 風 り 暑 風 雲の峯
 白 夏 極暑 日 炎天 三 伏
 納涼 タラ 泉 泉 水 跡 反
 清 あ 日 日 日 日 日 日
 井戸 く 井 水 合 取 甚
 川 猫 纏 四 綱 持 綱 結 綱
 水母 れ ひ ろ ろ ろ 雲 花 火 塔
 火 ろ 虫 毛 蝶 蟻 蟻 蟬 の 法 法 あ 々
 穴 蝶 蝶 の 脱 糸 蝇 竹 の 皮 ぬ く
 百日 紅 射 干 ひ わ き き 平 草
 蓮 ハ 水 芙 蓉 蓮 花 赤 草
 夕 魚 旋 花 龍 の 屯 凌 霄 冠

凡 葉 鹿 の 尾 花 眠 皮 滋 草
 け ろ 子 茶 葛 花 枝 花 枝 花
 弥 の 花 蒲 の 枝 田 菜 丸 甚 回
 藿 州 菱 州 菱 州 白 麻 州 麻 州
 麻 ア 椶 麻 菱 州 の 糸 か む 一
 茗 荷 の 子 青 番 椒 甚 鬼 灯 蒜 花 根
 甚 さ げ 苋 苋 干 瓜 干 瓜 干 瓜
 瓜 ウ 甚 素 白 梵 天 菜 瓜 熟 瓜
 林 檎 新 干 梨 同 む 素 良 漢 土 込
 納 豆 仕 込 ひ 不 作 穉 突 夏 切 菜
 硃 耳 酒 麻 地 酒 洗 飯 水 飯
 川 飯 水 の 粉 砂 糖 水 葛 水 心 方
 沖 臍 せ ろ 後 抱 翁 竹 婦 人
 竹 奴 脚 白 象 夏 瓜 甚 丸
 香 薷 散 土 用 干 虫 干 虫 掛

掛香 ▲夏書て夏涼キ 夏の別
夏小涼キ 夏より秋夏を隔る
夏の涼 夏こそ夏と送 夏果る
秋と涼 秋近キ 秋と約

秋

少皞帝 蓐收神
旻天 白藏 金商

七月 夷則 律立秋 處暑

孟秋 桐秋 相月 蘭月

ふ月 ふ月 女貞七月親月

饑暑 一日 新涼 初て涼

りの秋 今朝の秋 幼秋 立秋

ある秋 秋の神風 一系 相

小池の涼水 宵月社檀の煤掃 七日

伝す於縁鬼 一日 机洗ハ硯洗ハ

是夕 七夕 二号 是合 牛女

牽牛織女 彦星 大角星 河鼓

と七夕 女七夕 星の契 七夕のめ

こりし妻 薰姫 百子姫 糸織姫

於鳥姫 枕の姫 於姫 於去姫

天の川 新河 流流 流流 星河

お糸は橋 鶴の橋 鳥橋 年流流

七箇の池 百箇池 妻逢 妻逢

七種は 乞巧奠 乞巧汁 是奈

是乃白 是乃糸 是乃意 是乃衣

是乃立 是乃物 是乃て 是乃露

是乃并 是乃比 是乃立 是乃本

是乃入 是乃峯 是乃云 是乃本

是乃珠 是乃舎 是乃八 是乃日

是乃水 是乃子 是乃日 是乃清

是乃言 是乃灯 是乃籠 是乃豆

是乃定 是乃火 是乃く 是乃く

是乃言 是乃灯 是乃籠 是乃豆

是乃定 是乃火 是乃く 是乃く

盆 燈籠 掛素紙 麻うす紙 扇尾草

水の菜 盆供 枝豆 枝豆げ 瓜 茄子

中元 十五 生身魂 道の飯 刺餅

三井寺 女供 十五 夏虫 踊

水灯 送る火 大又まの火 十六

名居火 盆 盆取の火 盆取の火

顔目 踊 ねり湯 灯笼 踊 七五三

端六 十六 盆 盆取の火 盆取の火

盆の樹 盆 盆取の火 盆取の火

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆 盆

月の霜雪氷月の桂の花実紅糸
 照月次 新月 注月 月
 推柴 推の糸 松 萩 萩
 落 首の糸 古首 赤首
 芭蕉 毎葉茶花壇 茶花
 地の毛 鶏路打 厚末紅 糸
 茅莖 すまみ草 天子草 萩反
 萩の戸 鬼灯 彩番椒 若たてこ
 布瓜 南瓜 冬瓜 薑 牛房川
 芋 芋莖 葛 零竹 菓
 柿 青梨 木梨 水梨 新米
 赤く 茶 榴 舟 日刈 日下 日く
 榴 田の之 夕 田の唐 小田守
 香おどろ 唱子 唱竿 焼志あ
 添水 板 麻 新綿 新混

木と取とく 麻 虫
 藤小蛇虫の者 みど唱 その虫の者
 小鷹 夕 鴨 鶴 少 百舌 舌 毛
 鶴衣 纏 紗 縷 小ざり
 江餅 餅 小餅 裂脰
 鯉 やる 鳩 吹 お接
 八月 南呂 白露 秋分中
 仲秋 竹春 壯月 桂月
 七月 秋風月 月又月 一年月
 八朔 たのめ祝 田如実 線雀
 繪行笠 三村糸 揚天神糸
 小笠糸 白紙穿性 敷糸
 司 詩宵 小屋月
 名月 名月 名月 名月
 月見 月見 月見 三五の夜

在月 在夕日 地口と云ふ十音 亭流宗十音

八岐宗十五日 箱崎 養田 阿理 阿理 放生會十音

菱大后宗十音 駒込コ 山崎宗十八日

素名宗十八日 西院宗 菩提薩宗

秋社秋の日の 初嵐 初汐 那分

次少 衣打 藤巻 長夜 敗荷

名木の愛 野山の鳥 牡丹の根分

袖の糸 蔦の糸 極紅糸 木葉の糸

木犀花 梅の花 梅と紅 縁紅

檀特檀 狼牙コウヤ おろのむ むいふ

鳥の 荊莖カルカヤ けふ記 赤草 月夜

花の 宇治のむ 落のふ 尾花

就膳エヤミクサ オモヒクサ ころのむ 畑のむ

漆の花 蔞アヲ のむ 葵アヲ のむ 月夜

蕎麦ツバ のむ 芋アヲ のむ 同穂 木賊トクサ 刈

苗アヲ のむ 苦参クサ 川カハ たる川 菜ナ 握

茎カヤ のむ 茎カヤ のむ 茎カヤ のむ 新刈アヲ あ

石サク 椒イテウ 根イテウ の実 苗カキ 香ウツ の実 苳シ 支

通アヲ 存クニ 天カラス 瓜ウリ 種タネ のむ 菱ヒシ 刈ル 木キ 子コ

くタケ のむ 葎タケ のむ 夕ナカテ のむ 中ナカテ 指サシ 蔞アヲ 穂

稲イハ 米ツカ 同イハ 垣ツカ 同イハ 苳イハ 掛ツカ 八ヤシ 束カ 穂

栗アヲ 拒キレ 川カハ 芥ケレ 子コ 辛カラシ 菜ナ 苳シ 大オホ 根ネ とト 苳

小コ 苳シ 苳シ のむ 苳シ のむ 苳シ のむ 苳シ のむ 苳シ のむ

厚アヲ 力チカラ 振ヒラ 斑マダラ 菱ヒシ 吟ウタ 燕ツバメ 返ヘリ 稻イハ 負オシ 名

鈴スズ のむ 小コ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ

山ヤマ 雀カラス 早ハヤ 雀カラス 早ハヤ 雀カラス ひヒ ぐグ まマ と

不フ あア りリ 不フ あア りリ ろロ りリ 同ドウ 一イチ ろロ 野ノ 鴨

鴨カハ 翠サエ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ

ひヒ くク 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ 鳥トリ のむ

鱧サケ 似ハ 菖ラ 子ゴ 江ア 鱧メ かどろ 日ヒ 日ヒ 氏ヒ

太刀魚ヒシ びビ 鮎ア 落ア 鮎ヒ ちりやる

能ヒシ 蛇ヒ 穴ヒ 入ル 新ヒ 酒ヒ あらう

中ヒ 級ヒ とろとろ 疎ヒ 礫ヒ 麻ヒ

九月 無フ 射ヒ 律ヒ 寒カ 露カ 霜サ 降ウ 中

季コ 秋シ 紅コ 掛シ 菊コ 月シ 玄シ 月シ

ちづ月 梅ウ のヒ 枝ヒ 結ヒ 露ヒ 月ヒ 小コ 田タ 刈キ 月ヒ

桂ケ のヒ 宮ミヤ のヒ おヒ 撲ヒ 八ヒ 日ヒ 舍セ 利リ 舍セ 八ヒ 日ヒ 泉イ 涌ユ 寺ジ

重チ 湯ユ 九ヒ 日ヒ 菊キ 月ツキ 依ヨ 栗リ 長チ 供ケ

九ク 日ヒ 小コ 池チ あア らラ うウ 酒シウ 菊キ 月ツキ 菊キ 瓶ビン

菊キ 月ツキ のヒ きキ セセ 綿メン 夜ヤ のヒ 鞆タン 海カイ 童ドウ 躰タリ まマ り

菜サイ 萹ヒ 袋サイ ぐグ のヒ 佩ヘ 存ソ 心シン のヒ 菊キ 月ツキ

鞠キ 鞠キ のヒ 糸シ 九ヒ 日ヒ 布フ 祿ロク 糸シ 九ヒ 日ヒ 生シ 玉ギョウ 糸シ 九ヒ 日ヒ 大ダイ 坂カ

蹴キ 蹴キ のヒ 糸シ 九ヒ 日ヒ 四シ のヒ 宮ミヤ 糸シ 十シ 日ヒ 比ヒ 羅ラ のヒ 儀ギ 十二ジ 日ヒ 見ミ 蓮レン 宗ソウ

宝ホウ のヒ 布フ 十二ジ 日ヒ 住ジュ 吉キチ 升シヨウ のヒ 市シ 白ハク 川ケン 糸シ 十三ジ 日ヒ

後ゴ のヒ 名ナ 月ツキ 十シ 日ヒ 栗リ 名ナ 月ツキ 日ヒ 夏カ のヒ 月ツキ 日ヒ

二ニ 夜ヤ のヒ 月ツキ 日ヒ 後ゴ のヒ 月ツキ 日ヒ 月ツキ のヒ 名ナ 月ツキ 日ヒ

会カイ 佛ブツ 舍シャ 十シ 日ヒ 天テン 王オウ 寺ジ 祚ソク 田テン 糸シ 十シ 日ヒ 尾ビ 崎サキ 糸シ 十シ 日ヒ 山サン

山サン 名ナ 念ネン 糸シ 十シ 日ヒ 小コ 倉クラ 糸シ 十シ 日ヒ 栗リ 田テン 口コウ 糸シ 十シ 日ヒ

太タイ 素ソ のヒ 牛ウシ 糸シ 十シ 日ヒ 渡ワタ 會カイ 新シン 嘗ショウ 云ウン 十シ 日ヒ

穴アナ 織オリ 糸シ 十シ 日ヒ 尾ビ 崎サキ 糸シ 十シ 日ヒ 城シロ 南ナン 古コ 糸シ 十シ 日ヒ

八ハチ 幡フタ 村ムラ 糸シ 十シ 日ヒ 波ナミ 利リ 女メ 糸シ 十シ 日ヒ 旅リョ 戎ウ 糸シ 十シ 日ヒ

山サン 口コウ 糸シ 十シ 日ヒ 中チュウ 午ウ 上ジョウ 新シン 波ハ 糸シ 十シ 日ヒ 大ダイ 坂カ 後ゴ 糸シ 十シ 日ヒ

本ホン 懐クワイ 糸シ 十シ 日ヒ 天テン 後ゴ 家カ 禱ダウ 糸シ 十シ 日ヒ 小コ 山サン 糸シ 十シ 日ヒ

はハ 村ムラ 糸シ 十シ 日ヒ 唱ナウ 流リウ 糸シ 十シ 日ヒ 住ジュ 吉キチ 神シン 送ソウ 十シ 日ヒ

野ノ 宮ミヤ のヒ 別ベツ 桂ケイ 川ケン のヒ 後ゴ 伊イ 勢セイ 江エ 遷セン 宮ミヤ

▲キ 菊キ 月ツキ 沙シャ 葉エフ 日ヒ 月ツキ 仙セン 薺カイ

鴨カモ 上ジョウ 戸コ 有ユ 天テン 門モン 実ミ だダ もモ のヒ 実ミ 西サイ 海カイ 子シ

菩ボ 提テイ 子シ 果カ 梨リ のヒ 實ミ 授ジュ のヒ 實ミ 杼シ 以イ 矣ヤ

おん紙（百宗） 茶口切 初霜 初霜清

時五（レ） 初時五 初雪 初雪降

初氷 初氷結 冬牡丹 犬茎のむ

空葉 八子のむ 茶のむ 山茶花

梅の花 梨桃杏梅 空梅 枇杷のむ

菱紅系（モ） 名草の枯 葉萩萩落

木抜 雪の子唱（三） 雷吹

雪（レ） 雪（二） 氷（コ） 雲 霰

炭（ス） かくい 炭取 助炭 櫛

炉（イ） いろり 火爐 釜 湯婆

懐炉 火桶 火鉢 火 湯婆

豚 靴 水漬 衾 蒲團 靴中

綿帽子 襪子 紙子 ぼろぼろ 呼

呼月 空（サ） 大根 胡蘆

荳蔻 荳蔻 葱 冬葱 切干

干菜（ナ） 菜 空梅 水仙花 銀臺

枯芦 枯柳 木の葉 落葉 朽葉

枯（カ） 名草名木 冬 冬

冬（タ） 冬 冬 冬 冬

冬（フ） 鴨（カ） 小鴨（カ） 羽白 水鳥

冬（キ） 子鳥（子） 氷魚 柴漬

網代（ア） 竹（竹） 生海氣 冬（金）

冬（タ） 雲（タ） 塩籠 石花 冬

冬（サ） 絞皮（サ） 紗 綿 海菜

冬（コ） 真川 秋焼 露焼 納豆汁

冬（カ） 大根のふり切 冬湯 冬酒

冬（シ） 玉子酒 露酒 露酒

冬（ト） 十一月 黄鐘律 大雪 冬至中

冬（ニ） 仲冬 周正 復月 暢月

冬（ハ） 冬月 霜降月 立冬月 雪月

宗像祭 上卯 吹草祭 八日 穴也忌 十三日
 子祭 甲子 子灯心 日上 三徳園の事 中酉
 髪置 十音 袴着 帷地 反陰 神 十六日
 天守
 冬 中衣 小忌衣 山藍の神
 日蔭のろろ 日蔭の糸 神示 (カ)
 小糸 下る 大師詣 廿四日 水祭 廿七日
 掛角 同上 喜日 後日 能 廿八日 報恩海 廿八日
 宇賀神祭 廿日 里神祭 廿六日 火焼
 ▲かき足掛 日見世 冬玉梅
 曆賣 神叩 古白 滝さる
 滝家 霜層 氷氷 氷柱 氷氷
 雪焼 雪去り 霜柱 志まじ 疑
 雪車 操 雪管 信費 杜夫魚
 餅 雪苦冬 ぬる冬 新け妻
 新干菜 まる干菜 太山樫

十二月 大呂律 小寒 中 大寒 中

季冬 殷正 臘月 極月

志り 三冬月 梅初月 正月

臘梅 早梅 子桂 冬竹子 子系竹

この日の朝 八日 朝 煤掃

調味 冬 冬餅 茶 喰 鹿 喰

豆腐 煮 煮く 氷 喰 冬 喰

冬作 冬垢 蹴 冬 冬 声 喰

▲乙子餅 一日 臘 八日 正月 事 始

臘日 中 近キ 佛名 十九日 夕 け 除

大灯忌 廿二日 年内 立 暮 新 喉 寝

豆 煮 打 豆 福 鬼 外

糺 糺 糺 糺 宝 舟

糺枕 日札 厄 厄 厄

四方の穴あらし玉 初風 狗心の月
 長杖 長舎 忌竹 忌尻 干汐
 榎 胡椒 松子 麻の実 から索
 麦切 麦飯 麦茶 干菜 なげ
 大角豆 乾酒 乾卸 炭消 麦巻
 瓢箪 和布 抽丁 梅干 梅漆
 蛤 鮓 鮓 鮓 玉虫 蓑虫
 鮓の巢 鮓 薩雄 猪の使方の囀子
 砂香くるし 鴉 鴉 鴉 鴉 小鳥
 山鳥 桑竹 都鳥 鴉 鴉 鴉
 大鳥の巢 鴉の卵 鴉 鴉 鴉 鴉
 鴉 鴉 鴉 鴉 鴉 鴉 鴉 鴉
 大古紅 墓糸 傀儡師 小縁
 離掛 離掛 年次 年次 年次
 右のふ 報く 季 不可用之

○古意

切字の事

和歌に各名目とて記述し遊ぶに似たり
 道と信むるの海を久し
 式 心多 たり あり あり
 又 やい 何 哉 何
 や かつん 有 有
 折るのち 手ぬ 隔りぞ
 向ふ 折ふ 隔りぞ
 かり けれ らん 隔りぞ
 いざ いざ いざ いざ いざ
 下知のま 忍 け せて ね へ
 めれ かよそ け 下知
 但 不れぬ 忍 下知

たる あり くる める くる
 又款の切字をもつて落乱すべし
 やトカトハおもわれども皆切字之
 右のてふをよ味しそなるをすべし
 切字をもつてハなるは二切三字切
 ハの申ニ押抱の字と並べしけハ
 大也とありニ既知しあり作り
 統て右のてふをよそなるを仕るる
 傍へ以てり知べし又定ては必切字
 並べし是故書之古人の業ヲ忍ぶ
 皆けてふえん自然なるは名人の
 上の妙へ師説われし^{サシラクニシテ}之
 句教の事

春秋ハ 三句か五句と之ニ句かて不裁

夏冬ハ 一句か三句と之 但候ハ
 爰句日月の季と出ヌ
 意の句 二句か五句と之必一句かてハ
 捨べしは擧句ニ句切て出さば
 祚祇 親友 述懐 旅情 夜分
 居取 山藪 水色 一句か三句と之
 遊樂ハ神楽の沙汰なり候ども三句
 と之候く時ハ心をあらばりては務也と
 遊すハ初心ハ二句り只二句かて捨べし
 人偏 人名从之 名所 国名从之 藝能
 天象 陰物 陽物 時分 植物
 飲食 衣冠 什物 一句か三句と之
 風神火解ハ一句かて捨べし
 句去の事
 人偏 人名从之 名所 国名从之 降物

通平 通平 通平

経物 隅りふ 二字りか 火神
風神 終と夕とかりりる付ふ
月と月と星とかりりる光物
木と草と竹とかりりる植物
虫と鳥と獸とかりりる動物
右のふ二のふ折るても又何ド
何字 月生乳 日植物 日付ふ
夜分 衣類 迷懐 旅神 居取
神祇 釈教 点 無常

右のふ三のふ折面うても又何ド
何字何付ふも隅りる訓音かれば大抵
二のふと三のふと三のふと三のふと
本一方植物ありれば二のふと三のふと
又虚押復用 徳意の字は神と通
是れとも訓音うて二のふと三のふと

門をえて知べ 爰何字ハ 三のふと字之

月松 竹 田 夢 涙 同季
枕 衣 舟 烟 けふ 各五のふ
折面とくても五のふと月を五のふ
とい面うての事と月面月二せ
又云月次の月ハけ定あは
右十一色のか 泥濘の上の煙を許して
五のふと物いそおるは五のふと
衣 季や竹 田の舟 夢 涙
月松 枕 七のふと

右い言山民初入及宗初師のふと筆
けふと引て法の字と五のふと入
とも是歎ふて字と之新式今案奥
宗初法師忘ん想不記並と越
とてこれとも今案も入るぬり

舟のついでふの飾るん

烟の字は古(字)はかゝると今案以
な(は)定ふ入(る)え(り)

七白(七)は又(七)は許(七)の事(七)打面(七)
久(七)て(七)字(七)は(七)推(七)本(七)氏(七)の(七)云(七)は(七)款(七)の
七(七)白(七)玄(七)の(七)物(七)は(七)能(七)落(七)つ(七)て(七)其(七)白(七)玄(七)す(七)る(七)は
是(七)は(七)折(七)久(七)て(七)も(七)其(七)白(七)玄(七)に(七)連(七)七(七)白(七)玄(七)あ(七)ら(七)は
能(七)お(七)も(七)七(七)白(七)玄(七)あ(七)る(七)も(七)思(七)ふ(七)は(七)遠(七)く
べ(七)一(七)九(七)連(七)款(七)は(七)面(七)は(七)物(七)を(七)統(七)て(七)能(七)お(七)つ(七)て
七(七)白(七)玄(七)免(七)し(七)る(七)許(七)る(七)し(七)面(七)と(七)て(七)ハ
三(七)白(七)玄(七)す(七)べ(七)一(七)是(七)新(七)式(七)の(七)心(七)は(七)て(七)そ(七)物(七)は(七)款(七)
を(七)一(七)あ(七)る(七)云(七)は(七)能(七)お(七)つ(七)て(七)云(七)と(七)は(七)る(七)ハ
據(七)と(七)は(七)り(七)と(七)る(七)ハ(七)其(七)の(七)款(七)一(七)文(七)の(七)下(七)
云(七)七(七)白(七)玄(七)あ(七)る(七)云(七)は(七)れ(七)ら(七)る(七)ハ(七)同(七)お(七)つ(七)て(七)の
事(七)ハ(七)お(七)つ(七)て(七)三(七)白(七)玄(七)あ(七)る(七)ハ(七)能(七)お(七)つ(七)て(七)云(七)

又貞極の能落守の内

七(七)款(七)あ(七)つ(七)て(七)面(七)を(七)う(七)り(七)と(七)き(七)ふ(七)ら(七)る(七)の

七(七)い(七)ふ(七)あ(七)つ(七)て(七)七(七)白(七)玄(七)す(七)べ(七)

款の心も能(七) 面玄の物とて面玄は
字玄は成(七)定(七)の(七)格(七)式(七)之(七)性(七)昔(七)貞(七)極(七)立(七)圃
の本(七)と(七)尚(七)附(七)推(七)本(七)氏(七)の(七)名(七)義(七)を(七)受(七)け(七)て(七)
世(七)小(七)碎(七)と(七)す(七)列(七)する(七)人(七)ハ(七)正(七)理(七)と(七)我(七)ら(七)
七(七)の(七)必(七)家(七)と(七)捨(七)べ(七)

賦物の事

花(七)重(七)の(七)祭(七)り(七)は(七)其(七)の(七)字(七)ハ(七)取(七)ぐ(七)ら(七)る(七)ハ(七)
或(七)ハ(七)壺(七)の(七)字(七)と(七)ら(七)何(七)ハ(七)蜻(七)何(七)と(七)ら(七)何(七)袖(七)と(七)ら
取(七)ぐ(七)ら(七)何(七)ハ(七)何(七)と(七)ら(七)取(七)ぐ(七)ら(七)る(七)ハ(七)壺(七)と(七)ら(七)何
故(七)ハ(七)梅(七)何(七)と(七)ら(七)能(七)を(七)ら(七)る(七)ハ(七)一(七)字(七)露(七)が
二(七)字(七)正(七)者(七)三(七)字(七)中(七)略(七)ホ(七)う(七)ら(七)る(七)ハ(七)除(七)扁
添(七)扁(七)借(七)音(七)ホ(七)ハ(七)字(七)取(七)ぐ(七)ら(七)る(七)ハ(七)常(七)の(七)能(七)落(七)守(七)

紙抄其事ハ掃ク凡ダ爾時ハ諸作も
紙抄之連叙ト云ベシ

紙抄の文字ハ才ニまで矯ム

發ルヤ紙ハ面キテリシ

右ハ宗師の言ハ古今も紙ハかくる
カ明カニ紙と載ル考ビ紙ハ上ハ
下の白と云テ云ベシ上ハ白ハ紙抄の
字の字ハ是ハ才ニ至矯ム下ハ白ハ
表ハ白ハ内ハ白字の標ハ是叙の字ハ
カハ云ハ才ニの字と云ハ云ハ表ハ
カリハ故ハ才ニ三ハ末ハ改ハ及ハ
發ルヤ紙といハ表ハ白ハ同字ハ
云事ハ上の白ハ才ニといハ對ハ後ハ
紙ハ是ハ例ハ白の飾ハ云ベシ
又紙抄の字ハ云ハ云ハ云ハ同字ハ表

ハ白の白紙ハ作心ハ好テ紙ハ

と云テも紙ハ云ハ云ハ云ハ

本下 陰ハ云ハ云ハ云ハ

是ハ同作ハ又上下と云ハ字抄ハ
上の白ハ二ハ云ハ云ハ字抄ハ上ハ
本下ハ陰ハ云ハ云ハ云ハ云ハ
皆白の飾ハ紙抄の紙抄ハ云ベシ
て云ハ云ハ云ハ

紙抄と云ハ云ハ云ハ連叙の白ハ紙抄ハ
紙抄ハ白ハ一字ハ云ハ云ハ云ハ
白ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ
一ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ
又押抱ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ
云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ云ハ
て云ハ云ハ秘中の秘ハ云ハ云ハ

運一 一五 再抄
の者くを授ふあまぬ人ふ侍人ぬまの
却て道と成すの害ありとて又思ひ
一信之統て資のハ切字と入紙とい
字ふて田廿三にて田のふとせぬ人
たふ奥多と極めぬもはたお侍の人
とて是故あらん余 何ゆふても侍授が
あきまのふともちふんばはら
侍授ふまを侍りく又侍授のまを
ふとるふおあまう
司捨の奇の事

連欽ハ塘川百そととて川

流ふも二十年まいせり

信めは信吳乱世ふ大事罪科

天災不化 ふ孝 ふ忠義

近代の美人の御名実名も

それとまきらるるいふの上ふ忌
四民共今居る人の名をゆきん
家くの秘り我家の業
定りてする意のふふ氣と付やよ
いとひのきた席 追慕の時
神程と欽たの侍授わらふん
刺さるも息と流く(まこ)

右二首の故実の奇之哉之

送り字やまの河ふなく海

滝の一しと麻の遠声

垣干山と麓の谷ふ夕けかり

秋さり衣玉のと柳

流とそよはるたふ老故あるま

命の消る事とまきりん

大の連と我之況ふ思ふべし

祝言イハヒコト小裂コト退ヒいのり飽アツいま

物モノりりつつひひ場バ小絶コト堪タ

原ハラの跡アト様サマのノ多タ又マタああつつるる唱ナゲ

ややととめめ馬ウマ小退コト出デ出デ小のノ港ミナト

新宅ニシヤク小くコくく火ヒのノ音ネ新ニシはハ小ひコ

なきナキ流リウササ潮ウシのノ倒タラるル器キのノ

夢想ムソウ小いコいい流リウをヲ流リウ人ヒト夢ユメをヲええ

陈チン小負コヘのノくく流リウとト思オモ

追ツイ若ニホ小若コニホ沉シム落ラク中ナカ小ひコ

新ニシ橋ハシ小ひコひひ小コりリ叶エりリぬヌとト思オモ

元ゲン振シン小いコいい元ゲン山サン津ツをヲ月ツキ

舟フネ小もコもも 堪カヘるル和ワとト口クハ

字記ジキ河カ音ネのノ事コト

字ジ小依コイ字ジ多タりリ河カ小流コリウをヲ記キるル事コト也ナリ

ああつつるる事コトもモリリククーーくく月ツキ小流コリウをヲ記キるル事コト也ナリ

誤アヤりリ也ナリ毎マイ月ツキのノ益イキ多タりリ他タのノ誤アヤぬヌ

正テイ字ジのノ却ケツ滞テイるルのノ損ソン也ナリ

楓カエデハハ河カのノ付ツキ遠エン之シ并ナラハハ同ドウ類レイのノ河カ也ナリ

蚕カガク体タイ双スウ国クニ豊ユウ 俗ダク字ジ之シ

鑑カン 躑シツ 松マツ 辻ツジ 込コム 込コム 倭ヤマト字ジ之シ

はハ彭ヘイ字ジ多タりリ畧リョウ之シ後カシ字ジをヲ以テ名ナをヲ

沽コのノ士シ小媛コヒメ也ナリもモ每マイ俗ダクのノ據コ正テイ字ジ據コきキりリ

活カク文ブンハハ各カク小之コシ流リウ流リウハハ俗ダクをヲ以テ流リウとト

流リウとト骨コツとトてテ白ハクとト仕シるル事コトもモああれれいい

每マイ月ツキのノ字ジとト考カウふフ事コトもモ又マタ白ハクとト正テイ字ジをヲ

以テ事コトああれれいい時トキ宜ヨシ小退コト出デ小のノ港ミナト

燒ヤクヤヤクク 支シ河カ之シ言ゴン法ホフ門モン 焚ヒキのノ字ジをヲ設セツてテ

とト考カウふフ事コトもモああれれいい手テ考カウふフ事コトもモああれれいい

燒ヤクのノ河カとト流リウるル事コトもモああれれいい他タのノ流リウ之シ

流リウ云クニはハ師シ共キョウ入ニ声シヨウのノ字ジをヲ記キるル事コト也ナリ

出つて増之一丸四の存を今ねま
致小ハ二白小して城之能満日大百一
又ハ傘小ハ新式を以て何の連歌を
削といへて連歌の好士世の風氣小
在ひて不用之に於戲貞徳の芳懐イキ言
事り又貞徳の自刃遠のまて言あり
繼トキ鄙の詞をすしして字叔と定
許計ハカリの字と又得うて去懸と據
我身とて小んめして三字りか入
たとうれと今傳トク膝芦火と夜かこも
次磨と能波と以那名ををあらへ
能も刃分ツべきまどしけ介二人の
迷ふべき得多し略定能満ハ上右の
和風さる紙師も耐之守武宗澄
貞之江巴の比とも能トクやとま

通 一ノナ 再版

及ハ連誂ネ年ネ漢りあつて今ね
さしども宗周を友と能お花びて
友植のり能又人競ハとて能
遣也かまふべう能名をさるし
いしよの能トクとちと能て能お老
貞徳ハ老及目と首コりしりや
弟の遠タマひも中橋ふせまの放りん
又理ふありしりなけ集ふもあ
へ引入しりハ傘と破ハるふいあは
そ深うと能ハ却てり植の友とけ
及も得多るべし能さんハ又友
統スビてあけの虫ハ植あつて集ひ
あつたせはあえること常毎トクて
何のともあぬ能とらとせ道の連師
及て年月とほして及之今この

通 九ノ冬 再版

集の南河ふあつぬとていふとき子の
 おとろりやとあるは去之嫌余は賢
 と違キ本言と振ッの科の道とを古
 人得るふいあつぬとていふのけし
 梅りてふのあつぬとていふは成
 時ハ我非之我も成時ハ彼非之其
 ちれん夫の^ゼ是非の理なり能定こ
 へき^ゼ此も上宮太子の靈法よりせ
 タツジ^{サモア}連人の任他只秘心とて得る人
 事の思^{クハヒヨウ}ききるなりは此後師とて
 正理とありし後師とて也

宗師法師の歎

此の道は後のまゆをけりるれい
 ふ志人の教いよむとて也

訛語通俗志

○句法

後句ハ時の季と切字とを結ひ入て
 仕立へー祝儀又熱孝院の時ハ装と
 形ひよてふとを降下知り治定うて
 切へー。死火多病の字と三へー
 脇ハ季句の趣向を聚し心と場とを
 離し^{ミツキ}けつと付みすへー。後句ハ
 出るる日月の季と以すへー三月ハ
 三つら季ハ春うけは式日の季ハ
 服もそ季の及々あて仕立へー。
 意の季句ハ振中も結へー。神釈
 名所ホの季句ハ服ふる季へー。
 菊ハ名目比肩勅め字と結へー
 てふを角りハ傳へて結へー

△第三ハけこく心と付く句を辨する
んと榮句へ度ヒトスぐらん。榮句を
の時ハ季ハさるし。春秋の時ハ榮句
日月の季と除く。三月ミツキおさる季ハ
昔くうだ。菊ハ季後もて留るを
み留らん。もり。留るもど。是ハ
何のと結る。て留るハ留のてを
向ふ。と結るは。是時ハ抱字を入べ。
らん。留るハ。是のてを。留る。留る
時ハ。是。すべ。字留。又。留のてを
留りハ。是。て。知。榮句の。留る
第ニ。是。留り。と。せ。ぬ。が。あ。て
不結。賦抄の時ハ。是。字。と。第ニ。結
四句めより。八句めまで。是。留る。留る
さる。と。すべ。け。る。正。花。と。さ

八句目へ月とさるが。他。他。他。千句
る。と。ハ。第。一。す。る。事。と。さ。る。と。さ
目と月と。是時ハ。七句目。定。年。と。さ
月。次。の。月。出。時。ハ。陰。の。月。す。べ。
衣。八句。の。月。祿。祿。尺。丈。無。常。
述。懐。之。名。表。傷。名。市。人。の。名。同。字。
寝。覚。之。名。の。烟。紙。之。名。紙。海。之。名。也。
他。同。字。ハ。猿。の。文。之。表。在。元。の。句。
又。系。数。之。名。也。之。字。知。ず。と。さ
親。と。さ。り。子。と。さ。り。ハ。昔。く。う。だ。
一。季。三。季。の。妙。法。及。び。だ。二。季。の。ハ
一。字。あり。ても。二。句。を。す。べ。
初。折。の。表。十四。句。之。十三。句。め。と。さ。の
花。と。さ。る。時。ハ。十一。句。目。ハ。桂。也。と。さ。る。
く。一。花。と。さ。る。と。さ。る。月。ハ。百。句。一。本

ちがれ月とゆふに又好みかた

△三の表十四句之 月連時八十二句を
存せしむ。む十四句めむとせむ

△二の表十四句之 亦不有也

△三の表十四句之 亦不有也

△三の表十四句之 亦不有也

△名所の表十四句之 亦不有也

△名所の表八句之 け折の正花と白の

花と云違若の時ハ名所のむとせむ

又^{アゲ}奉句へあがらむ。七句めと彦の

花と守る時ハ六句め心しす

奉句^{アゲ}亦不有也。季亦も一句絶て

出さば又七句めニ時必結ぶべし

奉句亦不有也。道を降すべし

百韻亦一所ハあがれ月と免と^{ユルス}いへも

表八句の月ハあがらむとす。月と

二セバ又不有也。但名所の表ハ

大根月とせむ。秋亦月と不免^{ユルス}と

月ハ秋と正とす。不有也。まづ花と

云花ハ表うつり折うつりを引くと

いへも。名所の表ハ。変へてあがらむ

。奉句の作志和折のむハ。折ハ折

折の表ハ。かまらば又むと。折と同作

不有也。折ハ折とす。上の句あてハ。花

とす。下の句あてハ。三本とす。ハ

すべし。月むの句ハ。百韻ニ句之。先

又云。名所の表ハ。表と結ぶ。花ハ折と

結ぶ。名と結ぶ。名所のむも。月之。

むの亦不有也。花の候^サ。名所の名を

月とすべし。花の折句ハ。名所のむ

付一季を除くべし。打越ハ汝は小
及び日月の月句も又消之。平秋の
付句小意の秋句を結て又結へ平秋の
句と付く中へ意句をんさすねは平
秋とハ爰までハ意を結く秋句といふ
事之甚句も又消之。意の意句句ハ
せぬ事之すくなくとも二句句ハ意句を
如スべし。形勢退居の席敷とも意句ハ
必ずべし。結ともんまうに三結ともハ
暗多へし。統て心を打越へ度さだ。
日月の季を三句へるべし。あふ
け一趣向及意を同懐紙のうちあ
け句作に結ぐべし。禁裏及中
事を知る拾ふハせぬるり。貴人の
此句作りふさへも此情をさるり。

老人の如席小述懐の詞 如家の席小
塵落破戒のささか士の座小膝病
まけ一座の不尽を身辭あふあふと
月終ハまべし。又句作もあべし
漢和ハ幾句後之第昭句と云季を
結び入べし。まけあ月を後をまの
本句と云幾をを和句と云別和漢
和と云之。服ハ和之第昭句あつる
平字の句を後へ入句の字を定ル之
。唱句の句も何意の仄字も是之
後和の和句と和の下句ハ共小入句月
句の平字踏之。句あつる字ハ句中
ま季の平字を除く但五句三句
の字若くは。同字別句を不踏。
漢の字終小同字を不踏たといふ也

なりとも不覚之又和ふかまりた。
唱句小對句を付るハ字を對して
心を離る之對句小唱句付る時ハ
心を付る字を離る之又和ふ付る時ハ
唱句對句共ニ心を以て付る之。打紙
の心を言ふハ和も同か之。表八句ハ
後四句和四句共對句一語ハ之
名語の書ふハ對句有る之。照と
表の八句目と尋句とハ和也す之
。後五句和五句之但一二句の色
不足ハかまりた。和句後句共ニ五句
を強く之又對句小對りてハ六句を
する之。一在二句の和ハ強く和と
かて一語すべし又一句の和も是ハ
す之但けやけ和ハ後和如ら

通合 四 耳本

只一すへし化准之。正花後小二本
和小二本也平ニ折を及ぶるべし。
月並方へ多るとへと一方へ五さ不若
後和共小月の法ぐをかりた外の
景物准之。送り字を和ハ對句の
和ハ面玄之。十二門を分て對字を
取べし。朱引の句ハ對字の門を強
てとがめだ又第唱句の和ハ表八句不
せだ。玄後句數表の和ハ常の
能格の法小句一。平起り仄起り二
四不同遊三聯ホハ法の五言小等し。
四字一平ハ一反を以テ對ス但對句ハ
不記又唱句をくりて不捨隔句
連綿字彼名出ホも皆法之とわら
の如しとす事ハ只一語ハ之又

通合 五 耳本

是規お出スといふはわがた高又待ニ
拘字の神より候ふけ一辨もさへ
受て知べし。連続の字ハ文根と云ふ
あり故に僅お五句のうちをれおむの
害を忍びて不載之

和漢ハ多々白和あて限ハ漢之。漢ハ
駒字を踏て和ふハ不踏之ハ漢和ニ
同し。白の量云ハ漢和お又ス

予仙の法ハ表六句之五句目を左の
月と守。素十二句其十句めをむ
の君とを又月と云。名跡の表十二句
又月とすべし。名跡の表六句之
五句めを花の左と守。はるるしハ
月あり。都合三十六句之四句二
月三之大槩百約の法也知べし。

ヨハシ
四十四の法ハ百約の二三の折を接て
初折と名跡の折とを結ひ合ふ
をうり之感百約の法も同し

作真の事 性古ハる紀事あるを
いつの比よりう百約の筆句ニ帯の
折のかりるぶとくお句を次て又百句
二百句と付けしう之百約をいへりも
結ひ合ふをうり之。百約ニ一白の物も
作真するれが又出之係文も教多
けやけき詞ハ仕立をうてはるべし。
玄姫月花ホハ百約ハ丈ニ同し。
作真よりりの時ニ五句玄三句玄二句
玄のおハ五句三句と式おまざるし
折面をきらひ七句玄のおハ如法お
字おまふるるし

此後八心一論一勺一勺生一
詞小表て四折百額小乃小者也
享保丙申冬至甲子日

員九



安永九庚子年九月再板

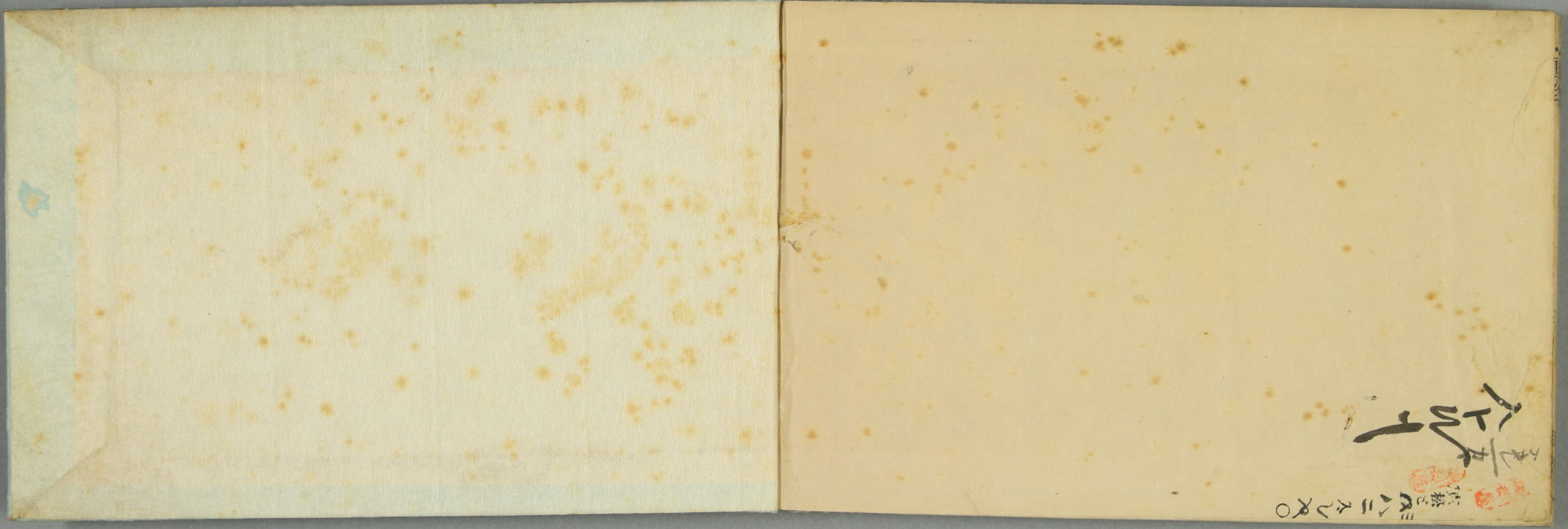
誹諧通俗志薄用摺 出來

同 美濃紙摺 出來

京都 秋田屋平左衛門

書肆 江戸 須原屋茂兵衛

大坂 柏原屋清右衛門



五五

ハニタノ
○

